Ultimate High Performance Audio

sMS-1000SQ Eunhasu

取扱説明書

株式会社ブライトーン

目次

お使いになる前に 3
はじめに 4
安全にお使いいただくために 5
安全にお使いいただくために（続き） 6
接続 7
機能 8
接続手順 9
Roon セッティング 28
Eunhasu（ウナス） Web GUI（Eunhasu Web GUI の使い方） 36
Roon Server （Roon Server の使い方) 44
Squeezelite （Squeezelite 及び Deezer の使い方) 46
MPD & DLNA （MPD & DLNA の使い方) 60
Shairport （AirPlay の使い方) 63
MinimServer （MinimServer(NAS)の使い方) 66
LibreSpot （Spotify connect の使い方) 84
BubbleUPnP Server （Tidal,Qobuz の使い方) 93
Disc （CD リッピングの使い方） ※CD Ripping オプションのみ 108
困ったときは 114
FAQ 115
お手入れ 116
アフターサービス 117
保証規定 118
保証書 119

お使いになる前に

本体及び付属品のご確認

万一、製品内容に不足や損傷がありましたら、
お買い上げになった販売店または弊社へご連絡下さい。

次の内容物が揃っていることを確認下さい。
○SOtM sMS-1000SQ Eunhasu　　: 1 台
○AC アダプター　　: 1 台

取扱説明書（本書）
保証書（取扱説明書に印刷されています）

使用上の注意

●本機の上には物を置かないで下さい
●直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、
温度が高くなる場所に置かないで下さい。
また、アンプなど、熱を発生する機器の上には置かないで下さい。
●安定した場所に置いて下さい。

はじめに

この度は SOtM sMS-1000SQ Eunhasu をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよくお読み頂き、本製品を末永くご愛用下さい。

お読みになった後は、いつでも見られるところに製品の保証書と一緒に、本書を大切に保管して下さい。

なお本製品は厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、お買い上げ後お気づきの点がございましたら、お早めにお買い上げ頂いた販売店または弊社までお問い合わせ下さい。

- 本書の内容については万全を期して作成しております。万一、記載内容に誤りなどお気づきの点がございましたら、大変お手数ですが、弊社までご連絡をいただければ幸いです。

- 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承願います。

- 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。

- 本書に記載しているパソコン設定は、基本的なパソコンの操作・設定ができることを前提に記載しております。パソコンの基本操作についてのお問い合わせは、ご容赦願います。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読み下さい。

警告	以下の内容を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。
電源プラグを抜いて下さい	**万一、異常が起きたら** 煙が出たり、変なにおいや音がするとき 機器の内部に異物や水が入ったとき この機器を落としたり、キャビネットを破損したとき 直ぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。 販売店または弊社に修理を依頼して下さい。
禁止	電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または弊社に交換を依頼して下さい。
	電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いて下さい。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。 また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないで下さい。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水の入った容器を置かない 内部に水が入ると故障の原因となります。
分解禁止	この機器の外装は絶対に外さない 外装を開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は、販売店または弊社に依頼下さい。
	この機器の改造をしない 火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために（続き）

注意	以下の内容を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故によって、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 強制	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する それ以外の物を使用すると故障、火災・感電の原因となります。
	電源を入れる前には、音量を最小にする 入力切替スイッチを切り替えるときは、音量は最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、直ぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近づけない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ず電源プラグを持って抜いて下さい。
 電源プラグを抜いて下さい	移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
	お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。

接続

接続時の注意

以下の内容を無視して誤った取扱いをした場合、本機および接続しているオーディオ機器などの動作不良や故障の原因となります。
また接続しているスピーカーから突然大きな音が出て、聴覚障害を引き起こす恐れがあります

全ての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込むこと

- 必ず AC100V の壁コンセントに差し込む。
- 接続には端子形状（仕様）に合ったケーブルを使用する。
- 本器のアナログ出力と他機のデジタル入力を接続しない。
- 電源を ON にする前に、接続するアンプの音量レベルは最小にしておく。
- 接続する機器の『取扱説明書』に従って接続する。

機能

sMS-1000SQ Eunhasu はネットワークを介して音源ファイルを共有及び再生することができる高性能ネットワークファイルサーバー及びプレーヤーです。

以下のような特徴があります。

・Roon Server
・DLNA オーディオレンダラ、OpenHome サポート
・MPD（音楽プレーヤーデーモン）
・LMS（ロジテックメディアサーバー）
・Shairport（Air Play）
w・LibreSpot（Spotify connect）
・MinimServer（NAS）
・BubbleUPnP Server（Tidal 及び Qobuz）
・マルチゾーンネットワーク再生
・USB オーディオ出力
・ハイエンドオーディオグレードの USB ポート（1 ポート）

接続手順

1. 配置
   sMS-1000SQ Eunhasu を箱から取り出し、適切な場所に置いてください。機器は壁及びその他の機器から 10cm 以上離してください。

2. オーディオと接続
   USB 出力モデル：
   USB オーディオ機器を背面の USB ポートに USB ケーブルで接続してください。

   デジタル出力モデル：
   オーディオ機器を背面のデジタル出力（AES/EBU, Coaxial または Optical）に接続してください。

   アナログ出力モデル：
   プリアンプやパワーアンプのようなオーディオ機器を背面のアナログ出力（バランス【XLR】またはアンバランス【RCA】）に接続してください。
   ※デジタル出力モデル及びアナログ出力モデルについては USB 出力モデルのようなオーディオ USB ポートが標準装備されています

3. ネットワークへ接続
   リアパネルの LAN ポートからルーターへ LAN ケーブルで接続します。
   ネットワーク通信安定の為にギガビット対応のルーター及びカテゴリー6 の LAN ケーブルをお薦めします。

4. 電源へ接続
   背面の電源スイッチをオフにした状態で、用意されている AC アダプター(+19V DC)を電源インプットジャックに挿し込んでください。
   もし sPS-1000 パワーサプライをお使いの場合は sPS-1000 の出力（赤）を 19V にセットし、用意された DC ケーブルで背面のインプットジャックに繋げてください。
   ※外部電源を使ってオーディオ USB ポート(tX-USBexp) に電源を供給することでサウンドが向上します。
   9V/2A の AC アダプター、mBPS-d2s、sPS-1000 の出力 2 または出力 3 からオーディオ USB ポートの隣にある‘USB PORT EXT.POWER’に接続してください。
   もし sPS-1000 を使う場合は出力 2 は 9V、出力 3 は 7V にセットしてください。

5. Roon を同時に起動

Roon Server を Eunhasu 上でスタートにした状態で終了させ、sMS-1000SQ Eunhasu を起動した場合、Roon Server も自動的に立ち上がります。

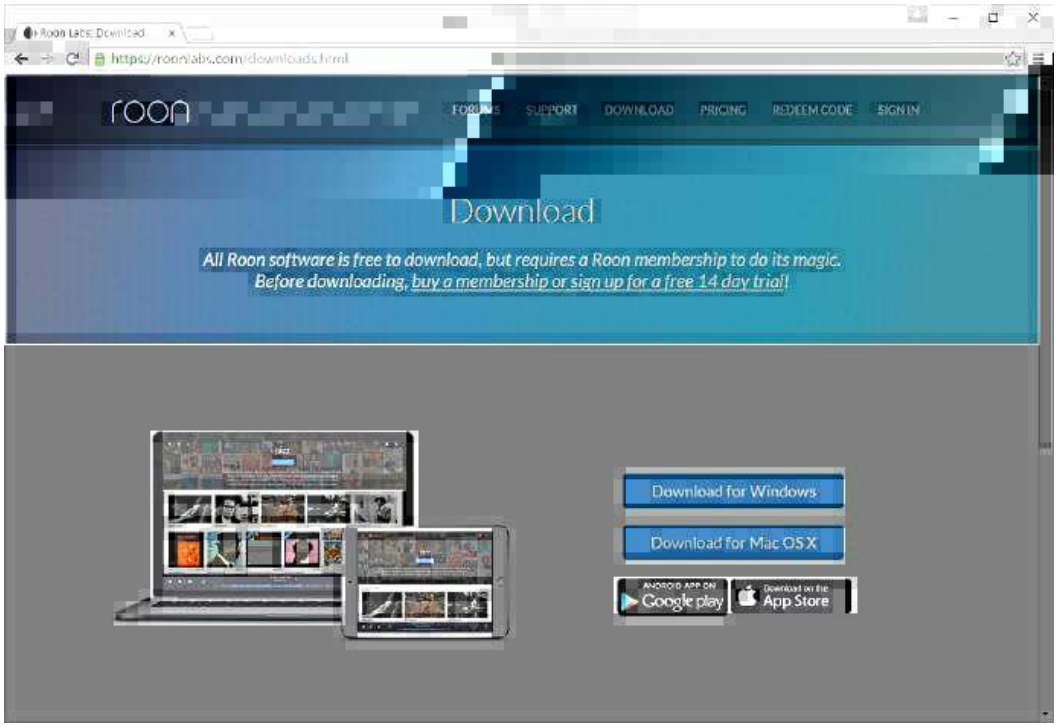
PC,MAC またはスマートデバイス(iPad またはアンドロイド pad)の Roon remote ソフトウェアを使って、ローカルパスやネットワークパスで指定した
ローカルドライブ、ネットワークドライブ（NAS）、
外部 USB ストレージデバイスのミュージックファイルをブラウズし再生できます。

TIDAL のようなサービスも Roon を通して利用できます.

6-1. Roon remote ソフトウェアのインストール方法

PC やスマートデバイスのウェブブラウザを立ち上げ
下記のリンクへ接続します。

Roon remote ソフトウェアをダウンロードしてインストールします。
https://roonlabs.com/downloads.html



Roon に関する詳細は Roon ホームページを参照ください。
http://roonlabs.com

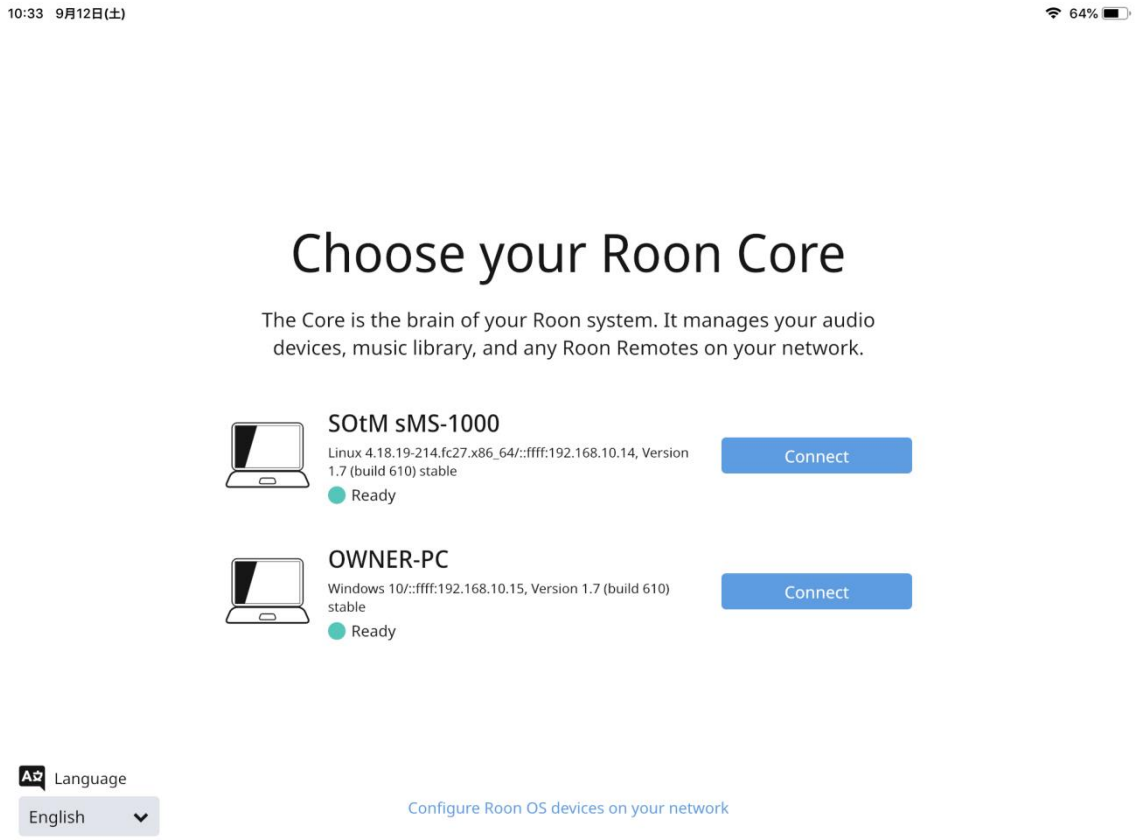
6-1.1. Roon remote ソフトウェアを起動

sMS-1000SQ-Eunhasu 起動後に Roon remote ソフトウェアを起動させるとライブラリとして表示されます。

SOtM sMS-1000 を選択して‘Connect’をクリックして次のステップに移ります。

もし‘SOtM sMS-1000’がライブラリとして表示されない場合、Roon Server ソフトウェアが問題なく起動しているか確認してください。

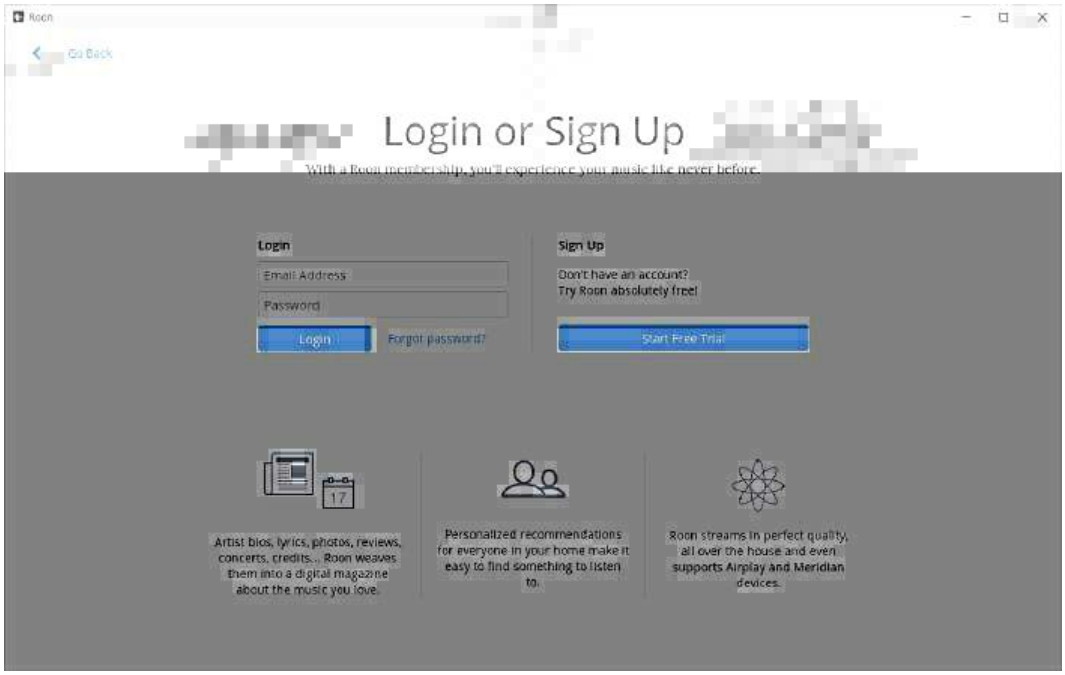
（このガイドの ‘sMS-1000SQ Eunhasu 上の Roon Server のステータス確認’を参照ください）



6-1.2. Roon へログイン

ID とパスワードを入力して Roon へログインしてください。

もし Roon のアカウントをお持ちでない場合、先に Roon のアカウントを取得してください。

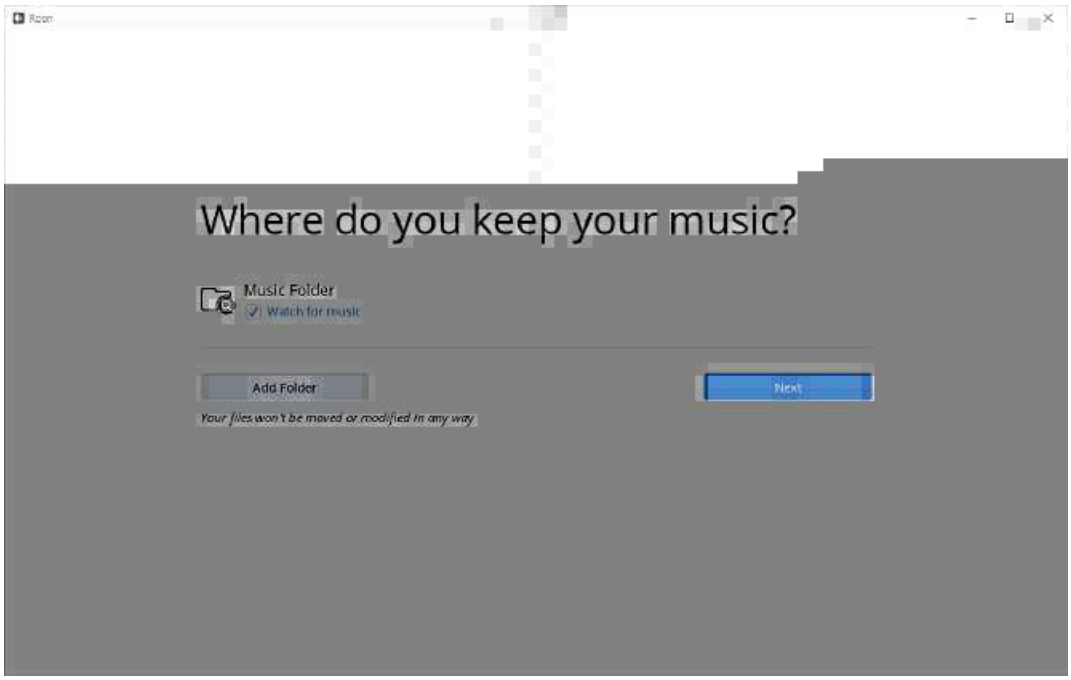


6-1.3. ミュージックフォルダーの追加

一度ログインすると音源を保存しているフォルダーを選択する新しい画面が現れます。

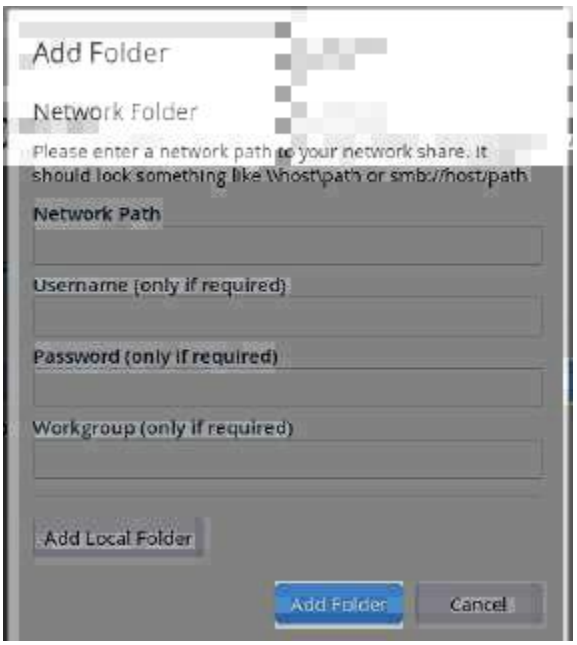
‘Add Folder’ をクリックしローカル、NAS、外部 USB 等の音源を保存しているフォルダーを選択してください。

確実にフォルダーを追加できましたら‘Next’をクリックしてください。



6-1.3.1.　フォルダー追加画面

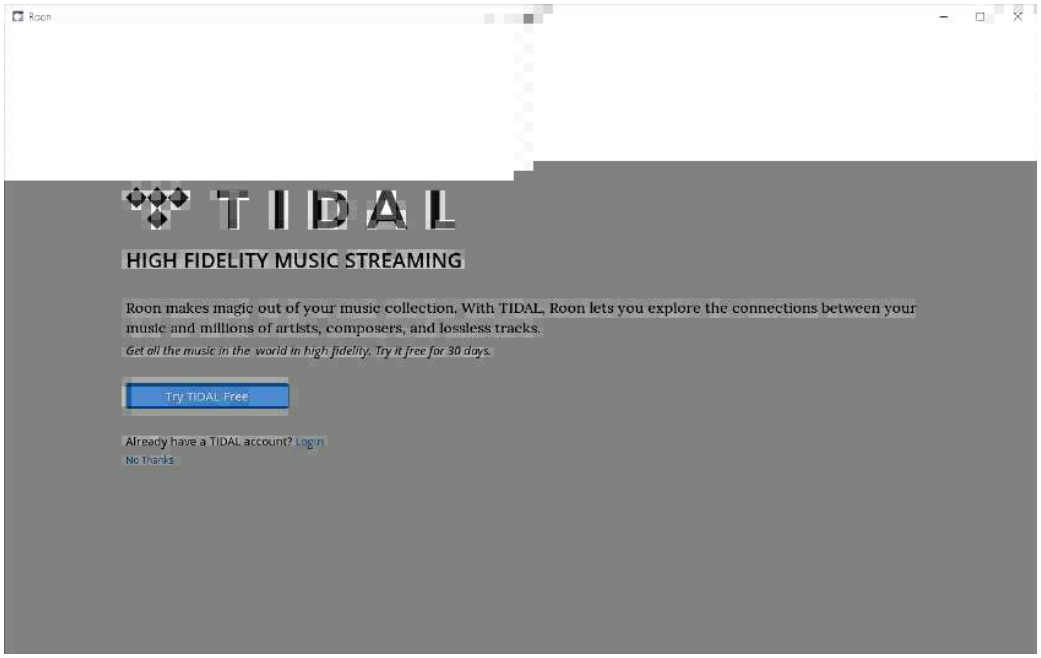
一度‘Add Folder’をクリックすると、ネットワーク上または
ローカルのフォルダーを選択する画面が表示されます。
選択後 ‘Add Folder’をクリックすればフォルダーが
追加されます。



6-1.4. TIDAL のセットアップ

もし TIDAL アカウントを取得している場合、‘Login’をクリックして TIDAL へログインしてください。

そうでない場合は‘Try TIDAL Free’をクリックして 30 日間のトライアルを利用するか、‘No Thanks’をクリックして TIDAL のサービスをキャンセルしてください。



6-1.5. 一度上記のセッティングが成功すると、Roon ソフトウェアは下記のような画面を表示します。

6-2.　オーディオ機器の選択

6-2.1. 画面の下にある‘Select an Audio Zone’をクリックして
オーディオ機器を選択する画面に移ります。

6-3.　音源の再生

様々な音楽検索を利用して音源を選択して再生することができます。

6-3.1.　Roon アイコンについて

:　ナビゲーションボタン

or

:　前または次の画面へ

:　リフレッシュボタン

:　ブックマークボタン

:　検索ボタン

:　前のトラックを再生

or

:　再生を停止及び開始

:　次のトラックを再生

:　キューの詳細画面へ

or or : トラックのお気に入りまたは禁止.

or or : リピートしない、全てリピート、
1 曲のみリピート

or :
キューのトラックを順序再生または
ランダム再生

:
キューの全曲クリア

:
オーディオ機器の選択

:
ボリューム調整

:
フルスクリーン画面

:
オーディオ機器設定画面

:
再生かつカレントキューへ追加

or :
プラスボタンはいくつかの特別処理で利用
（選択したトラックやアルバムを
プレイリストに追加する等）

- :
タグの管理
…：タグの情報の記述と保存

- :
プレイリストへ追加
…：プレイリストへ追加して保存

- :
フォルダへエクスポート
…：ローカルドライブや
ネットワークドライブ（NAS）へ
音源をエクスポート

- Excel へエクスポート (XLSX) :

プレイリストをエクセルファイルへエクスポート.

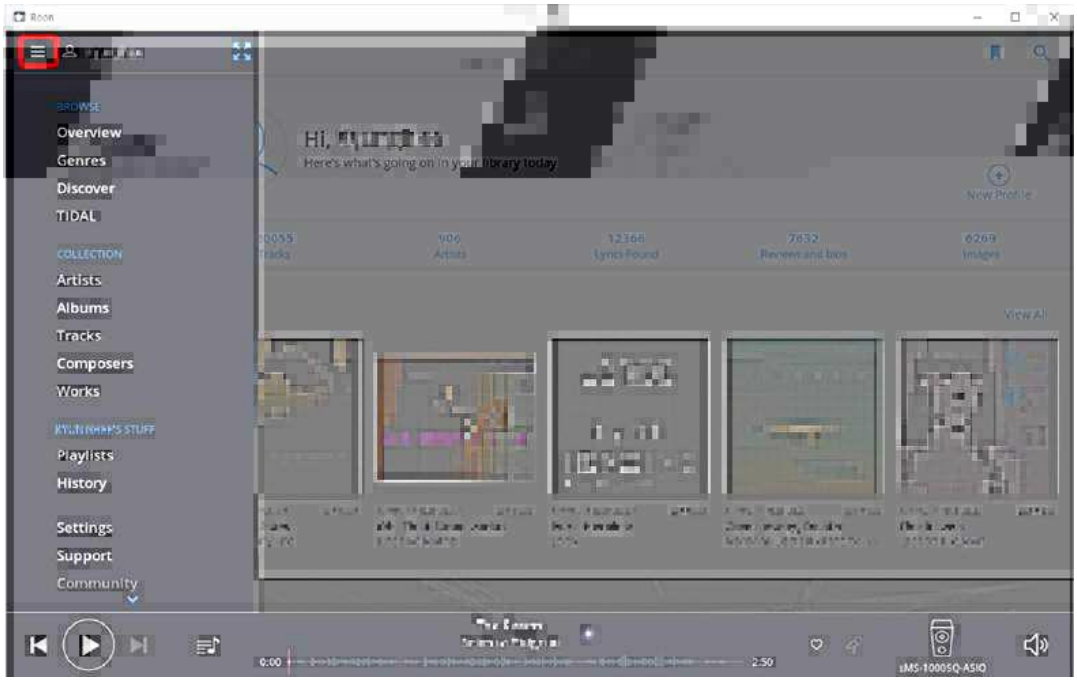
Edit : 選択した音源の記述

Remove : 選択した音源をプレイリストまたはキューから削除

Move To : 新しいプレイリストまたは他のプレイリストへ移動

Track Info : カレントトラックの情報を確認

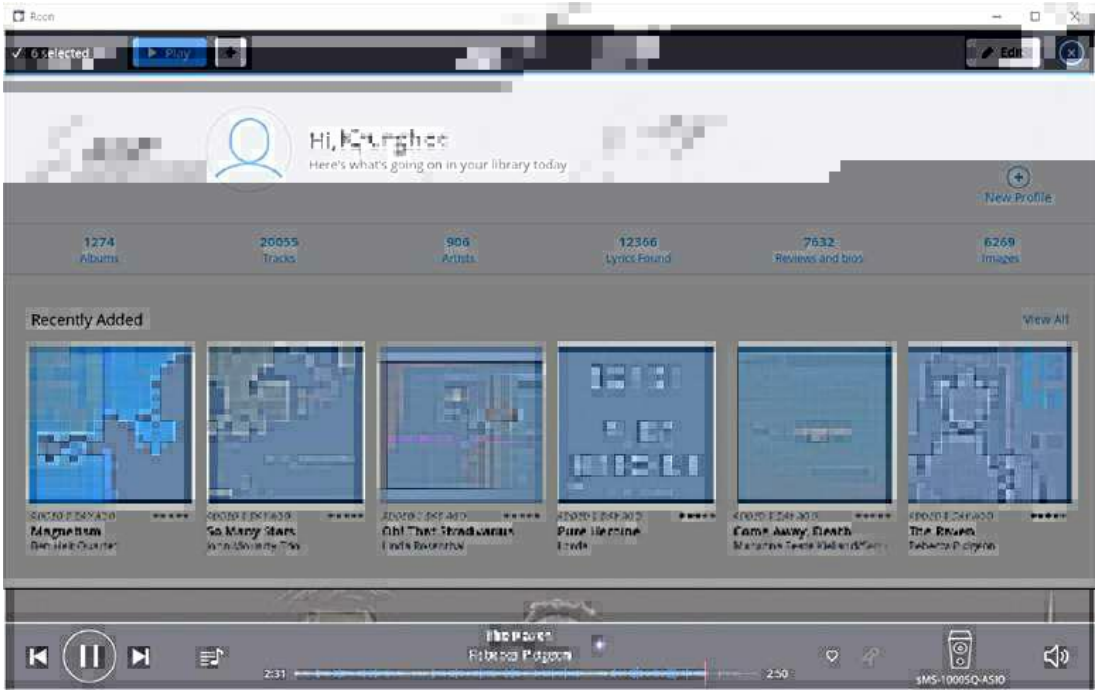
6-3.2. メイン画面の左上にあるナビゲーションボタンをクリックして
表示方法を選択できます。



- Overview： 全部のミュージックライブラリーを表示します。
- Genres： ジャンル毎にミュージックライブラリーを表示します。
- Discover ： あなたのミュージックライブラリーを分析し、隠れた宝の音源や興味がありそうなアーティストとの繋がりを可視化します。
- TIDAL：Roon で TIDAL をブラウズします。
- Artists： あなたのミュージックライブラリーをアーティスト毎に表示します。
- Albums ： あなたのミュージックライブラリーをアルバム毎に表示します。
- Tracks： あなたのミュージックライブラリーを楽曲毎に表示します。
- Composers ： あなたのミュージックライブラリーを作曲家毎に表示します。
- Works ： あなたのミュージックライブラリーをコンピレーションアルバム毎に表示します。
- Playlists： プレイリストを表示し、編集できるようにします。
- History： あなたのライブラリーの変遷を表示します。

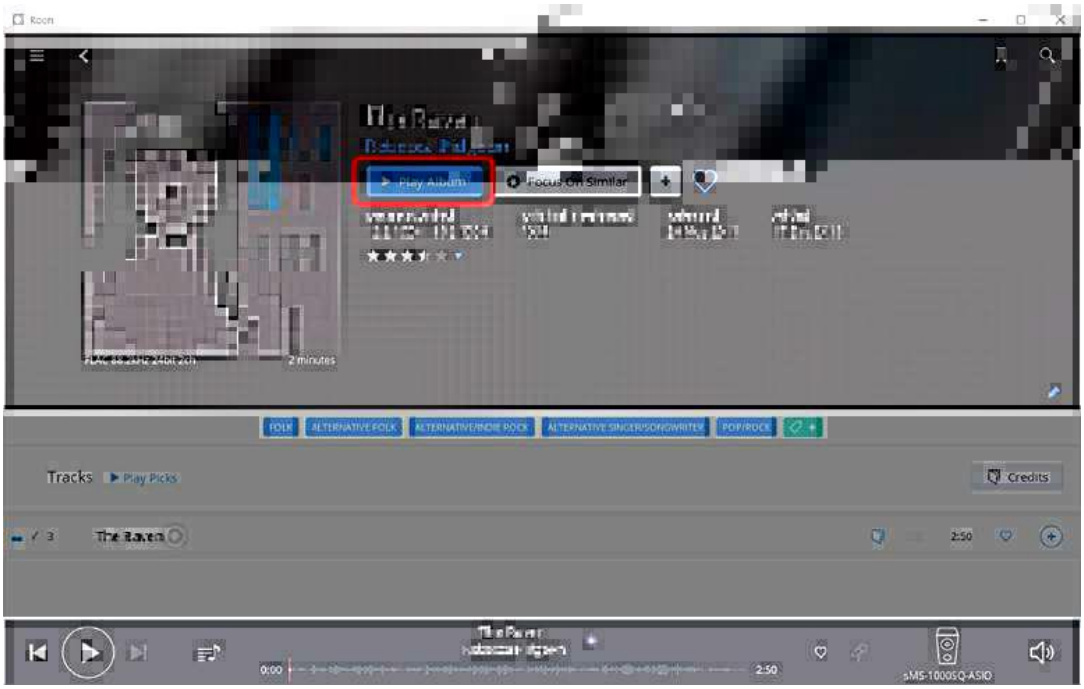
6-3.2.1.　全体を表示

再生及びキューに登録して再生したいアイテムを
右クリックします。



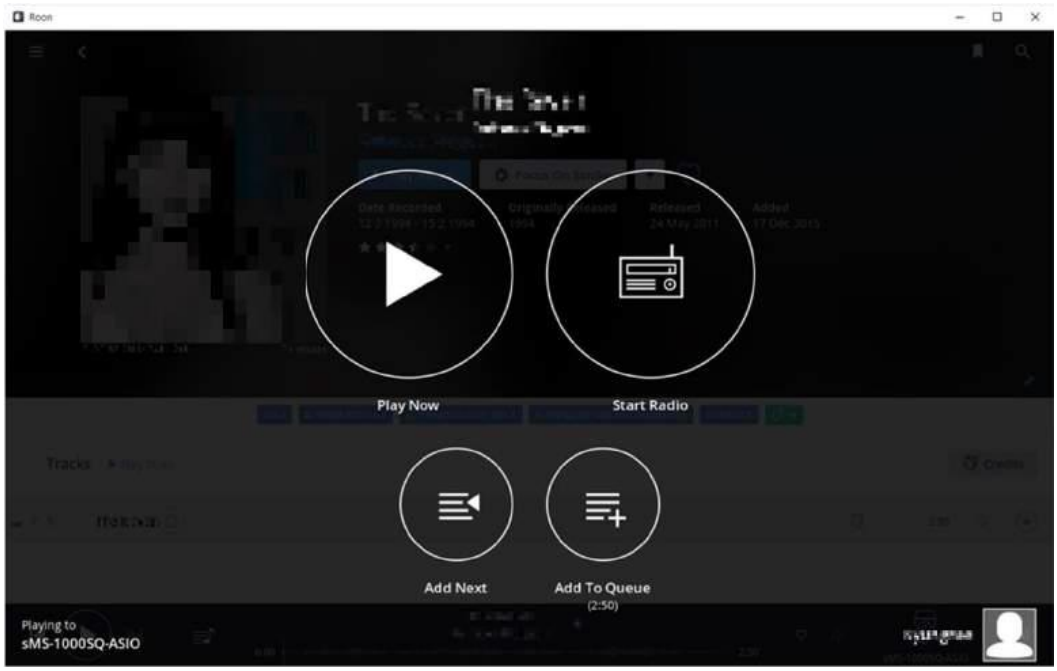
6-3.2.2.　アルバムを表示して再生

もしアルバムを表示した場合、下記のような画面が表示されます。
‘Play Album’をクリックして再生方法を選択したり、
‘+’ボタンをクリックしてプレイリストに追加するような
特殊操作等も可能です。



※Note 表示画面は、各ブラウザによって多少異なります

6-3.2.3.　‘Play Album’をクリックすると再生方法を選択する画面が表示されます。



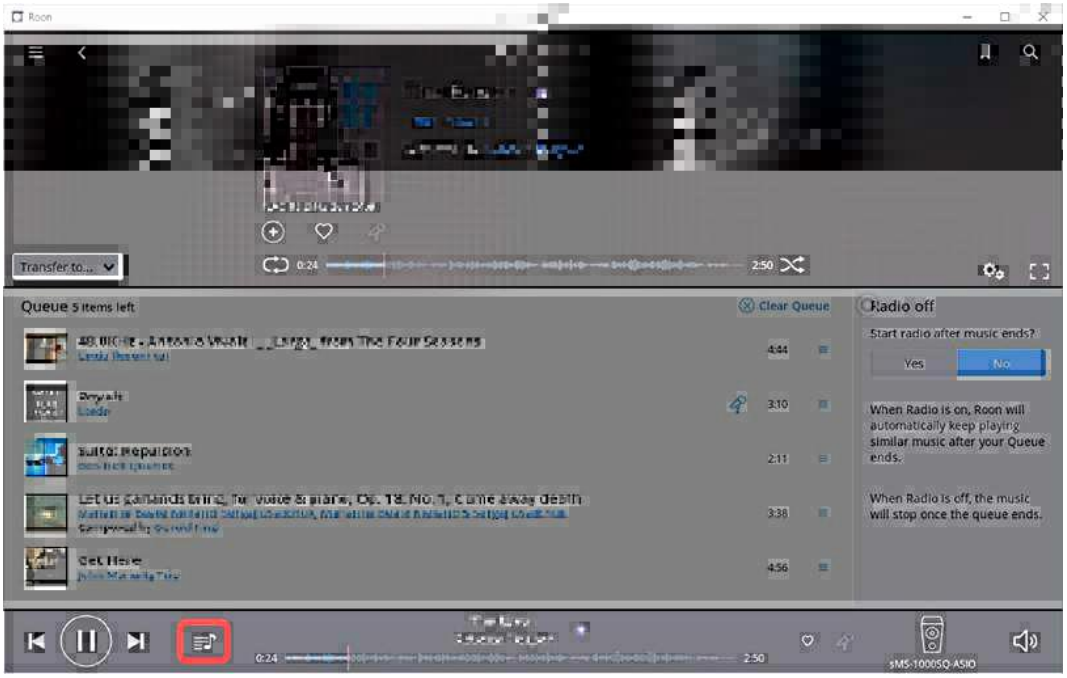
- Play Now：選択したアルバムが再生されカレントキューに追加されます。以前のキューはクリアされます。
- Start Radio：カレントキューの後に類似の音源をランダムに再生します。以前のキューはクリアされます。
- Add Next：選択したアルバムが現在再生している音源の後に追加されます。
- Add To Queue：選択したアルバムがカレントキューの後に追加されます。

6-3.2.4.　キューの内容を表示

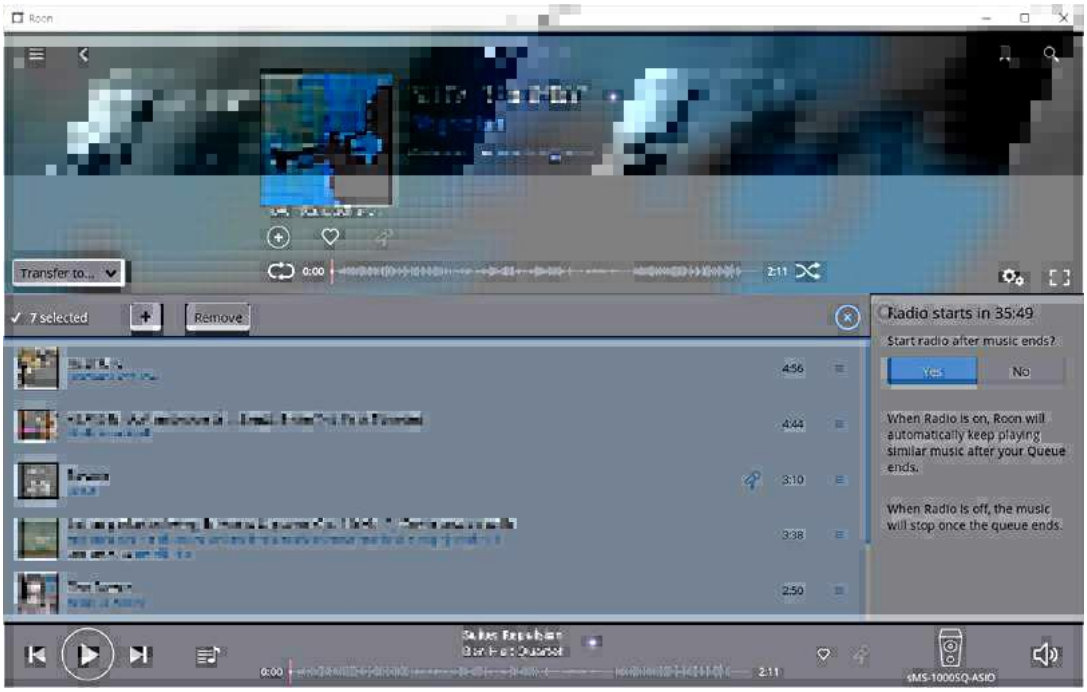
画面の横にあるキューアイコンをクリックするとキューの内容を表示する画面に移ります。

トラックの順序を変更するにはドラッグハンドルのアイコンをクリックします。（3 本の青い線のようなものです）

ドラッグアンドドロップであなたが再生したい順に配置します。



もしマウスやタッチパネルのプレスアンドホールドが
使えるのであれば、右クリックすることで選択した曲や
アルバムをプレイリストに追加するような操作が行えます。



6-3.3. プレイリストを表示

6-3.3.1. プレイリストを表示できる場合、保存されたプレイリストを確認できます。

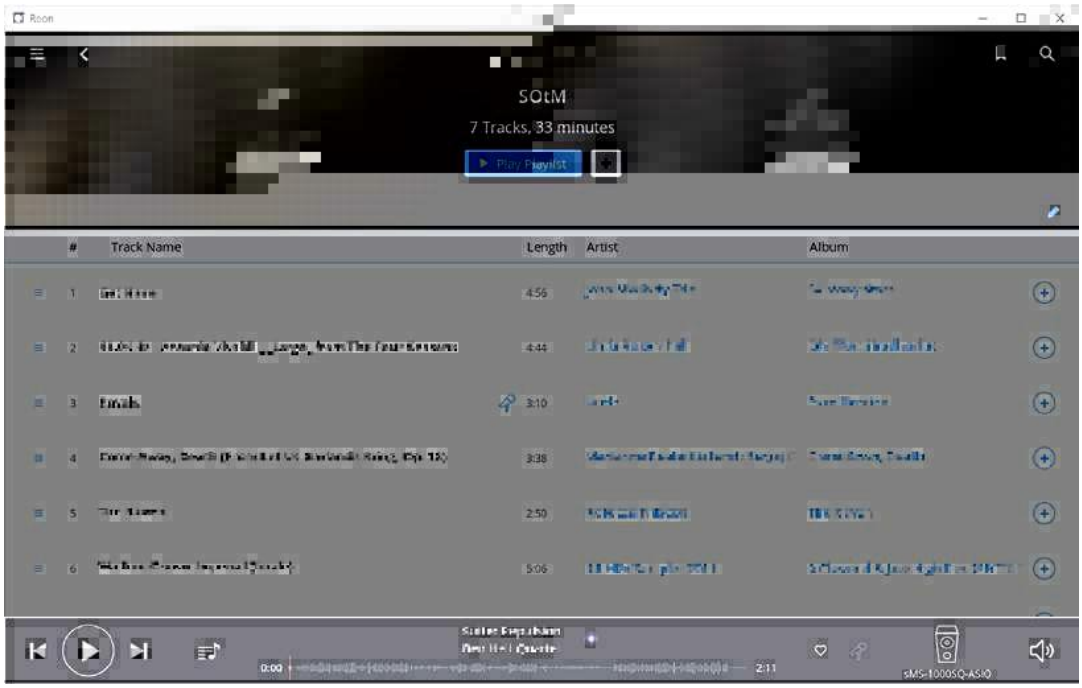
6-3.3.2. 編集したいプレイリストをクリック

プレイリストの詳細画面において、いくつか編集を加えることができます。

- 選択したトラックをプレイリストから削除できます。
- プレイリストの上部にあるペンシルをクリックして

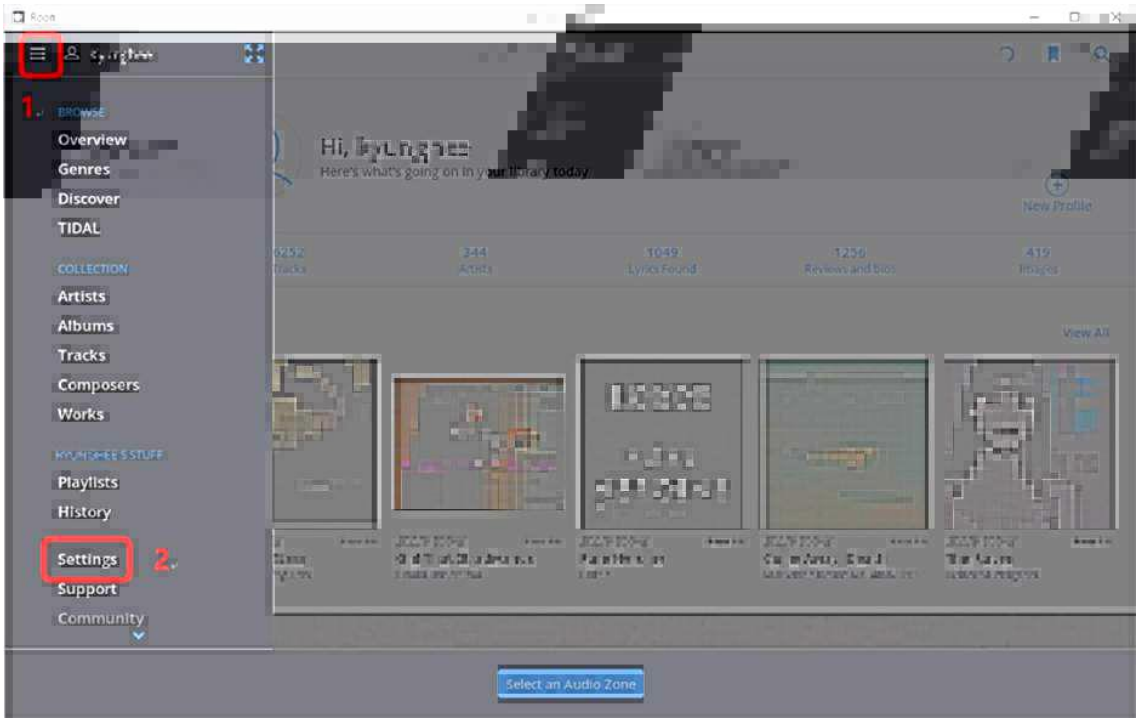
プレイリストの名前を変更したり、削除したりできます。

- ドラッグハンドルを利用してトラックの順序を変更できます。（3 本の青い線のようなものです）

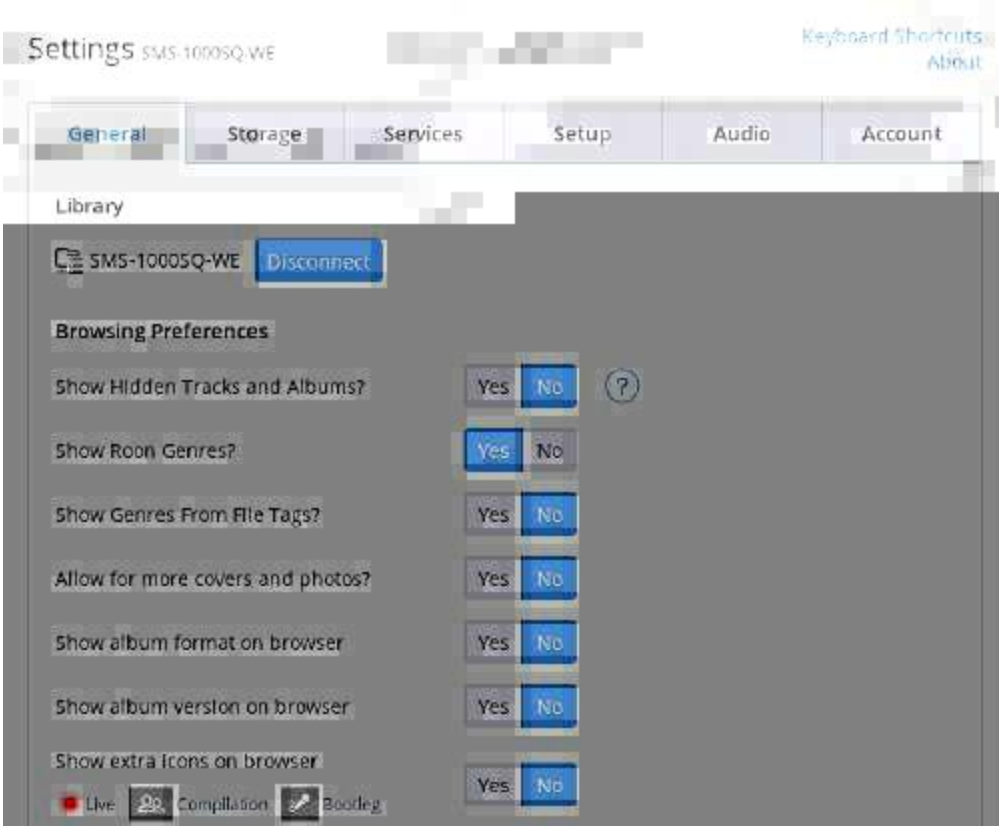


Roon セッティング

メイン画面の上部左端にあるナビゲーションボタンをクリックし、
Settings をクリックします。



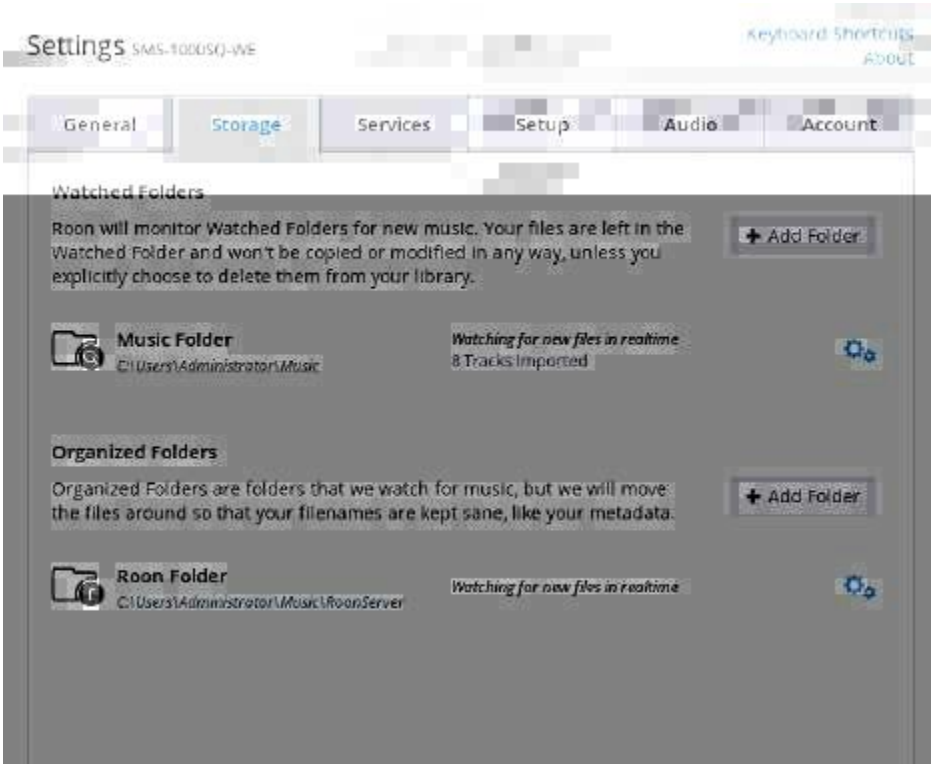
1. General タブ
   現在ライブラリとして接続している Roon デバイスを表示するとともに、
   ブラウジング環境を設定できます。



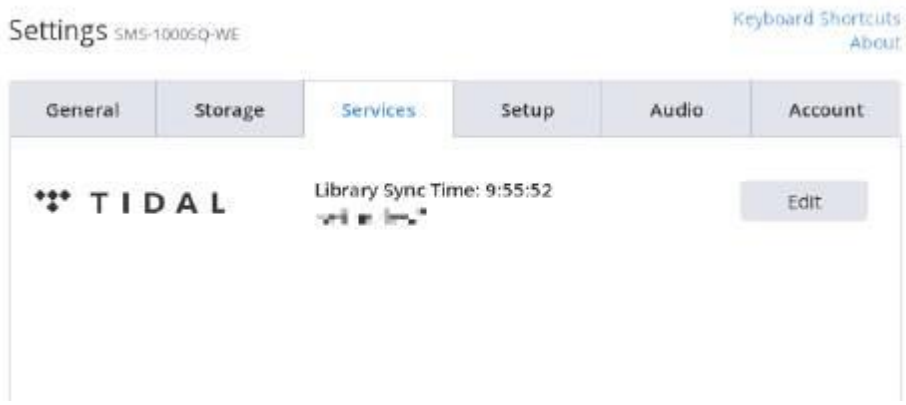
2. Storage タブ

音源を保存しているフォルダーの接続パスを追加または修正できます。

もし保存しているフォルダーの接続パスを追加したい場合、‘Add Folder ’をクリックして接続パスを記入してください。



3. Services タブ
   TIDAL など現在利用できるサービスを表示します。

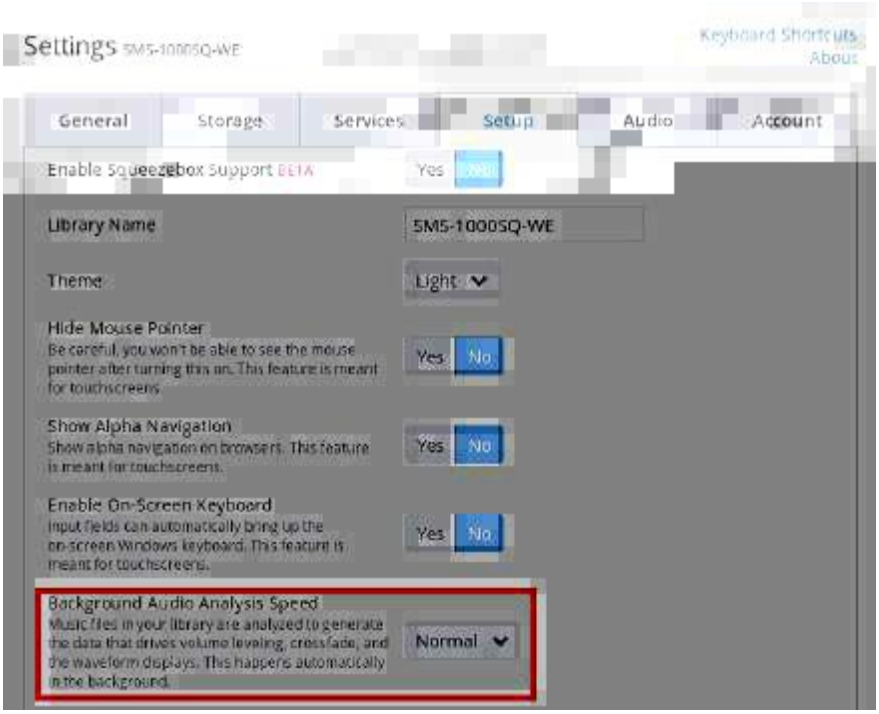


もし TIDAL にログインしていない場合、‘Login’をクリックしてあなたの TIDAL アカウントの ID とパスワードを入力してください。

4. Setup タブ

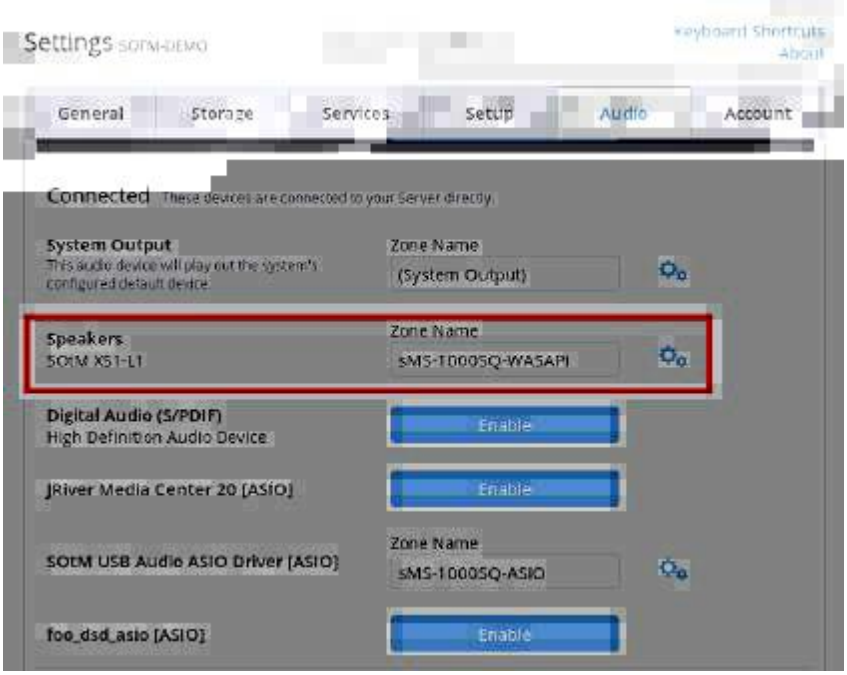
   Roon の基本環境を設定します。

   ※もし音源を再生している間に音が途切れたり、ノイズが発生する場合は、‘Background Audio Analysis Speed’を調整するか off にしてください。



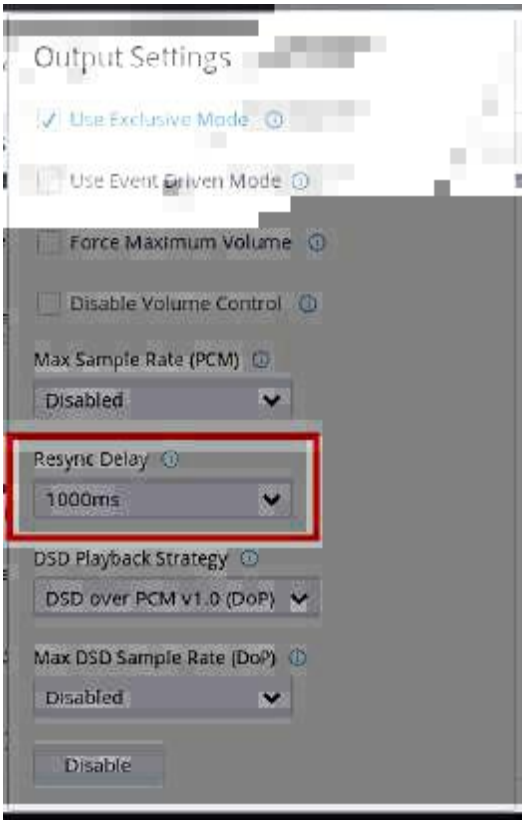
5. Audio タブ

オーディオ機器を設定します。



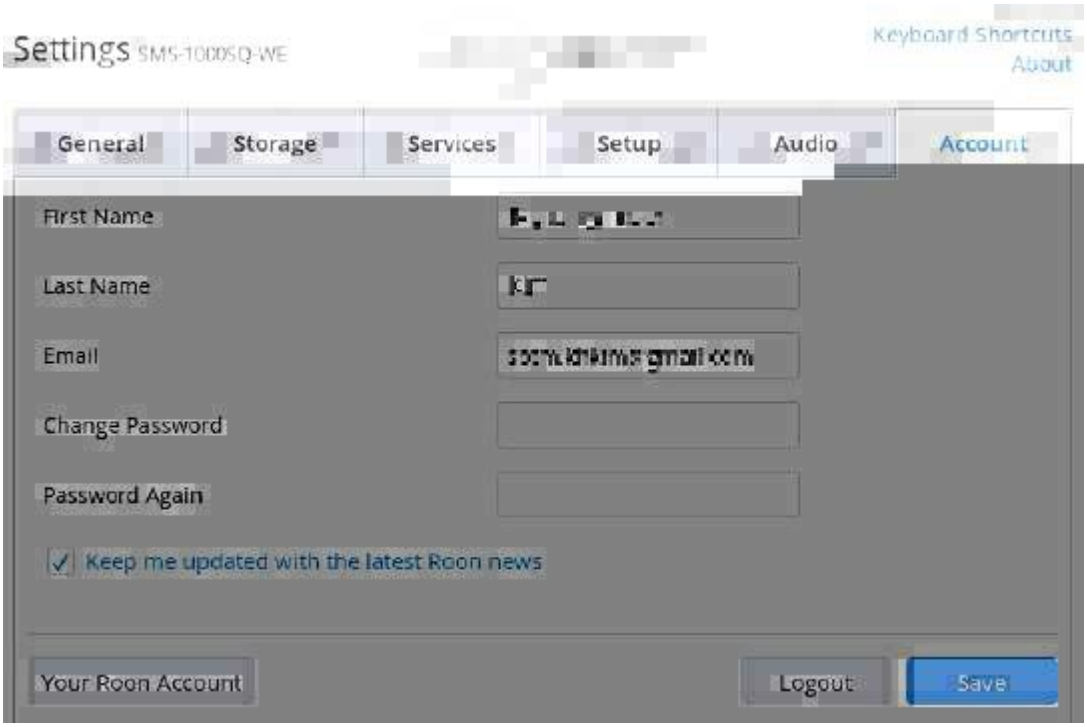
※もし音源を再生している間に音が途切れたり、ノイズが発生する場合は、

’Resync Delay’の出力設定を 1000ms ～2000ms で調整してください。



※備考：もし sMS-1000SQ Eunhasu に接続しているオーディオ機器が
見つからない場合、最初に sMS-1000SQ Eunhasu との接続が
外れていないか確認してください。
確実に接続されていてもオーディオ機器が見つからない場合、
USB オーディオデバイスドライバーを追加インストールする必要が
あるかもしれません。
その場合、このガイドの USB オーディオデバイスドライバーの
インストールの仕方を参照してください。

6. Account タブ
   現在ログインしている Roon アカウント情報の修正及び確認ができます。



Eunhasu（ウナス） Web GUI（Eunhasu Web GUI の使い方）

1　Eunhasu Web GUI への接続

PC またはスマートデバイスのウェブブラウザを起動し、http://eunhasu に接続します。

MAC OSX の場合、http://eunhasu.local に接続してください。

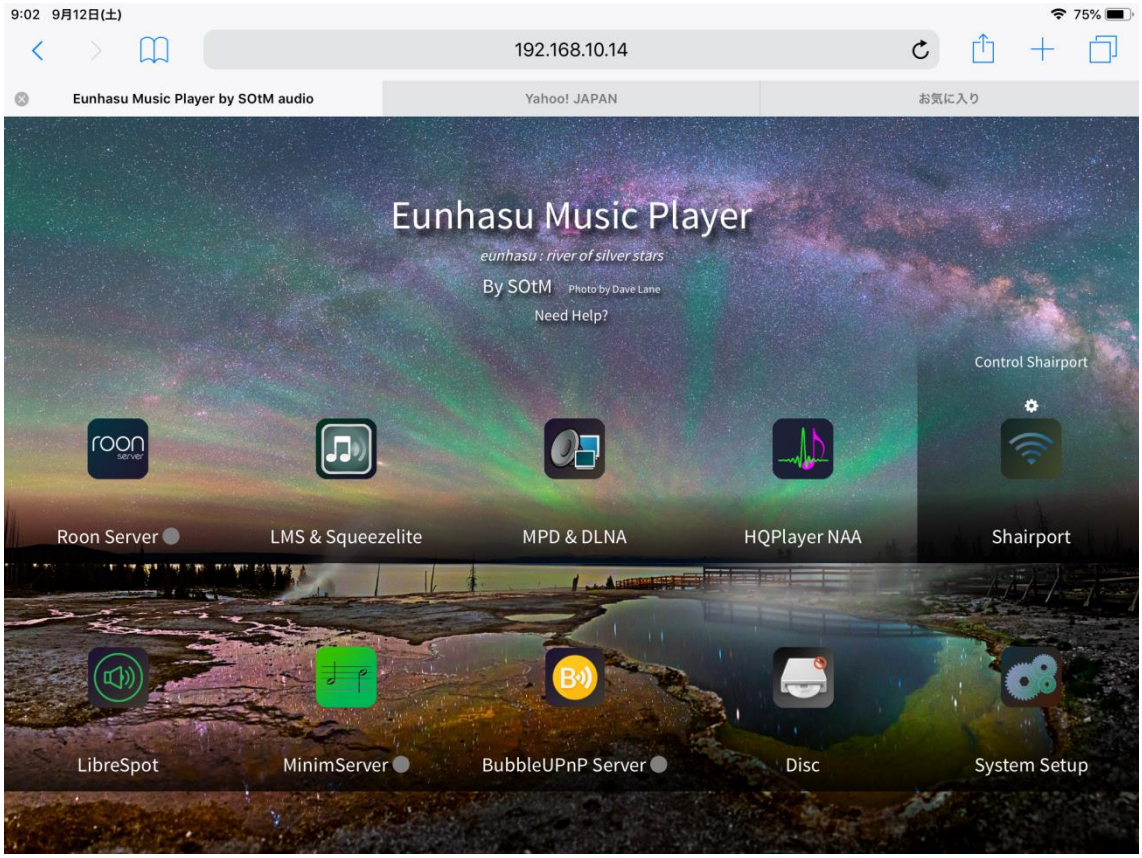
もしどちらの方法でも Eunhasu Web GUI に接続出来ない場合、sMS-1000SQ Eunhasu の IP アドレスを確認してください。

その後 sMS-1000SQ Eunhasu の IP アドレス（“http://xxx.xxx.xxx.xxx”）をウェブブラウザへダイレクトに入力し Eunhasu Web GUI に接続してください。

もしそれでも Eunhasu Web GUI に接続できない場合、

ネットワークステータス及び電源が入っているかを確認してください。

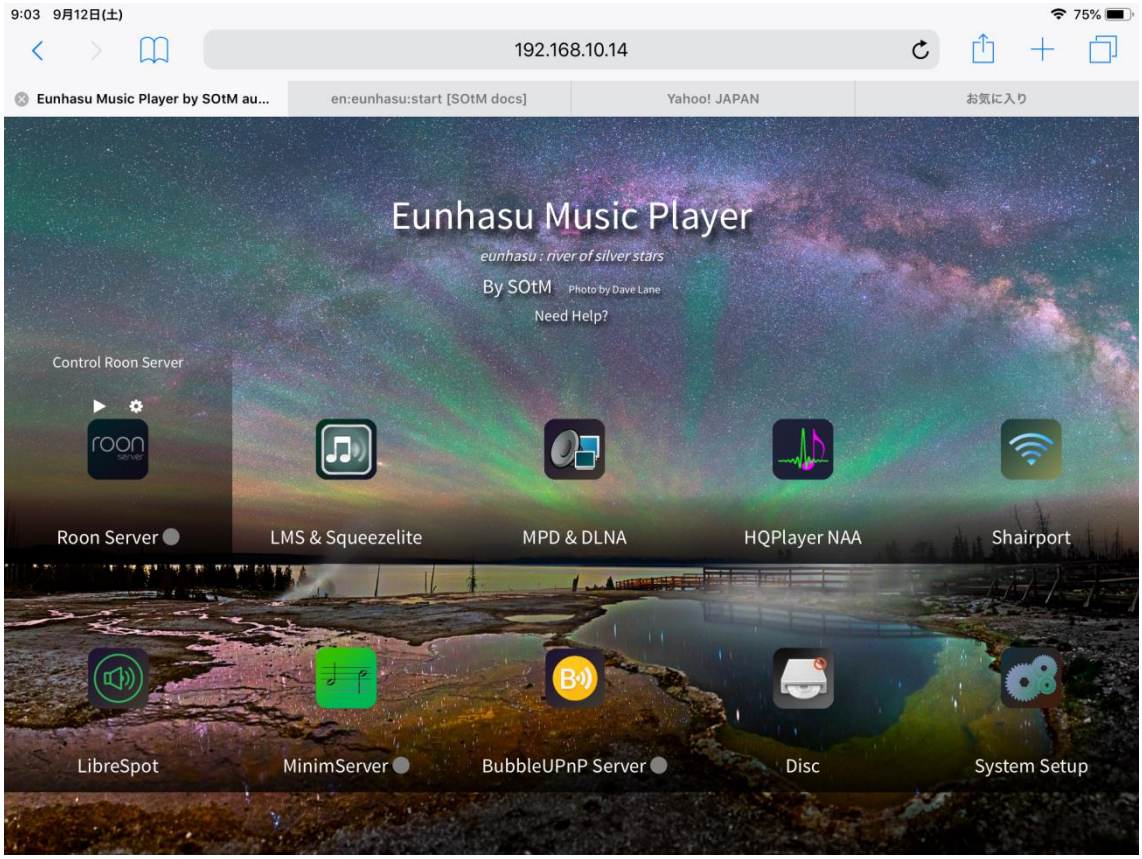
Eunhasu Web GUI 接続に成功すると下記のような画面が表示されます。



2　機能選択

Web GUI で機能を選択する場合、マウスをかざすとアクションボタンが表示されます。

スマートデバイスの場合、アイコンをタッチするとマウスと同じようにアクションボタンが表示されます。



2.1 Roon Server アイコン

Roon Server を起動させます。

このマニュアルの Roon Server の使い方の章を参照ください。

2.2 LMS & Squeezelite アイコン

Squeezelite は Logitech Media Server と一緒に動作するネットワーク
ミュージックファイルプレーヤーです。

Tidal、Qobuz、インターネットラジオ等多くのサービスと統合されています。
クリックによる再生、停止、LMS web interface の実行、再スタートや
アイコンによる設定を sMS-1000SQ Eunhasu 上の Squeezelite でコントロールできます。

このマニュアルの Squeezelite の使い方の章を参照ください。

2.3 MPD & DLNA アイコン

MPD は USB ストレージやネットワーク共有フォルダーに保存された
音楽ファイル再生するネットワークミュージックファイルプレーヤーです。
そして DLNA は MPD 機能を通して DLNA サーバーと DLNA コントロール
ポイントと動作する DLNA オーディオレンダラーです。
ほとんどの PC、NAS や DLNA サーバ機能を持つスマートデバイスなど様々
なデバイスで音楽ファイルを再生することが可能です。
クリックによる再生、停止、再スタートやアイコンによる設定を sMS-1000SQ
Eunhasu 上の MPD & DLNA でコントロールできます。

このマニュアルの MPD & DLNA の使い方の章を参照ください。

2.4　HQPlayer NAA アイコン

HQPlayer の出力先として、sMS-1000SQ Eunhasu を指定できます。

※2017/8/19 現在、HQ Player は日本で販売中止となっております

2.5　Shairport アイコン

AirPlay の出力先として、sMS-1000SQ Eunhasu を指定できます。

このマニュアルの Shairport の使い方の章を参照ください。

2.6　LibreSpot アイコン

Spotify の出力先として、sMS-1000SQ Eunhasu を指定できます。（Spotify connect）

このマニュアルの LibreSpot の使い方の章を参照ください。

2.7　MinimServer アイコン

sMS-1000SQ Eunhasu を NAS として利用できます。

このマニュアルの MinimServer の使い方の章を参照ください。

2.8　BubbleUPnP Server アイコン

sMS-1000SQ Eunhasu で Tidal 及び Qobuz のストリーミングを聴くことができます。

このマニュアルの BubbleUPnP Server の使い方の章を参照ください。

2.9　Disc アイコン

CD リッピングの設定ができます。（CD リッピングオプションのみ）

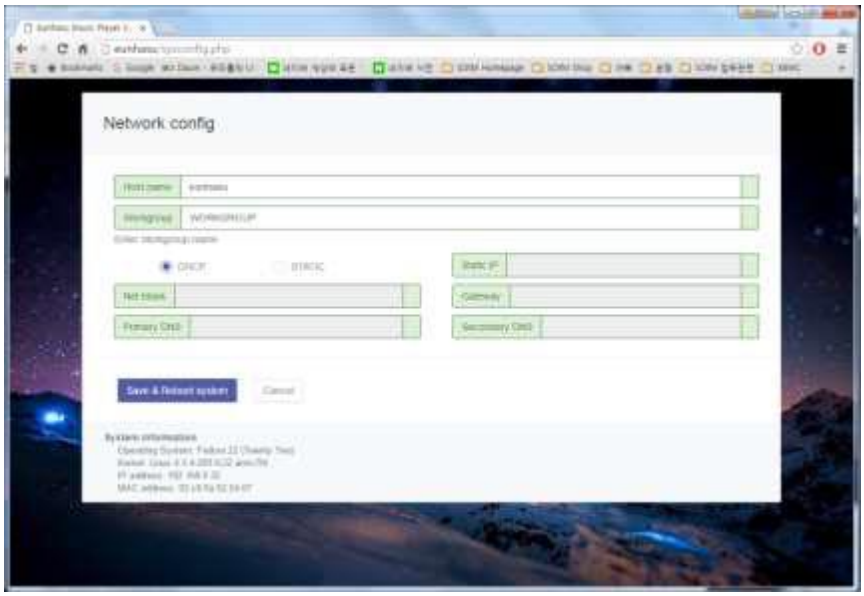
2.10 設定は次ページ以降を参照ください。System Setup アイコン

ネットワーク設定、ライブラリ設定、システムアップグレード、再起動、電源 OFF をこのアイコンで実行できます。

設定は次ページ以降を参照ください。

2.10.1　ネットワーク設定

sMS-1000SQ Eunhasu のネットワーク設定をセットアップします。



Host name: sMS-1000SQ Eunhasu がネットワーク上で表示される場合の名前です。いくつもの sMS-1000SQ Eunhasu を同じネットワークで利用する場合、
各々異なる名前を設定する必要があります。

Workgroup:ネットワーク上でフォルダーを共有する際に使用されます。通常 WORKGOUP が使われますが、要求に応じて変更できます。

Select DHCP：ルーターなどの DHCP サーバーは、sMS-1000SQ Eunhasu に IP アドレスを割り当て、ネットワークに接続します。

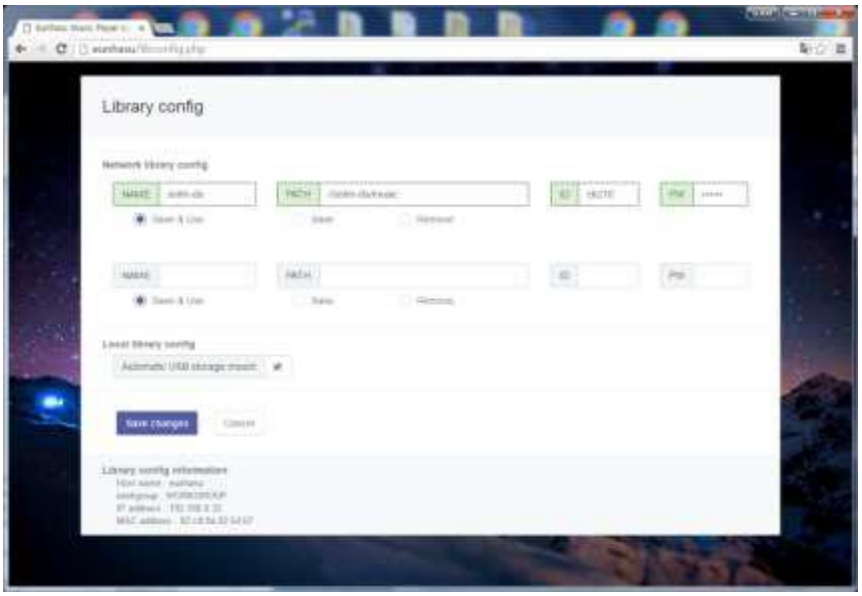
Select STATIC：sMS-1000SQ Eunhasu は、入力された IP、ネットマスク、
ゲートウェイおよび DNS 情報で接続されます。
（注意事項：間違った IP、ネットマスク、ゲートウェイおよび
DNS 情報で接続した場合、sMS-1000SQ Eunhasu はネットワーク上でコントロールできなくなり、重大な問題を引き起こす可能性があります。慎重に設定する必要があります）

Save & Reboot system: 情報を保存し製品を再起動します。

Cancel: ホーム画面に戻ります。

2.10.2　ライブラリ設定

ネットワークライブラリのパスを設定し、USB ストレージデバイスを使えるようにします。



NAME: Logitech Media Server または MPD に表示されるライブラリーフォルダーの名前です。

PATH: ネットワーク共有フォルダーのパスです。
パスは以下のように記載する必要があります。
//server name/sharing folder name

ID: ネットワーク共有フォルダーにアクセスする際に必要な ID を入力します。

PW: ネットワーク共有フォルダーにアクセスする際に必要なパスワードを入力します。

Save & Use: 入力した情報を保存し利用します。

Save: 入力した情報を保存します。利用はしません。

Remove: 入力した情報を削除します。

Automatic USB storage mount:USB ストレージを有効または失効します。USB ストレージは 2 つまで利用可能です。

Automatic USB storage mount が有効になっている場合、USB ストレージが Logitech Media Server や MPD で
USB1 や USB2 のように自動的に認識されます。

Save changes: 新規入力や修正した情報を保存します。

注：新しいネットワーク共有フォルダ情報は、入力した情報を保存した後に追加することができます。

Cancel: ホーム画面に戻ります。

2.10.3　システムアップグレード

sMS-1000SQ Eunhasu のソフトウェアをアップグレードします

Last version information: 最新のソフトウェア情報を表示します。

Current version information: 現在使っているソフトウェア情報を表示します。

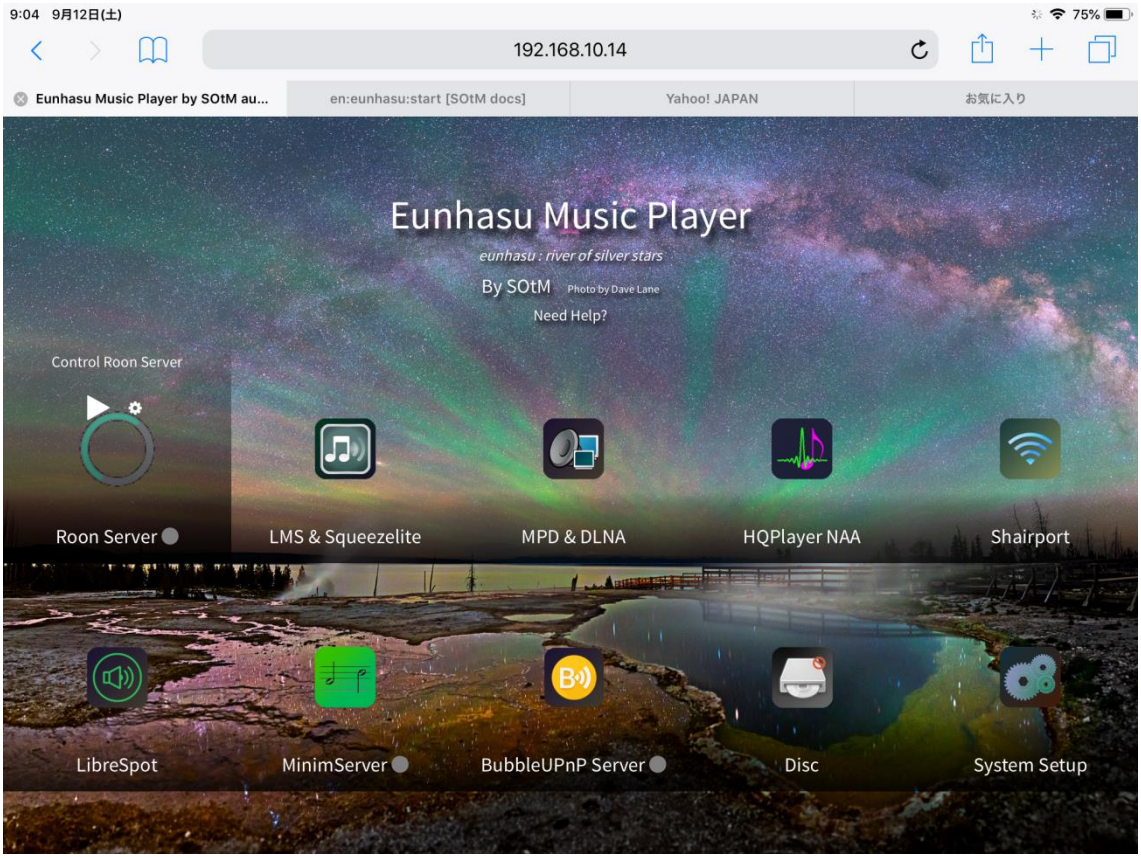
Already installed last version. No need to Upgrade: 最新ソフトウェアと現在使っているソフトウェアを比較してアップグレードが必要かどうかを表示します。
もしアップデートが必要な場合、Upgrade will stop all applications and take a long time を表示します。

Upgrade now: プログラムを停止し、ソフトウェアをアップグレードします。
注 : アップグレードに時間が掛かる場合、アップグレード中は電源を ON にしてください。

Cancel: ホーム画面に戻ります。

Roon Server　(Roon Server の使い方)

7. Roon Server アイコンを選択
   マウスをかざすとアクションボタンが表示されます。
   スマートデバイスの場合、アイコンをタッチするとマウスと同じようにアクションボタンが表示されます。
   アクションボタンを使って、Roon Ready のスタート、ストップ、リスタート、設定ができます。

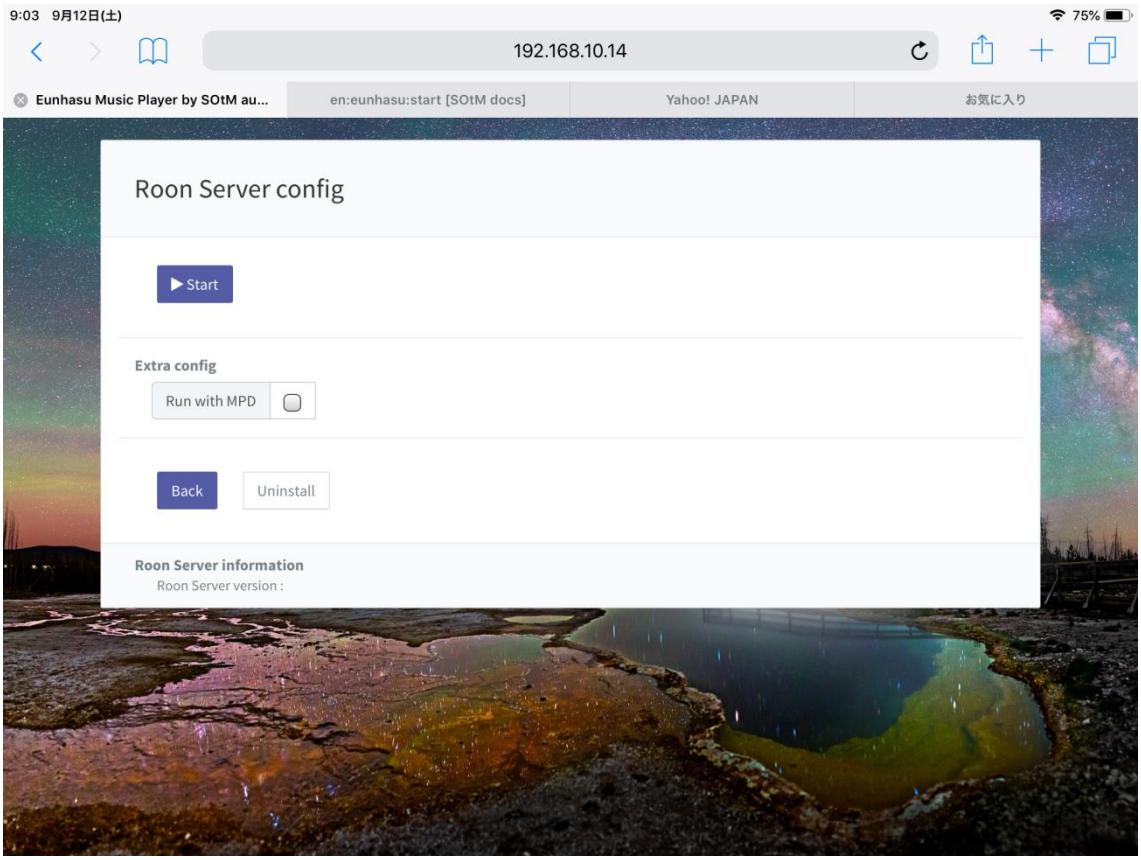


8. Roon Server のスタート
   Roon Server の start ボタンをクリックします。
   Active のサインが Roon Server アイコンの右に表示され、Roon Server が起動します。

9. Roon Server の停止
   Roon Server の stop ボタンをクリックします。

10. Roon Server のリスタート
    Roon Server の restart ボタンをクリックすると Roon Server が停止し、スタートします。

11. Roon Server 設定
    config ボタンをクリックすると Roon Server 設定画面が表示されます。



Exrta config: sMS-1000SQ Eunhasu で再生を行う場合にはチェックします。
（Roon Core のみ利用する場合はチェックを外します）

Back: ホーム画面に戻ります。

Squeezelite　(Squeezelite 及び Deezer の使い方)

1. Squeezelite アイコンを選択
   マウスをかざすとアクションボタンが表示されます。
   スマートデバイスの場合、アイコンをタッチするとマウスと同じようにアクションボタンが表示されます。
   アクションボタンを使って、スタート、ストップ、Open LMS web interface、リスタート、Squeezelite の設定ができます。

2. Squeezelite のスタート
   start ボタンをクリックすると Squeezelite と Logitech Media Server がスタートします。
   Active のサインが Squeezelite アイコンの下に表示され、Squeezelite が起動します。
   Squeezelite が起動すると、Logitech Media Server も同時に起動するため、約 30 秒程かかります。

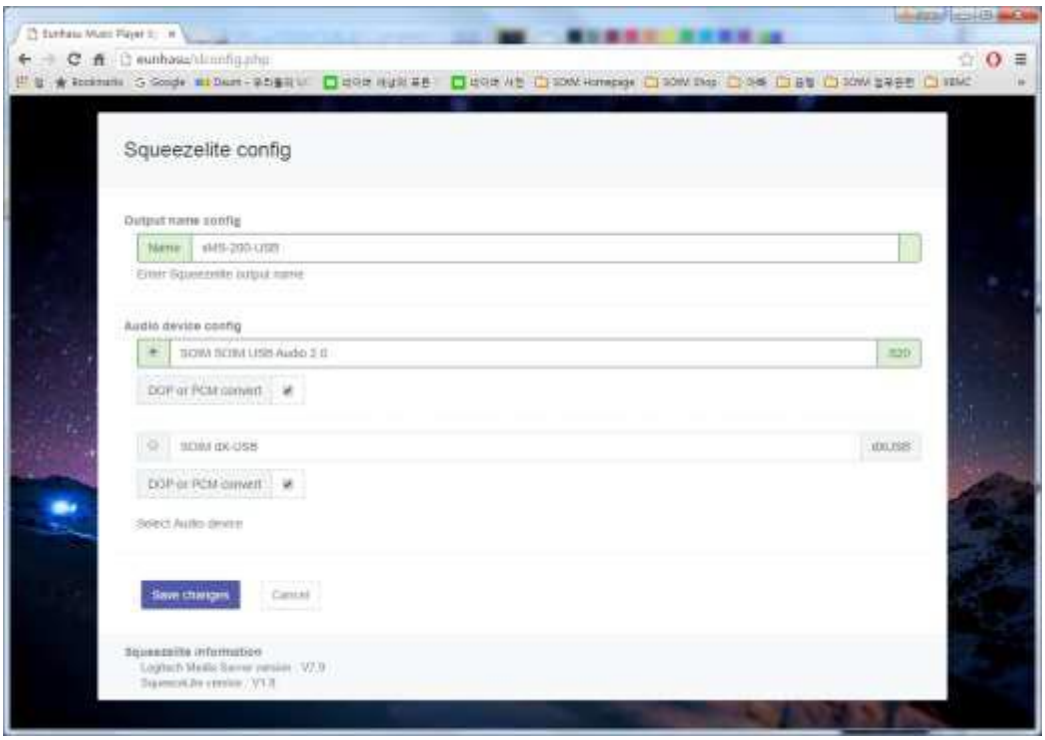
3. Squeezelite の停止
   stop ボタンをクリックすると Squeezelite と Logitech Media Server が停止します。

4. LMS web interface のオープン
   LMS web interface ボタンをクリックすると sMS-200ultra 上で起動している LMS web interface リモートコントロールが新しいブラウザでオープンし
   ブラウズ及びミュージックファイルの再生ができます。

5. Squeezelite のリスタート
   restart ボタンをクリックすると Squeezelite と Logitech Media Server が停止した後、再起動します。

6. Squeezelite 設定

config ボタンをクリックすると Squeezelite 設定画面が表示されます。



Name: Logitech Media Server 上に表示される sMS-200ultra の Squeezelite の名前です。

Audio device config: sMS-200ultra に接続している全ての USB DAC の情報が表示されます。
選択されている USB DAC がライトグリーンボックスにラジオボタンが選択された形で表示され、選択されていない USB DAC はライトブルーボックスにラジオボタンが選択されていない形で表示されます。
使いたい USB DAC のラジオボタンを選択し Save changes をクリックすると USB DAC が使えるようになります。

DOP or PCM convert: DOP で DSD ミュージックファイルを再生する場合はチェックします。
DSD から PCM に変換する場合はチェックしません。

Save changes：入力または修正した情報を保存すると、Squeezelite が実行されていた場合、Squeezelite and Logitech Media Server が自動的に再移動してスタートします。

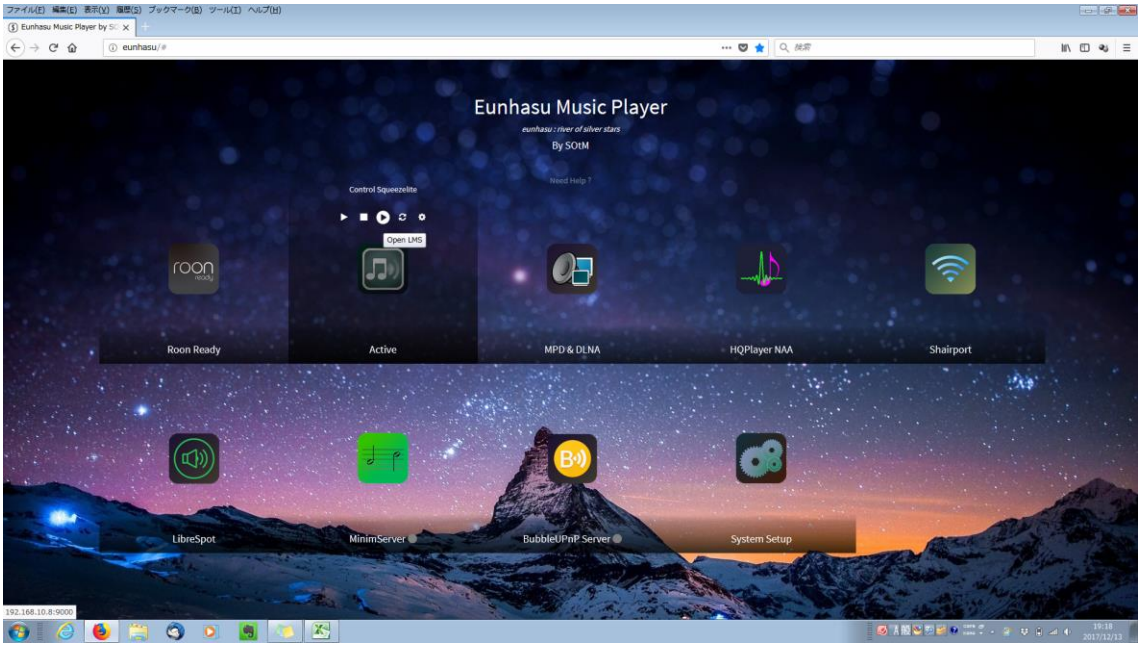
Cancel: ホーム画面に戻ります。

7. Deezer 設定

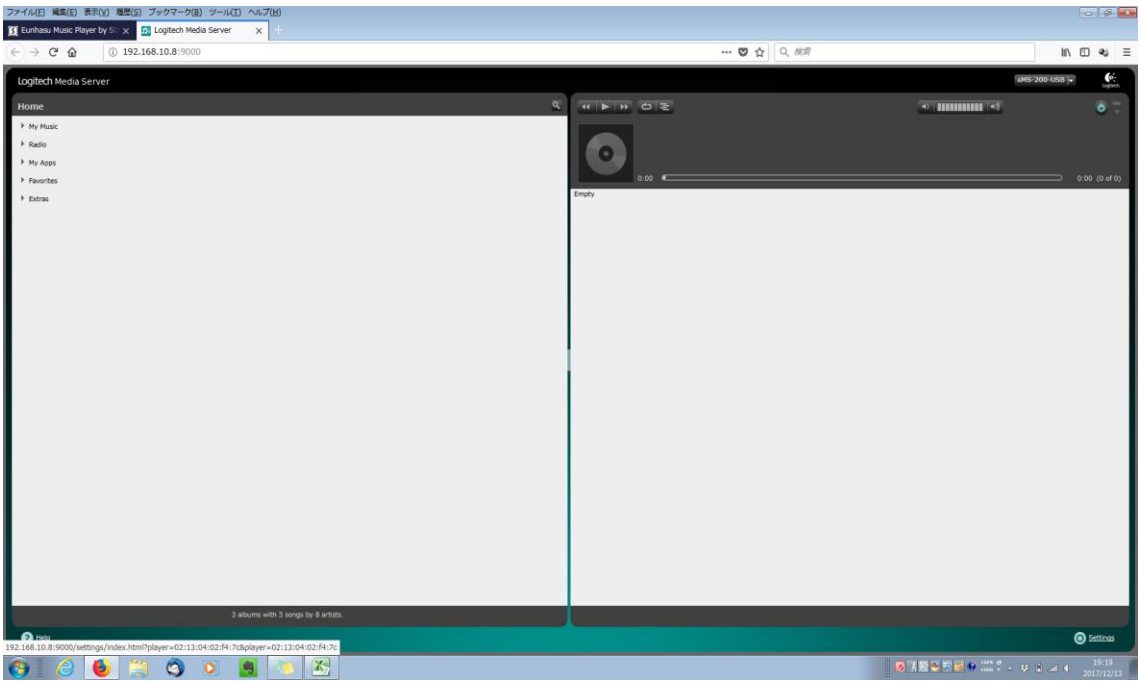
（注意）事前に Deezer との契約を行ってください。

Deezer のサイトはこちら：https://www.deezer.com/ja/

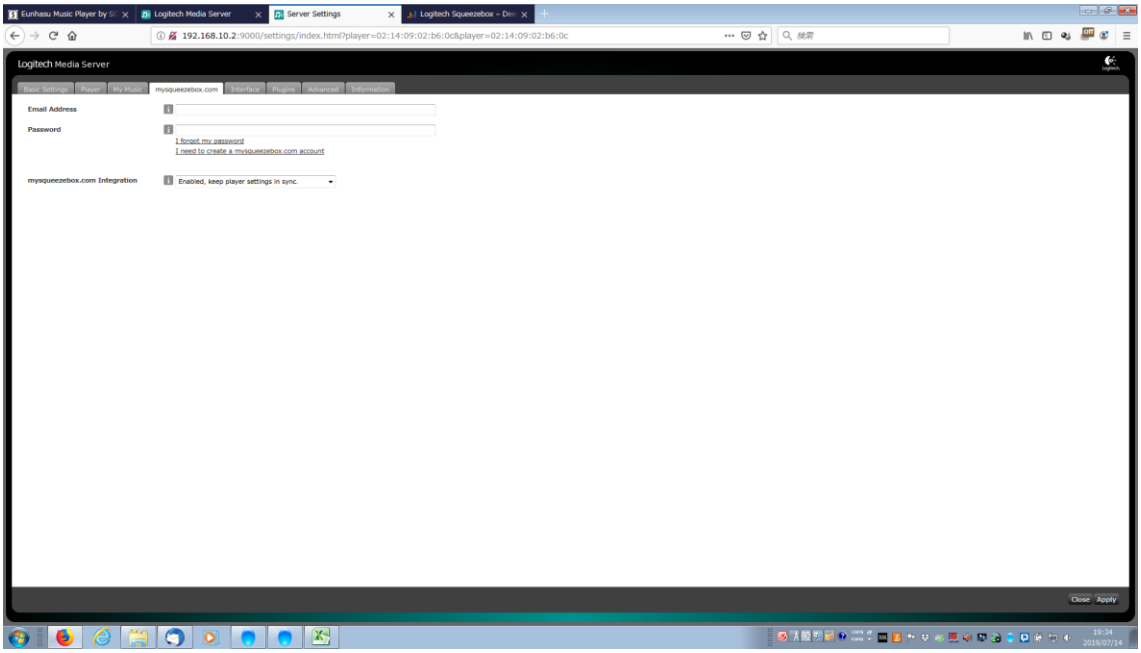
Open LMS のボタンをクリックして、Logitech Media Server を立ち上げます



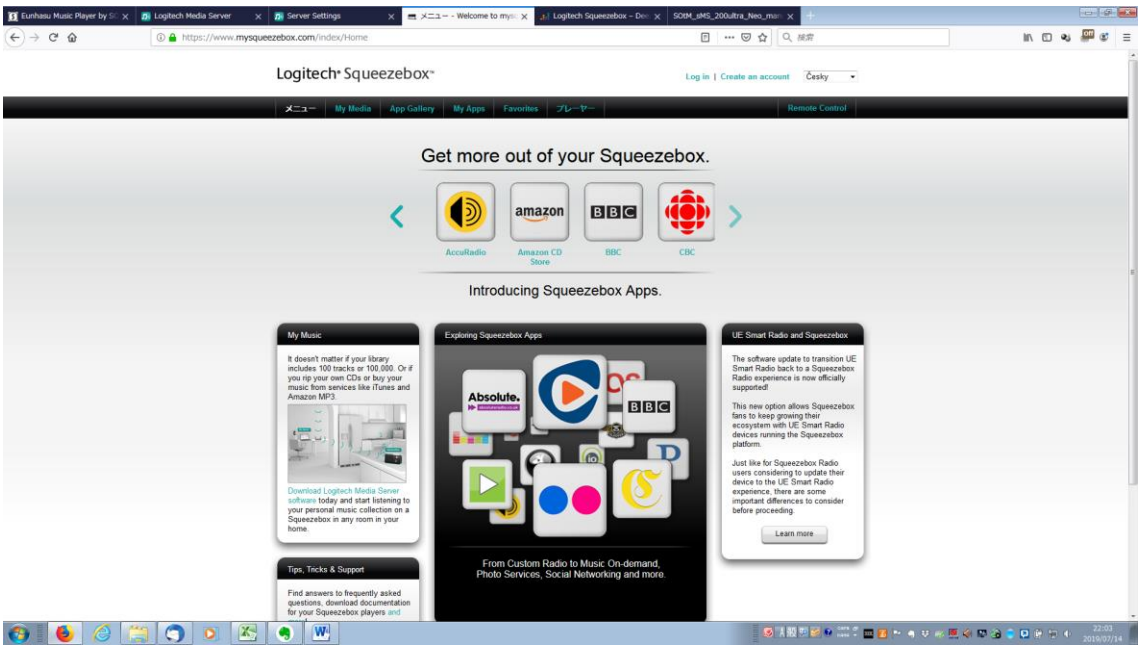
右下の Settings をクリックします。



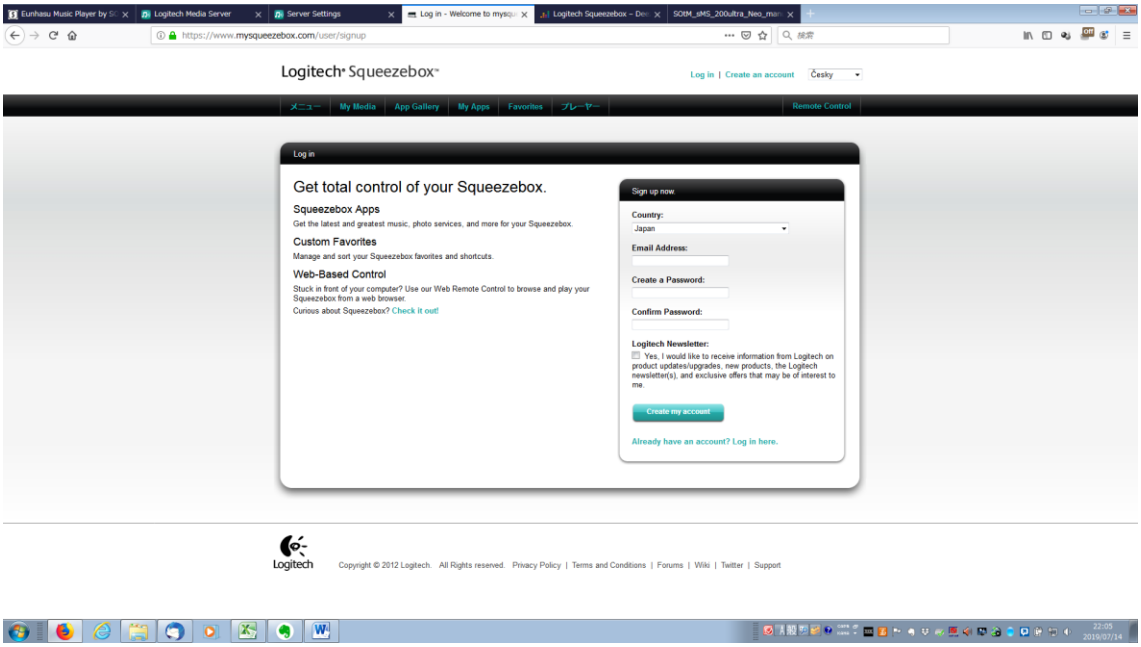
mysqueezebox.com タブをクリックします。



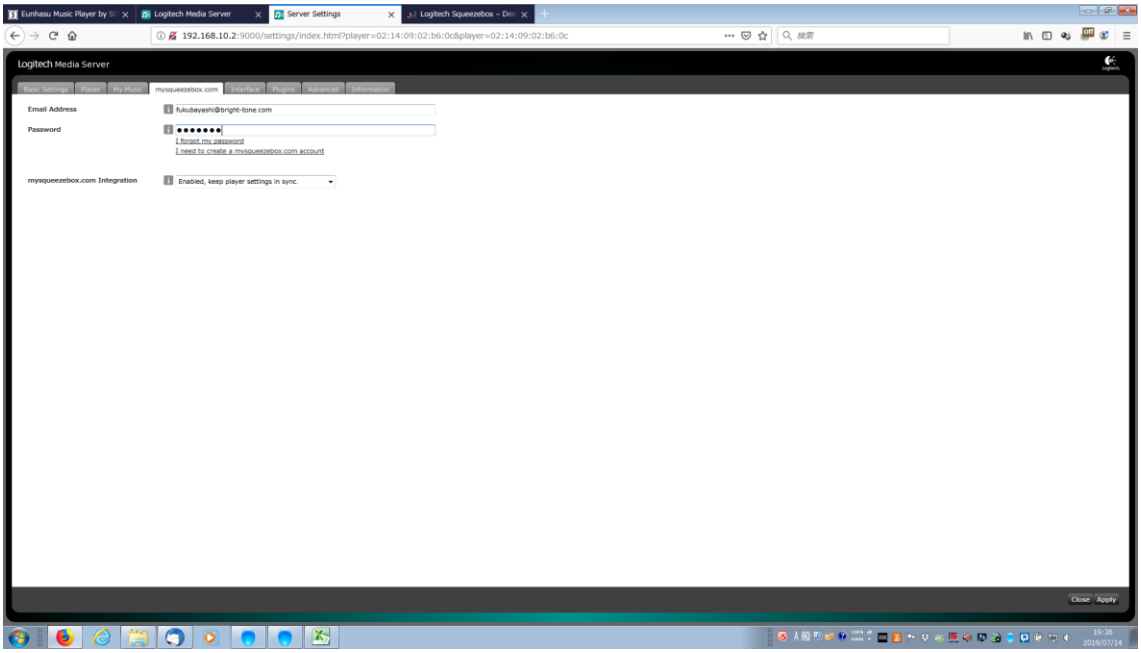
I need to create a mysqueezebox.com account をクリックします。



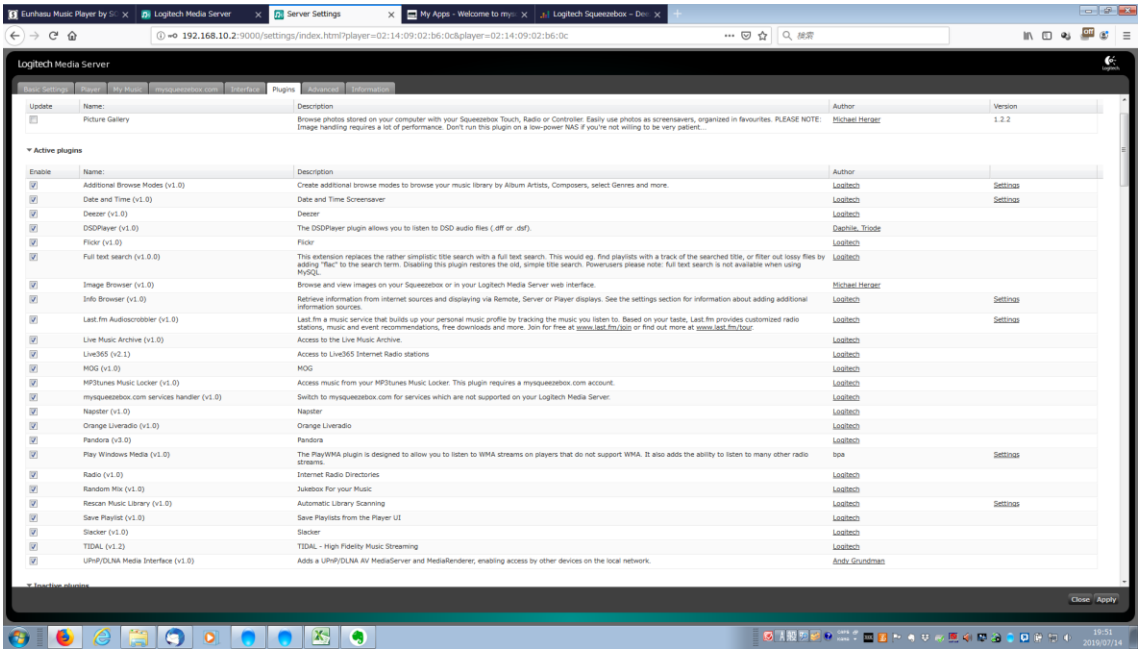
Create an account をクリックしてアカウントを取得します。



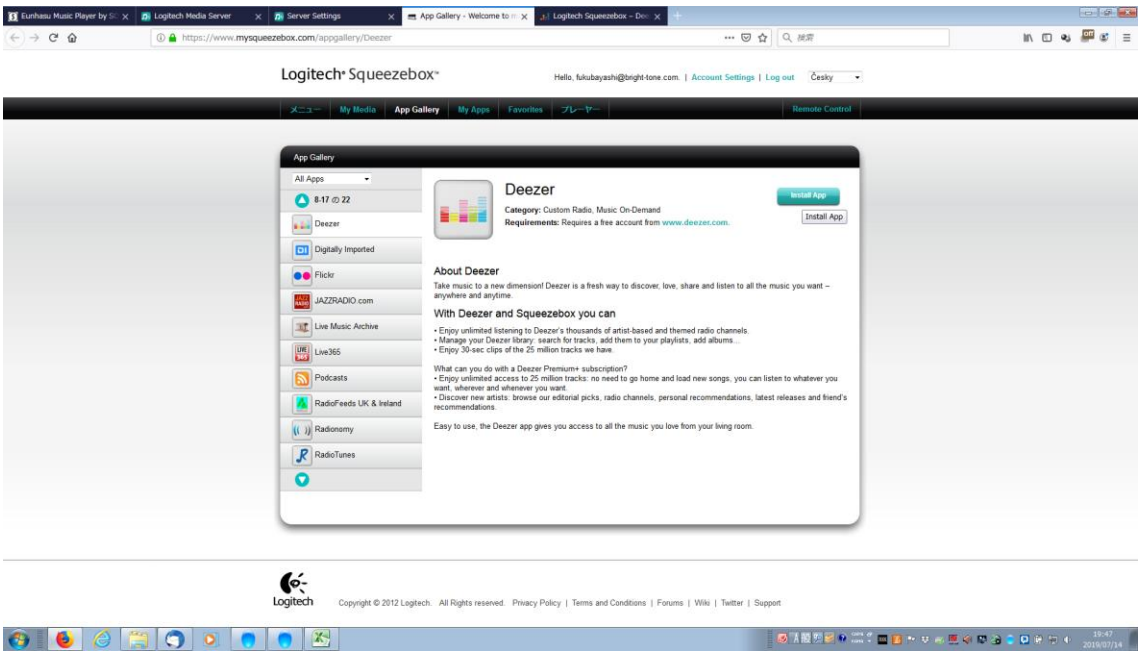
取得したアカウントの Email Address と Password を入力して Apply をクリックします。



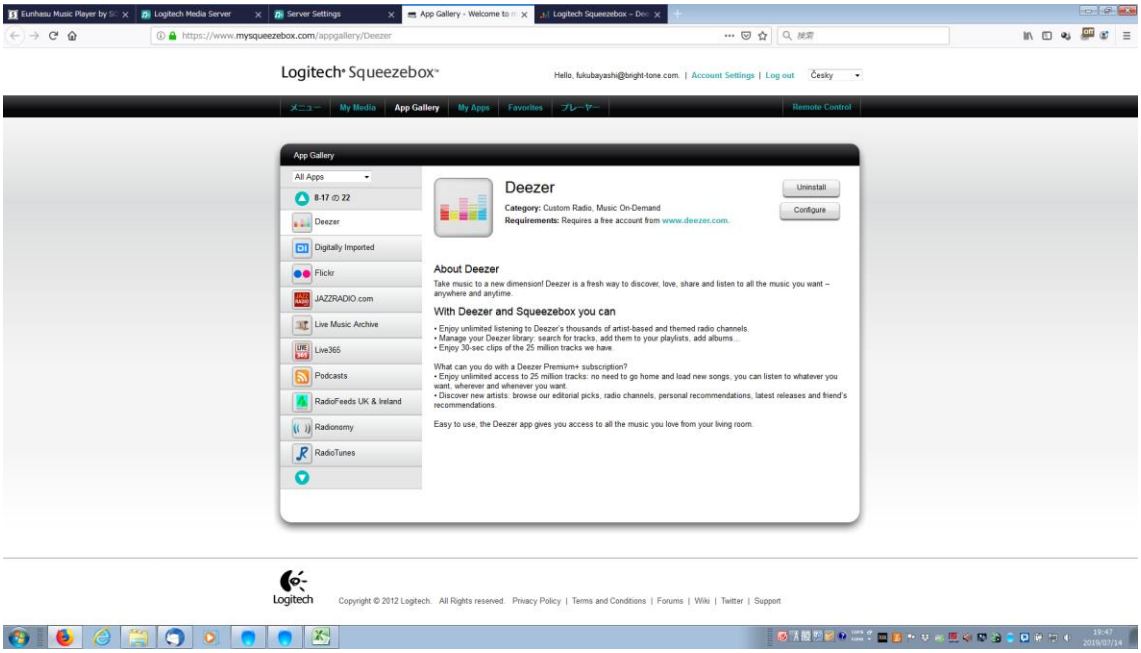
Plugins のタブをクリックして、Deezer(v1.0)の行の Author の Logitech をクリックします。



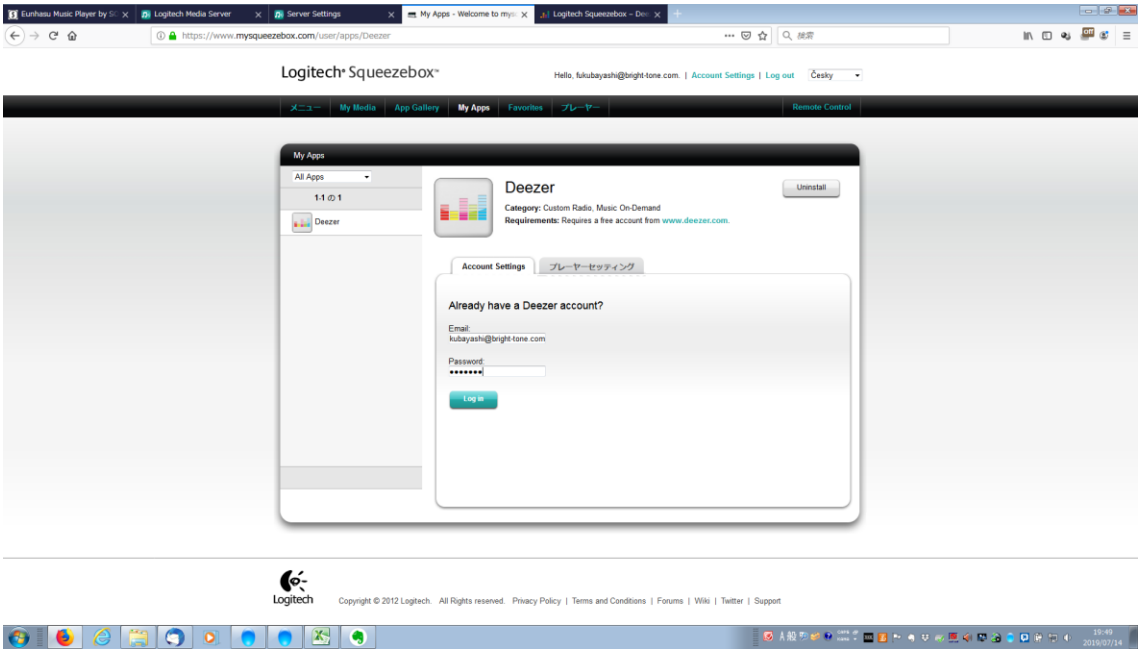
Install App をクリックします。



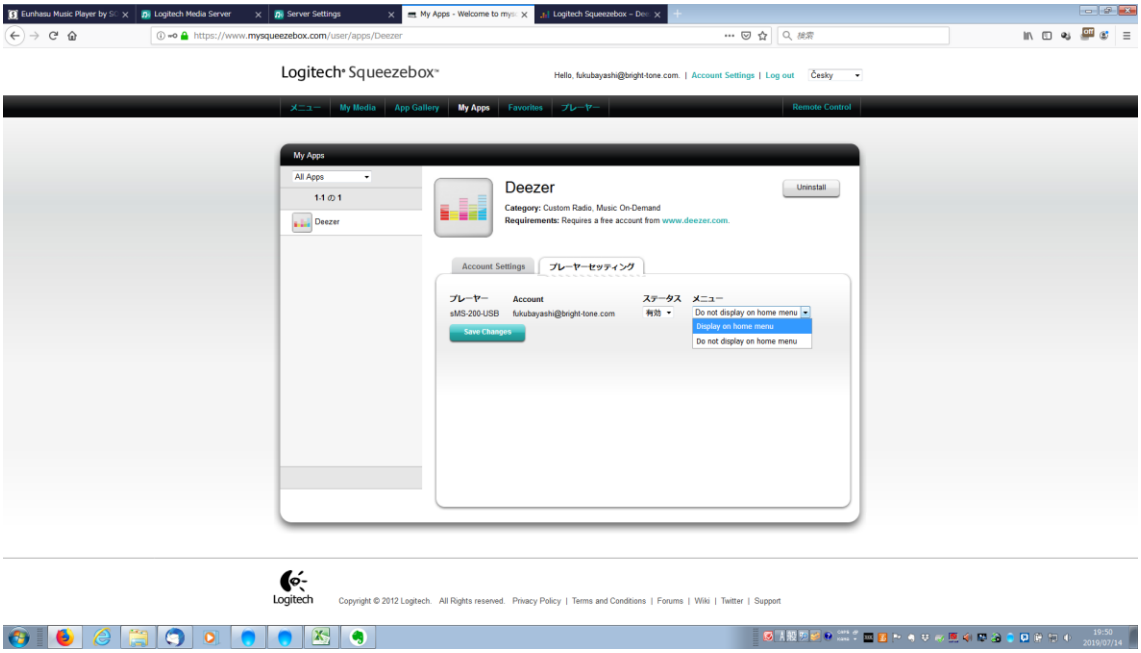
Configure をクリックします。



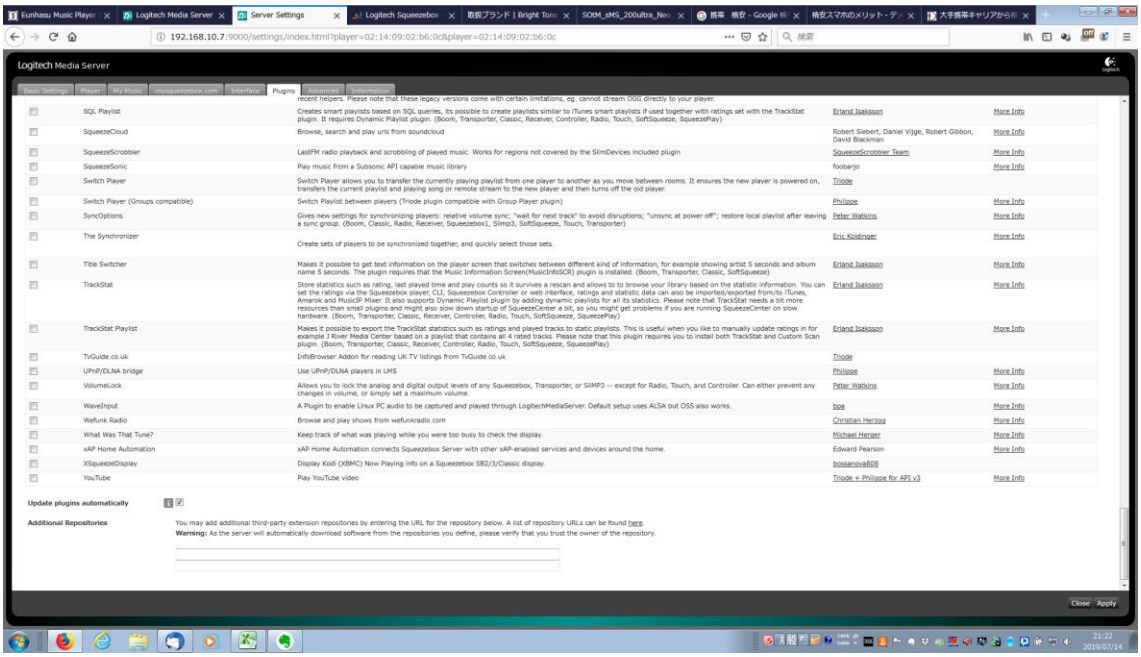
取得したアカウントの Email Address と Password を入力して Log in をクリックします。



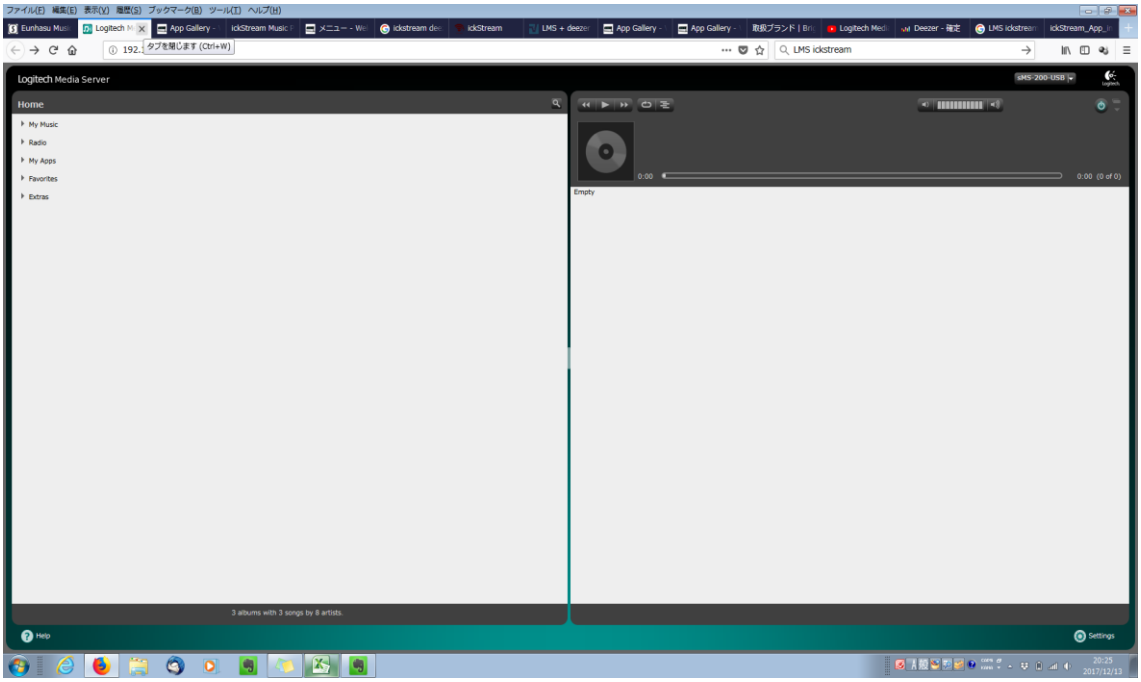
プレーヤーセッティングをクリックし、メニューで Display on home menu を選択します。



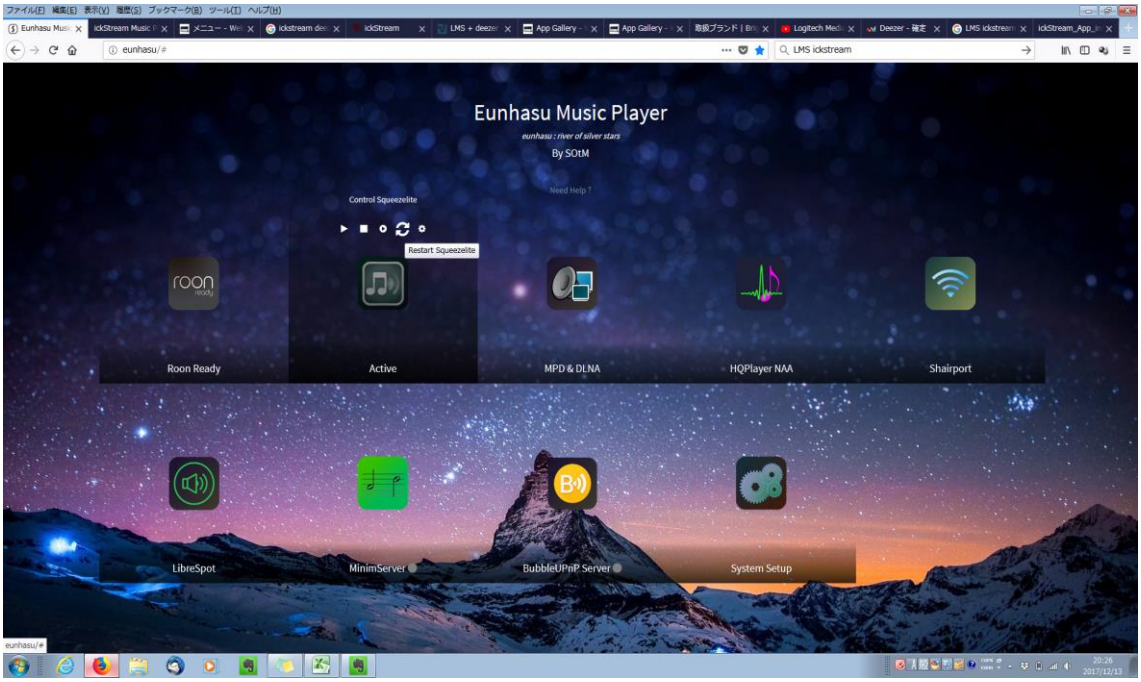
一番下までスクロールし、Update plugins automatically をチェックします。
Additional Repositories を空白にする入力ボックスを空白にします。
Apply をクリックします。



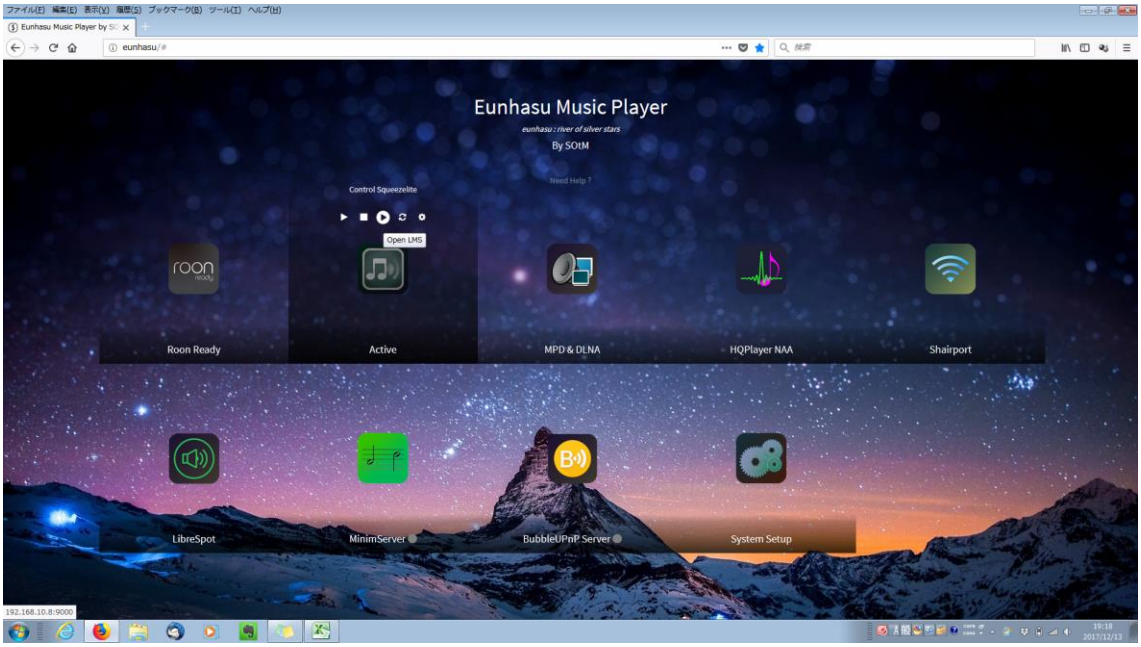
Logitech Media Server を閉じます。



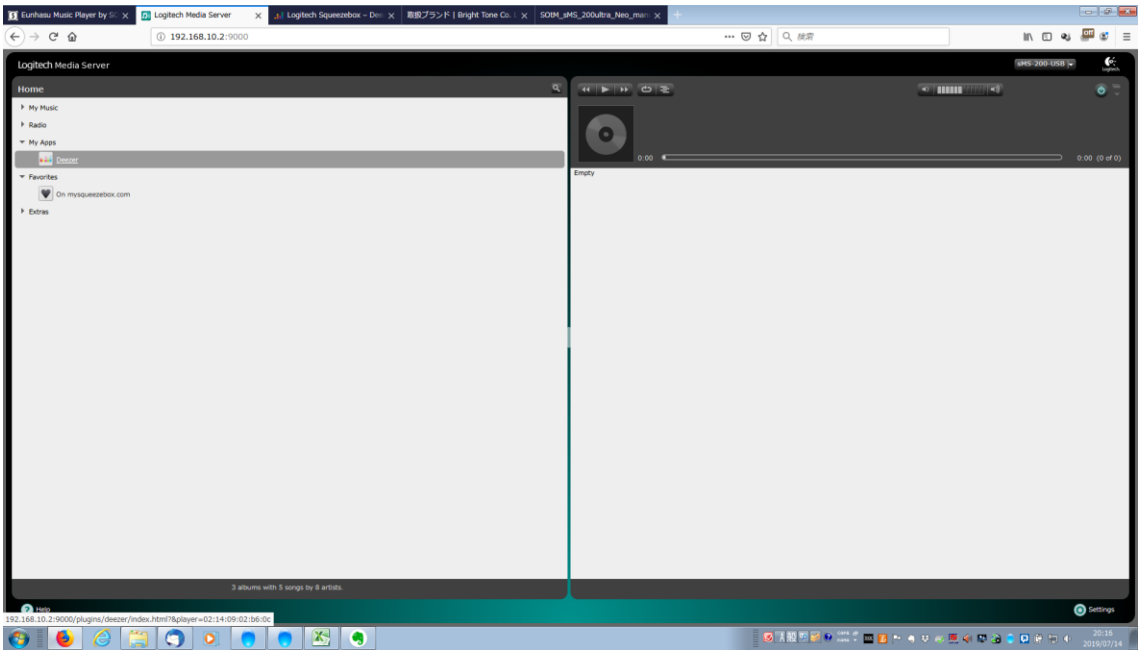
Restart Squeezelite をクリックして再起動させます。



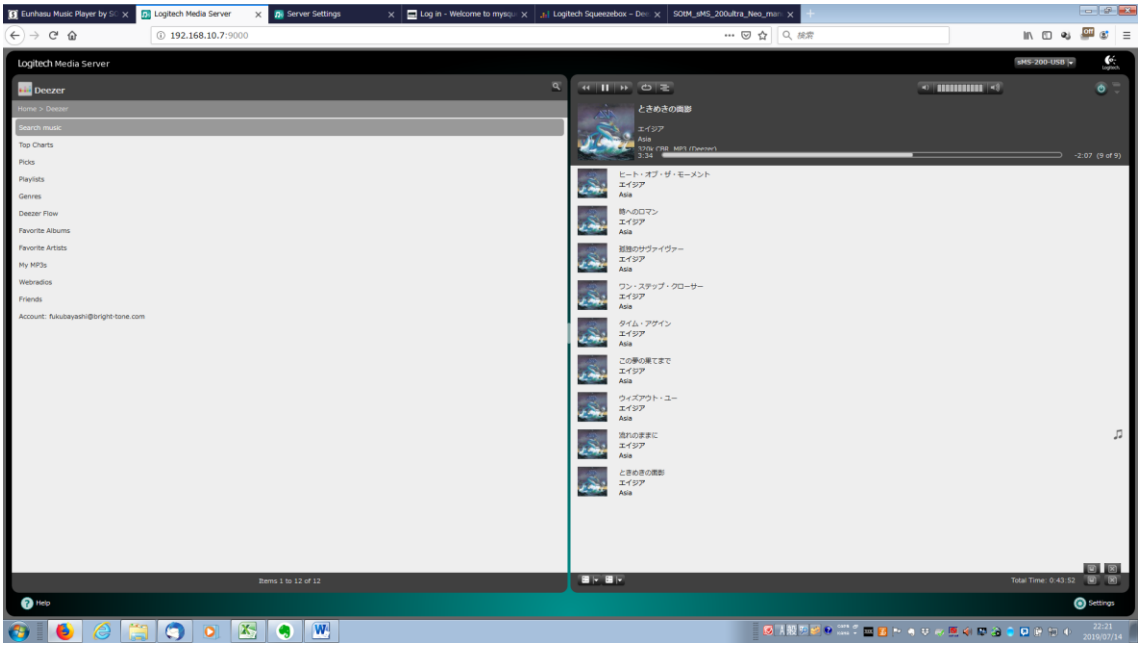
Open LMS のボタンをクリックして、Logitech Media Server を立ち上げます



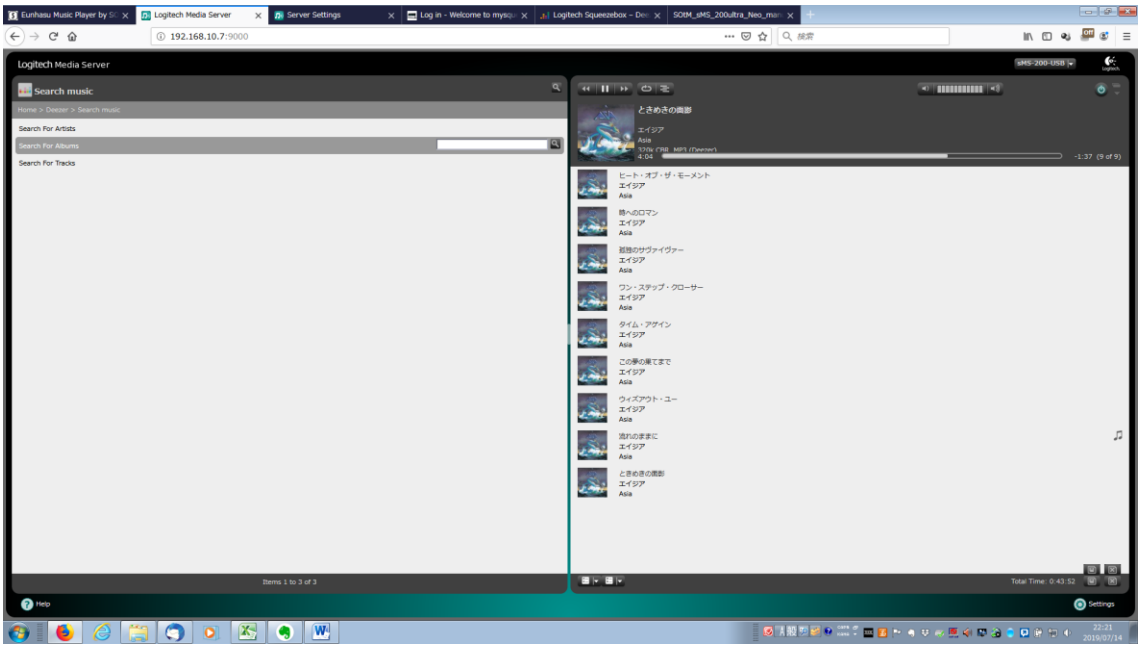
My Apps で Deezer を利用できるようになります。



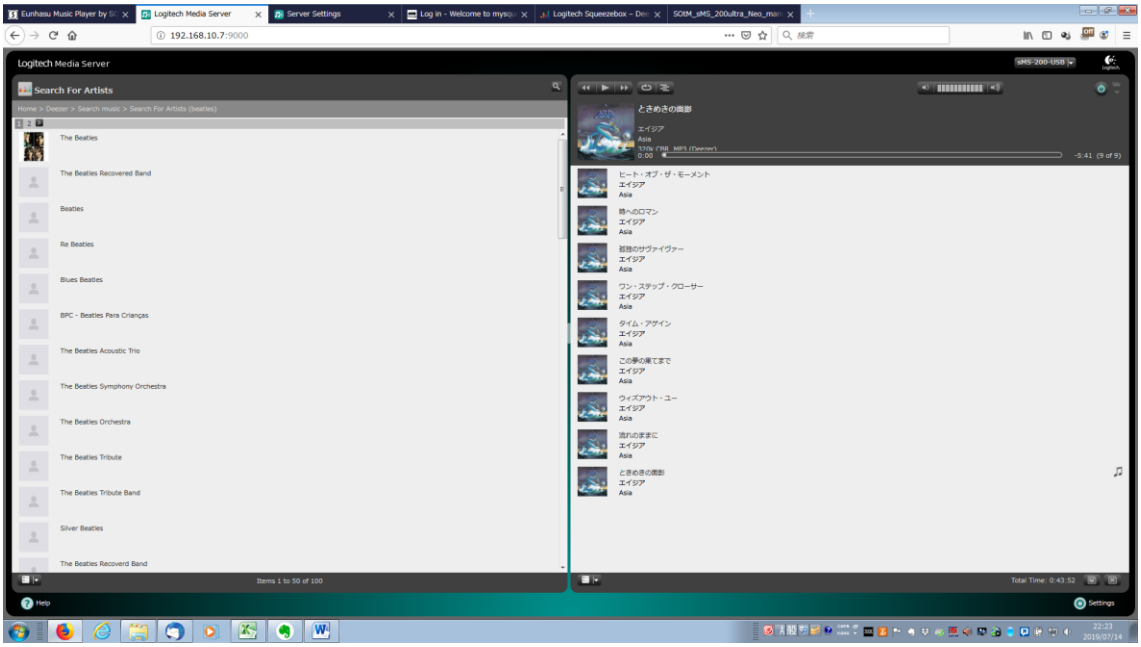
Search Music から全てのアーティストやアルバムを検索することができます。



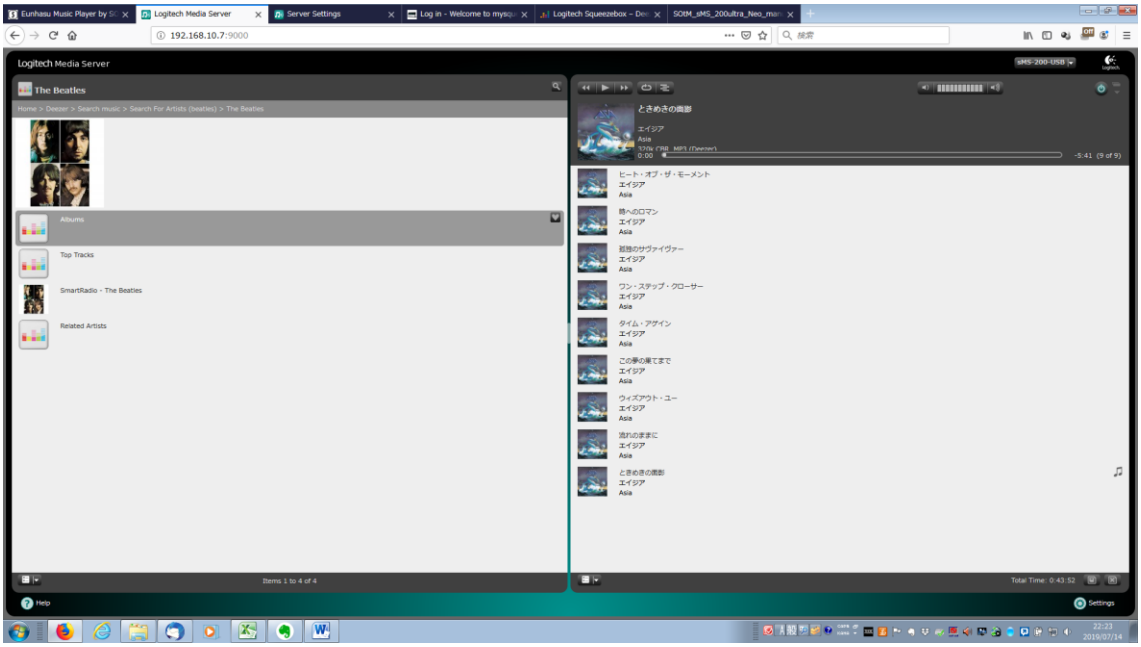
入力したワードがアーティスト(Artists)、アルバム(Albums)、歌(Tracks)のどれかを指定します。



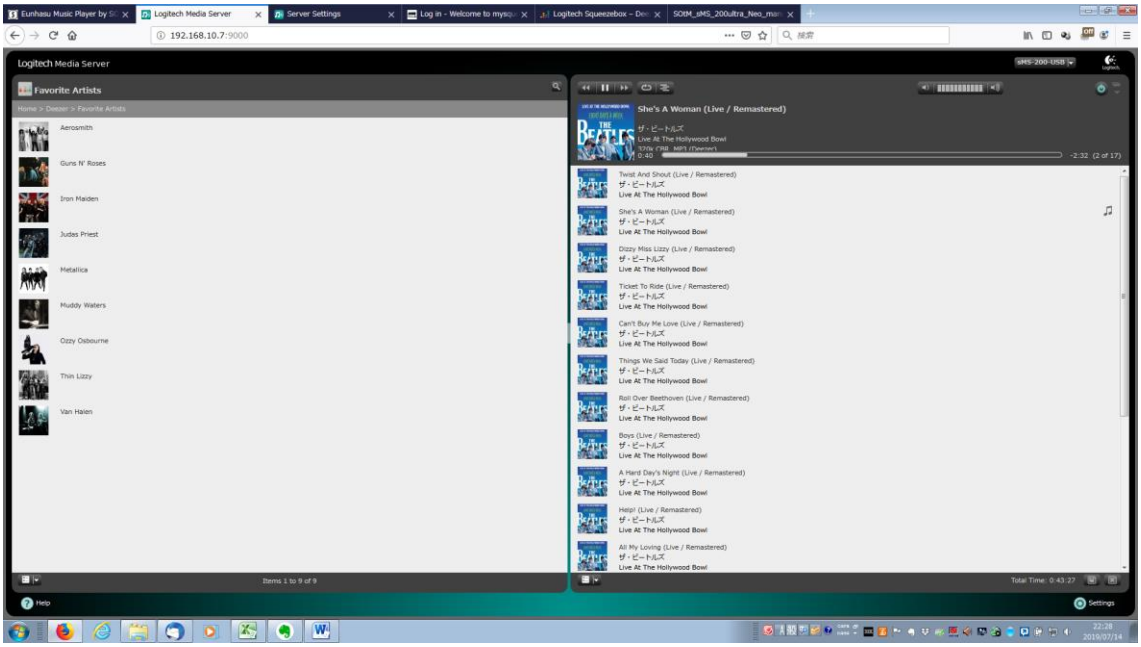
検索結果から目的のデータを選びます。



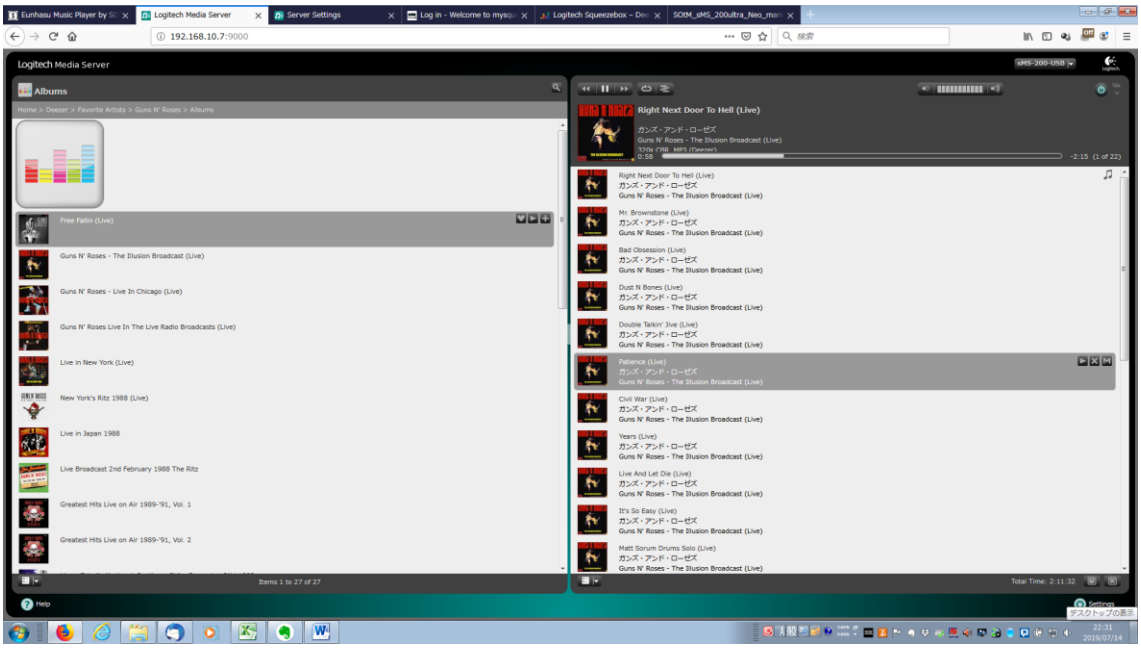
聴きたいデータを選択して再生します。



Search から選択しない場合、Favorite Artists や Favorite Albums は
事前に Deezer アプリでお気に入りに指定したものが表示されます。
（ここでは Favorite Artists を選択）



再生したいアルバムを選択して再生します。



MPD & DLNA　(MPD & DLNA の使い方)

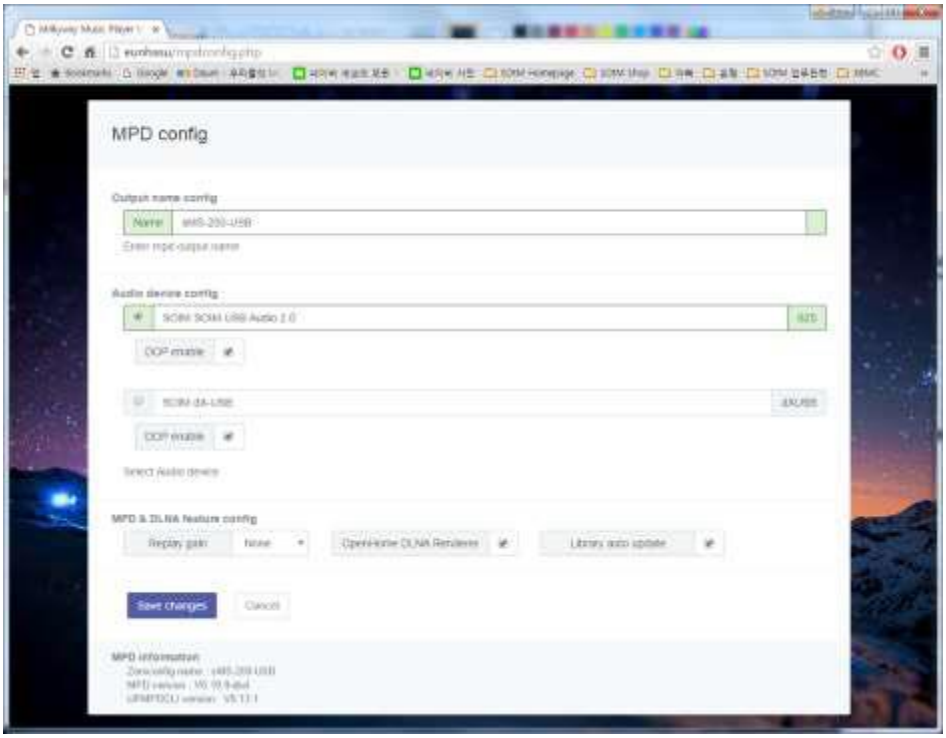
1. MPD & DLNA アイコンを選択
   マウスをかざすとアクションボタンが表示されます。
   スマートデバイスの場合、アイコンをタッチするとマウスと同じようにアクションボタンが表示されます。
   アクションボタンを使って、スタート、ストップ、リスタート、MPD & DLNA の設定ができます。

2. MPD と DLNA のスタート
   start ボタンをクリックすると MPD と DLNA がスタートします。
   Active のサインが MPD & DLNA アイコンの下に表示され、MPD と DLNA が起動します。

3. MPD & DLNA の停止
   stop ボタンをクリックすると MPD と DLNA が停止します。

4. MPD & DLNA のリスタート
   restart ボタンをクリックすると MPD と DLNA が停止した後、再起動します。

5. MPD & DLNA 設定
   config ボタンをクリックすると MPD & DLNA 設定画面が表示されます。



   Name: MPD コントロールアプリと DLNA コントロールアプリに表示される sMS-1000SQ Eunhasu の MPD と DLNA の名前です。

   Audio device config: sMS-1000SQ Eunhasu に接続している全ての USB DAC の情報が表示されます。
   選択されている USB DAC がライトグリーンボックスにラジオボタンが選択された形で表示され、選択されていない USB DAC はライトブルーボックスにラジオボタンが選択されていない形で表示されます。

使いたい USB DAC のラジオボタンを選択し Save changes をクリックすると USB DAC が使えるようになります。
DOP enable: DOP で DSD ファイルを再生する場合チェックします。

Replay gain: なし、アルバム、トラックからリプレイ単位を選択します

OpenHome DLNA Renderer: OpenHome DLNA レンダラー機能を使用するために確認します。

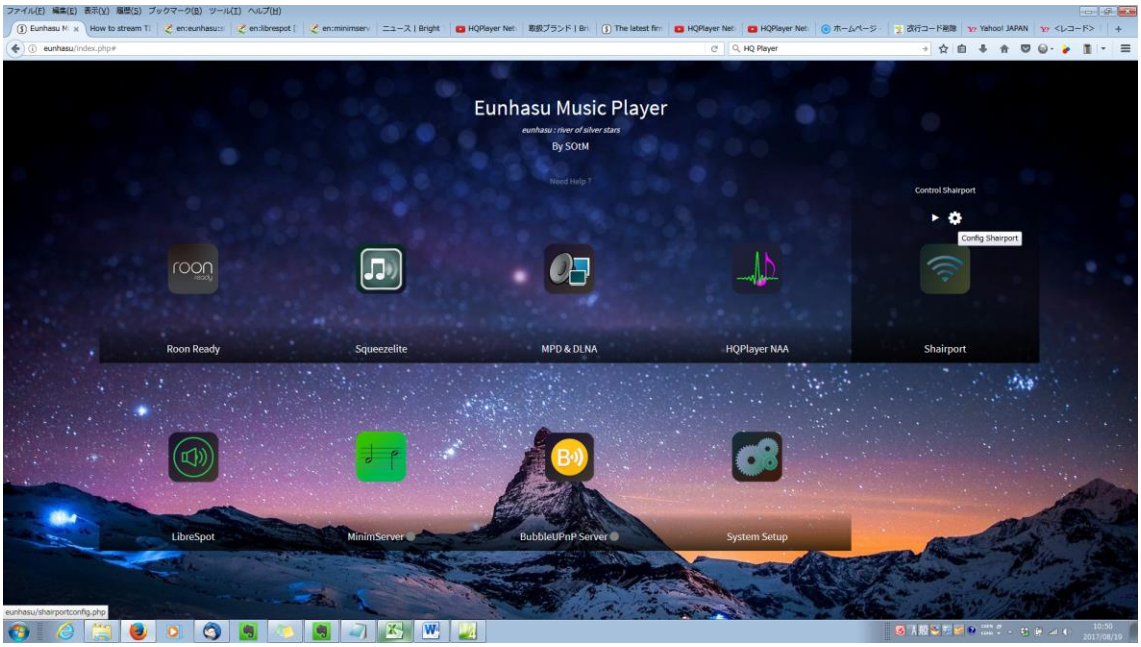
Library auto update: 自動スキャンしてライブラリをアップデートするか確認します。

Save changes：入力または修正した情報を保存すると、MPD と DLNA が実行されていた場合、MPD と DLNA が自動的に再起動してスタートします。

Cancel: ホーム画面に戻ります。

Shairport　(AirPlay の使い方)

1. Shairport アイコンを選択
   マウスをかざすとアクションボタンが表示されます。
   スマートデバイスの場合、アイコンをタッチするとマウスと同じようにアクションボタンが表示されます。
   アクションボタンを使って、スタート、ストップ、リスタート、Shairport の設定ができます。

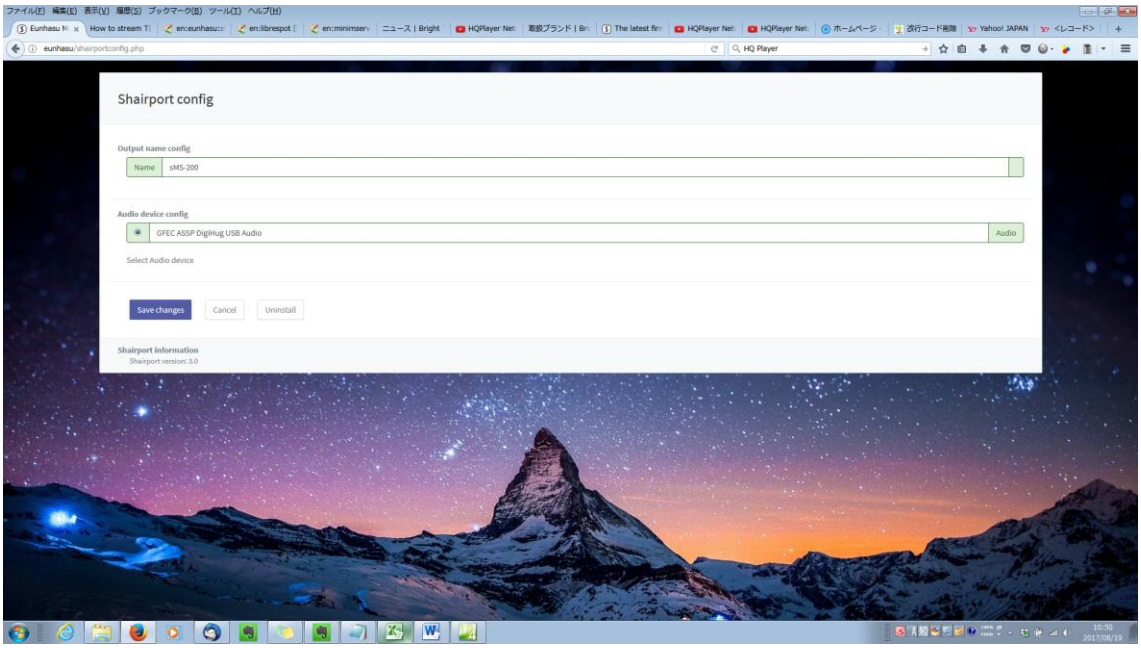


6. Shairport のスタート
   start ボタンをクリックすると Shairport がスタートします。
   Active のサインが Shairport アイコンの下に表示され、iPhone や iPad の AirPlay の出力先として sMS-1000SQ Eunhasu を選択できるようになります。

7. Shairport の停止
   stop ボタンをクリックすると Shairport が停止します。

8. Shairport のリスタート
   restart ボタンをクリックすると Shairport が停止した後、再起動します。

9. Shairport 設定
   config ボタンをクリックすると Shairport 設定画面が表示されます。



Name: AirPlay アプリに表示される sMS-1000SQ Eunhasu の名前です。

Audio device config: sMS-1000SQ Eunhasu に接続している全ての USB DAC の情報が表示されます。
選択されている USB DAC がライトグリーンボックスにラジオボタンが選択された形で表示され、選択されていない USB DAC はライトブルーボックスにラジオボタンが選択されていない形で表示されます。
使いたい USB DAC のラジオボタンを選択し Save changes をクリックすると USB DAC が使えるようになります。

Save changes：入力または修正した情報を保存すると、Shairport が実行されていた場合、Shairport が自動的に再起動してスタートします。

Cancel: ホーム画面に戻ります。

MinimServer　(MinimServer(NAS)の使い方)

MinimServer は UPnP オーディオサーバーの最高峰の一つです。
MinimServer はユーザーの音源を効率よく収集し、Bubble UPNP のような DLNA コントロールポイントと連携します。
MinimServer により音源の検索や再生のしやすさが向上します。

1. NAS に使用する音源データを準備
   MinimServer を設定する前に NAS のデータを用意します。
   音源データを保存した USB USB メモリまたは USB ハードディスクを
   USB ポートに接続してください。

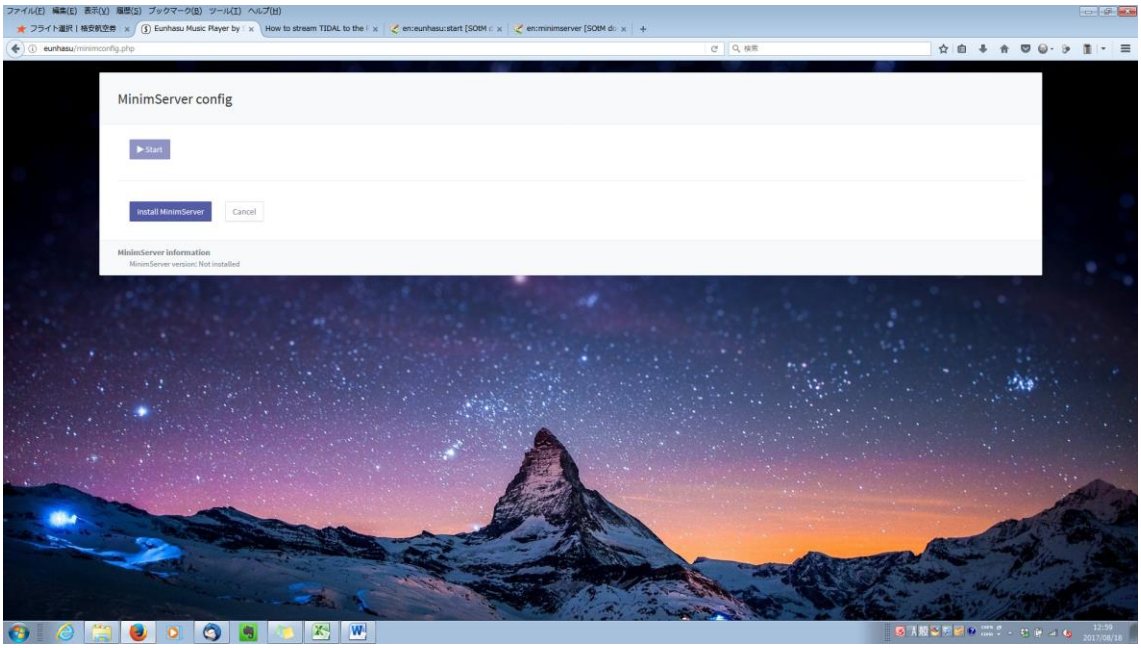
2. MinimServer をインストール

MinimServer の文字の右〇が灰色になって、MinimServer が起動していないことを確認します。

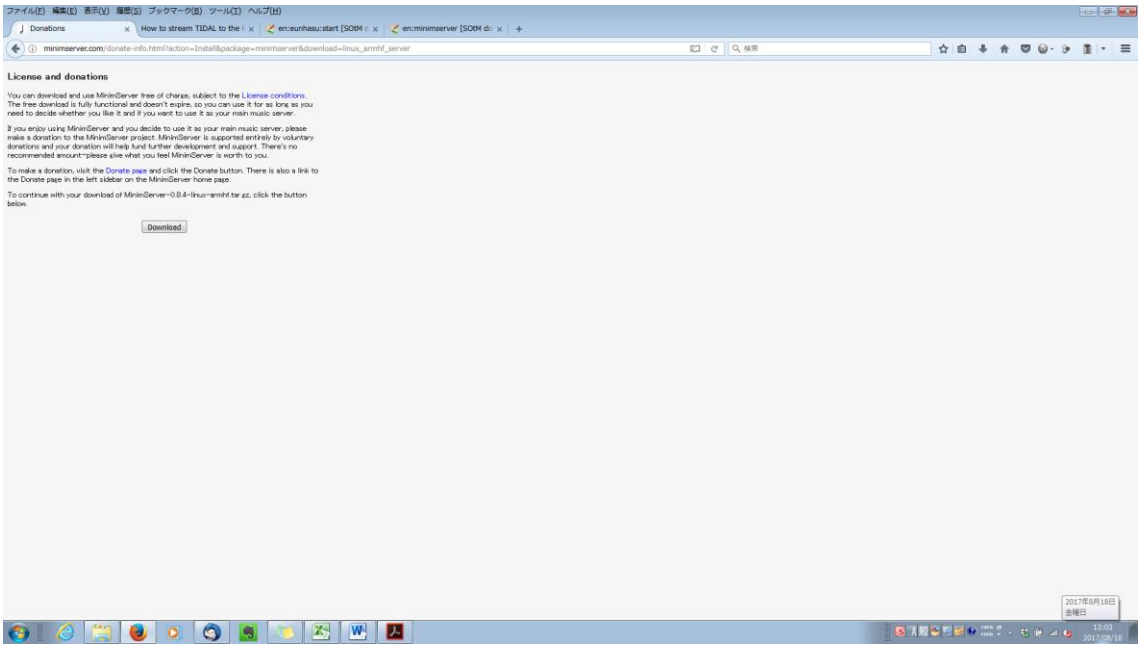
MinimServer の歯車アイコンをクリックします。

MinimServer config 画面が表示されます。

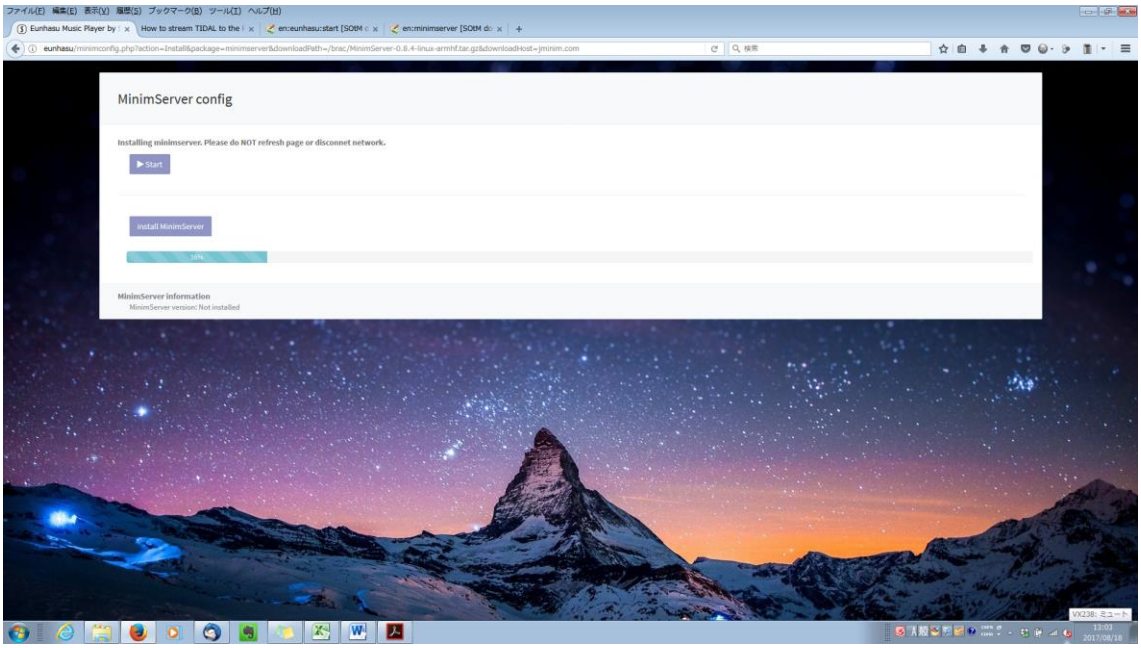
install MinimServer ボタンをクリックします。



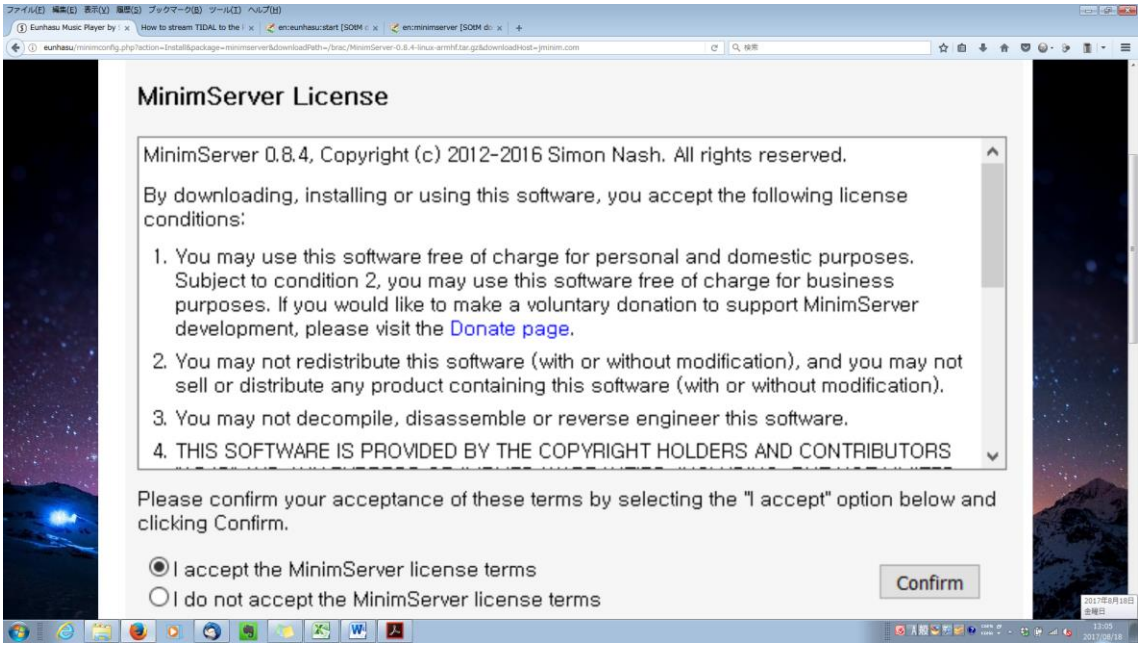
Licence and donations の画面が表示されます。
Download ボタンをクリックします。

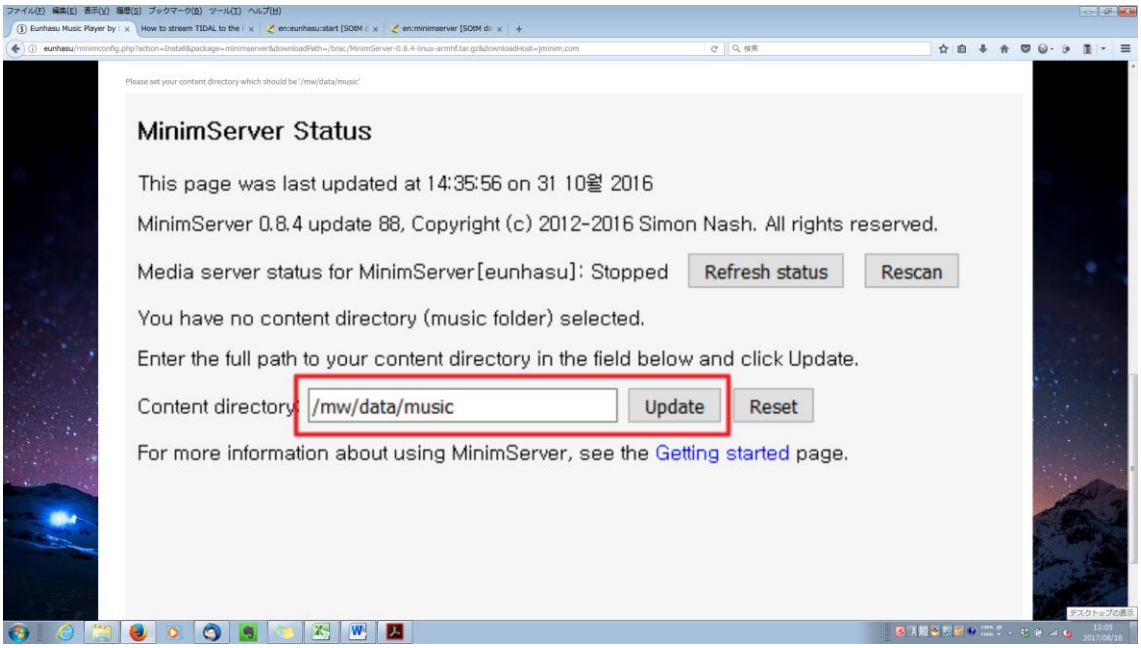


インストールが開始します。100%になるまでそのままで待ちます。



100%に達すると MinimServer Licence の選択方法と MinimServer Status の記入方法が表示されます。
確認したら Home ボタンをクリックします。

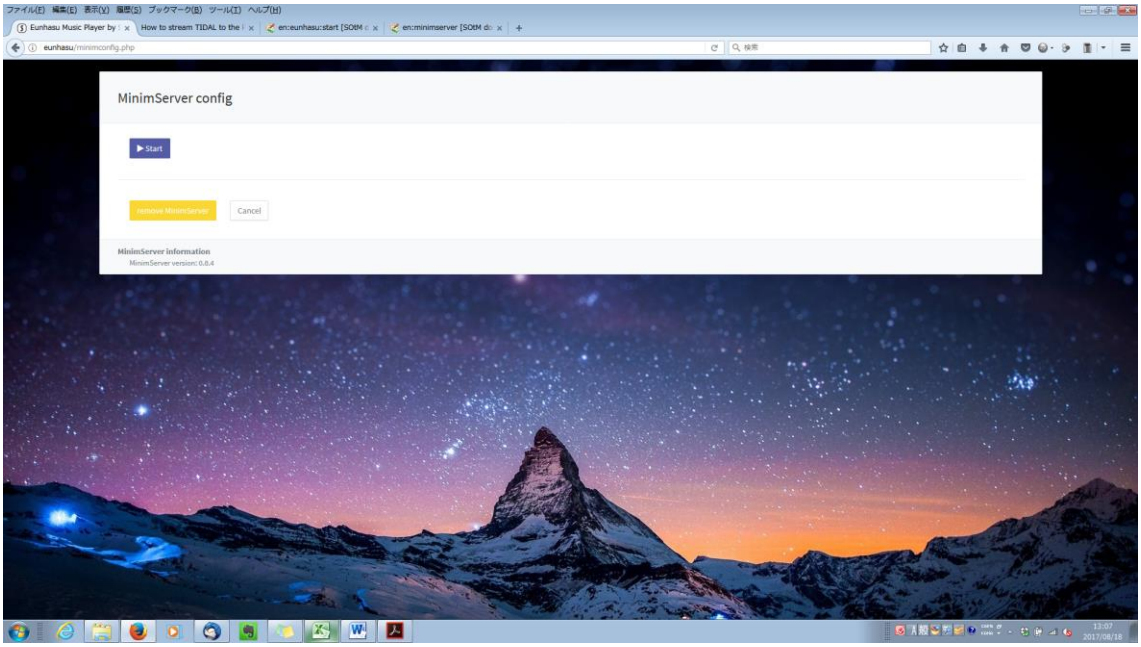




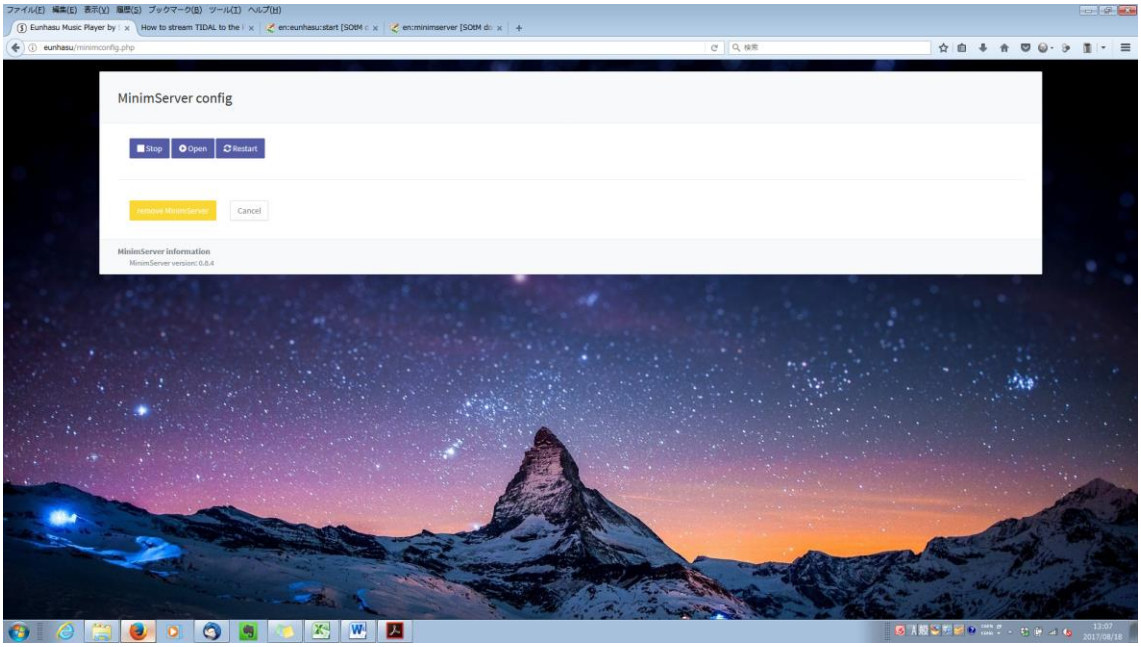
MinimServer の文字の右〇が灰色になって、MinimServer が起動していないことを確認します。

MinimServer の歯車アイコンをクリックします。

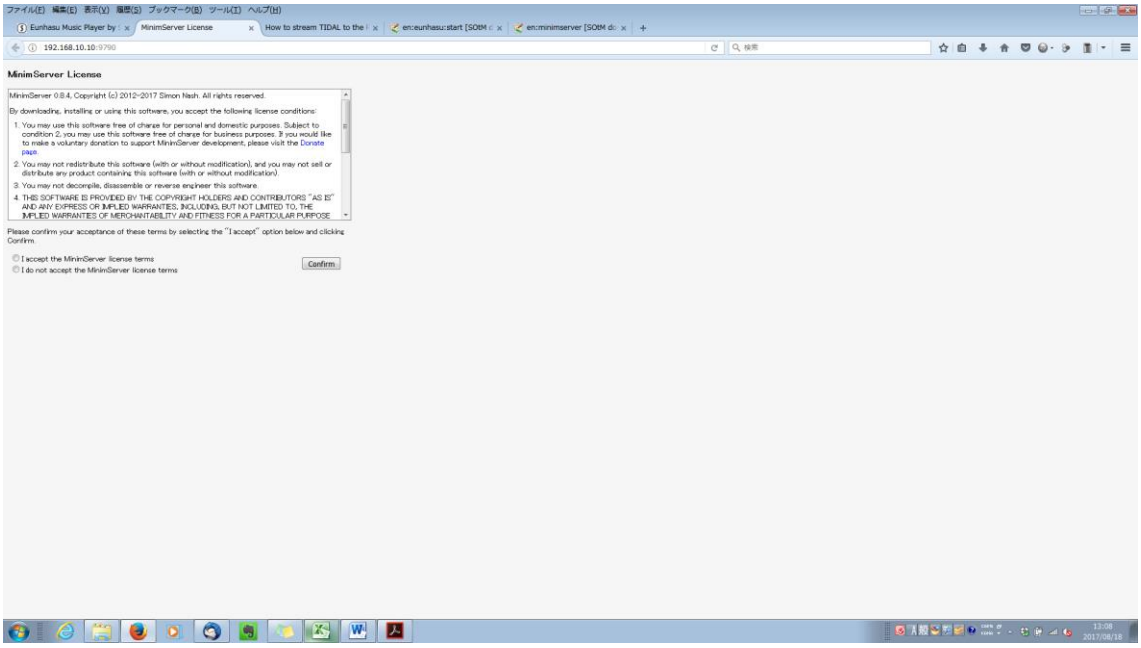
Start ボタンをクリックします。

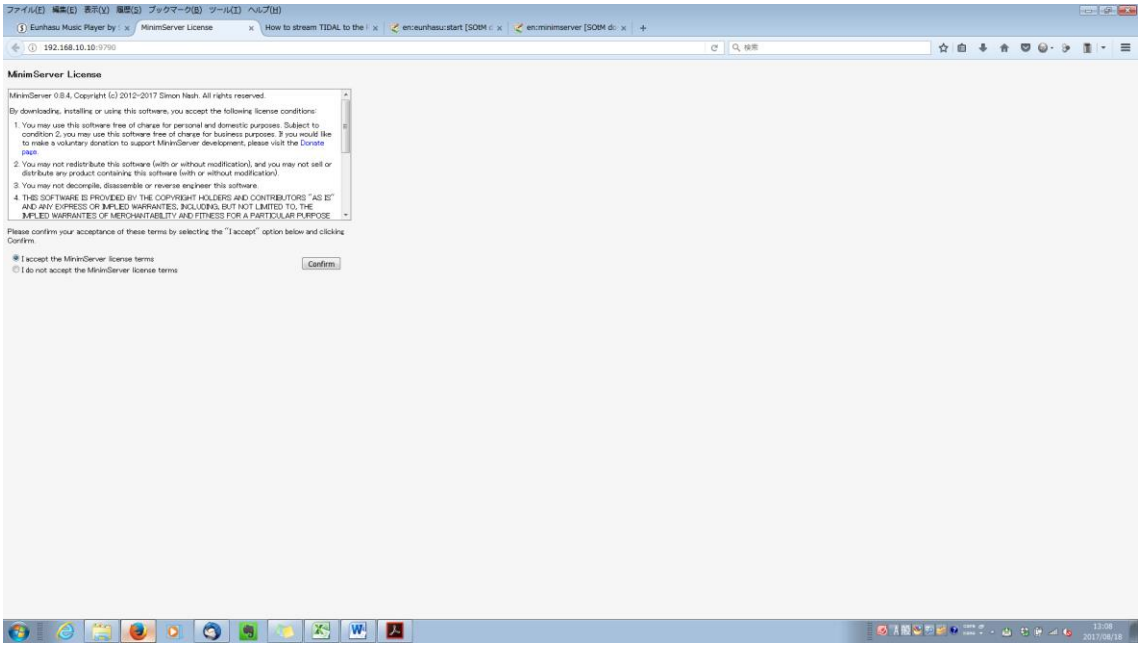


Open ボタンをクリックします。

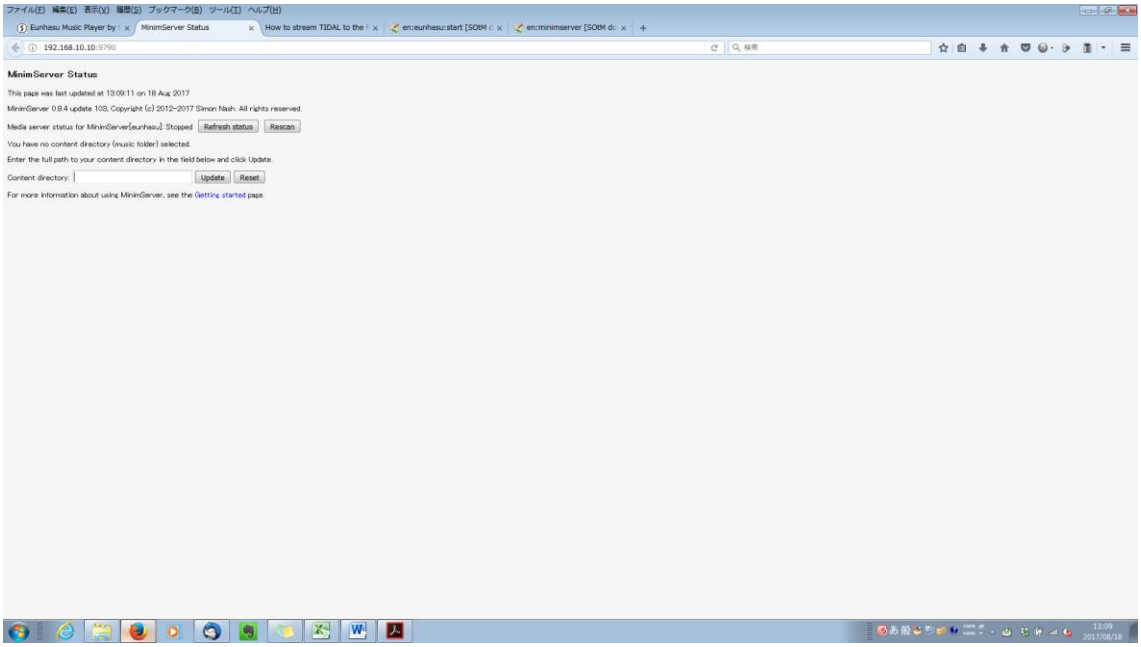


MinimServer License 画面が新しい画面で表示されます。
I accept the MinimServer licence terms を選択して、Confirm ボタンを
クリックします。

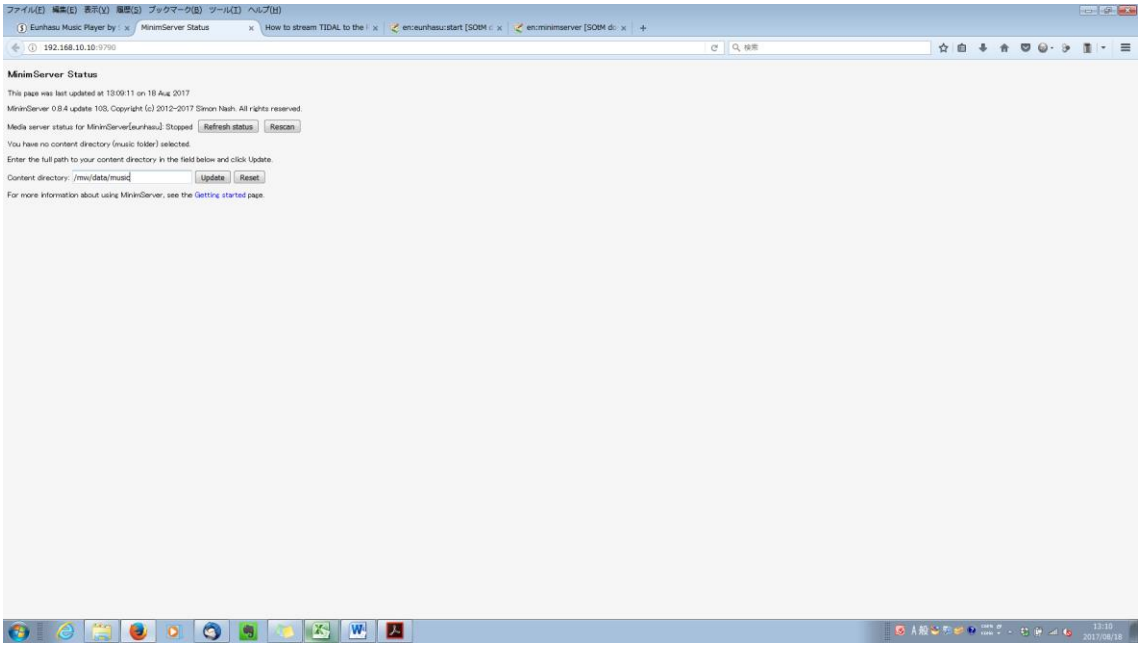




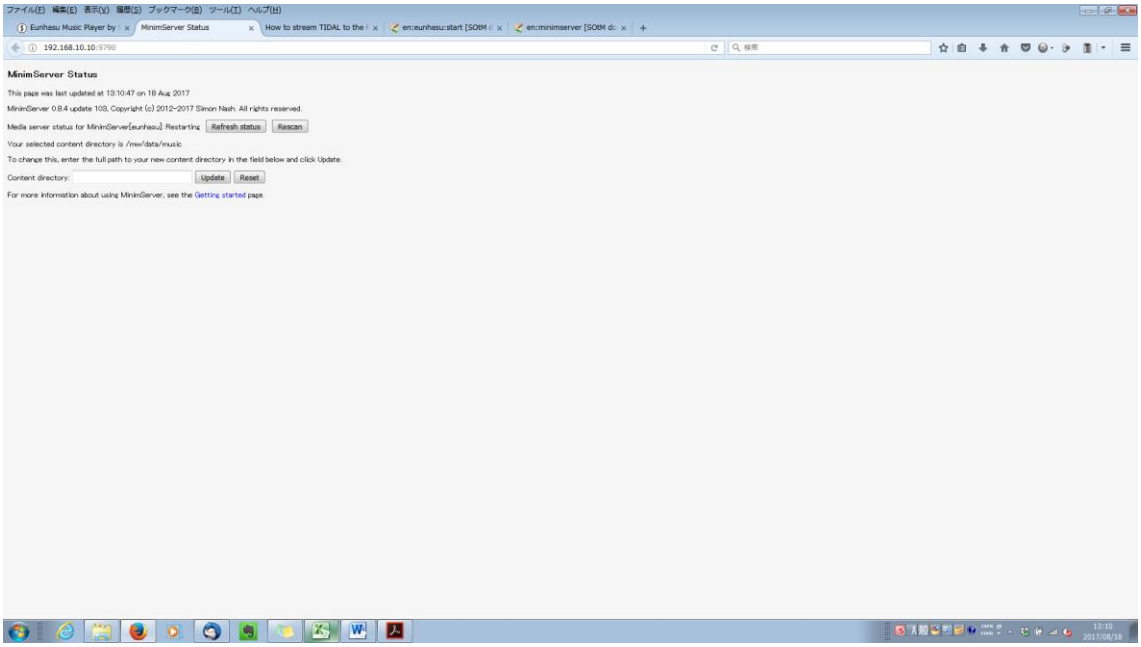
MinimServer Status 画面が表示されます。
3 行目の MinimServer status for MinimServer[eungasu]:の右側が Stopped に
なっているのを確認します。



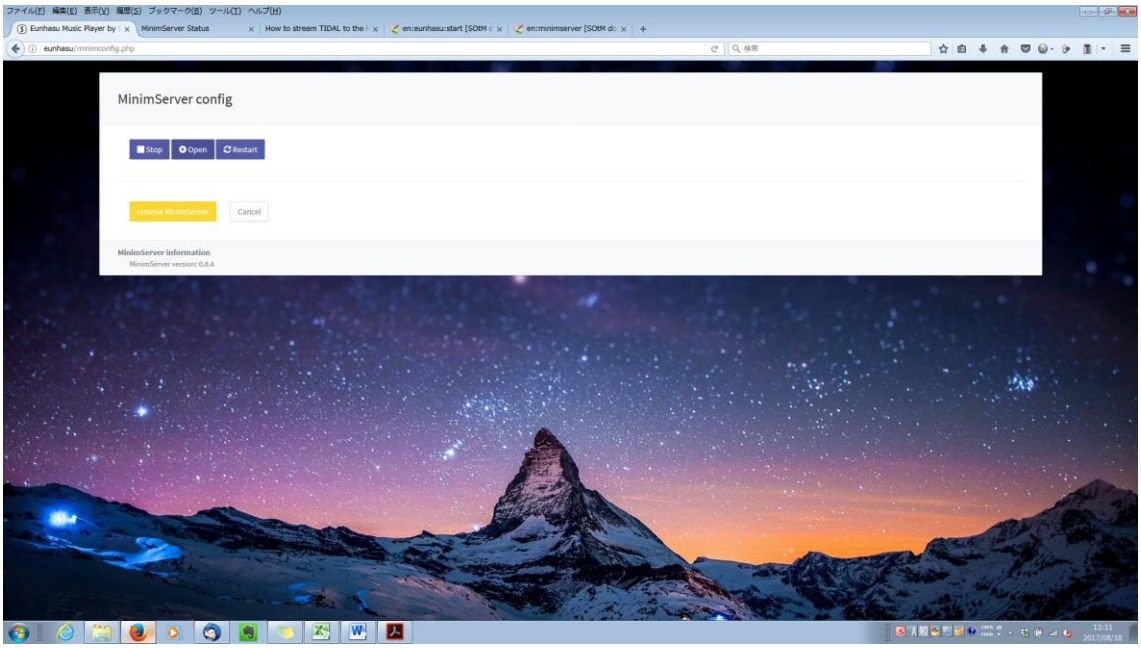
Content directory:に/mw/data/music と入力し、Update ボタンをクリックします。



3 行目の MinimServer status for MinimServer[eungasu]:の右側が
Restarting になっているのを確認します。
4 行目の Your selected content directory is /mw/data/music に
なっているのを確認します。



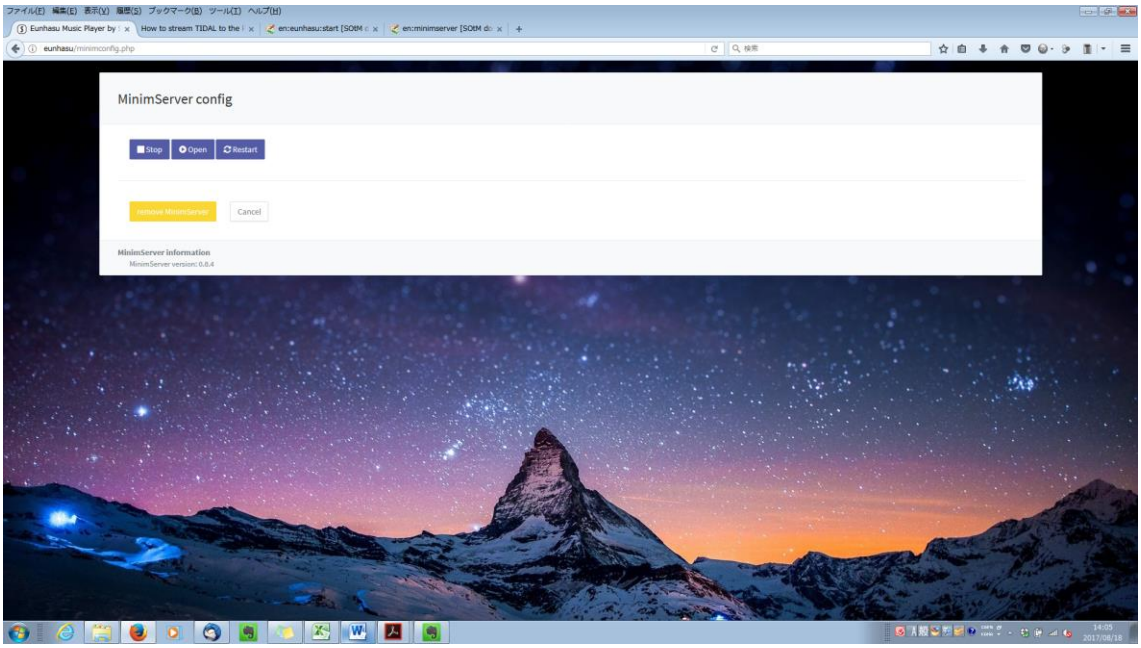
Eunhasu Music Player の画面に戻ります。
Cancel をクリックします。



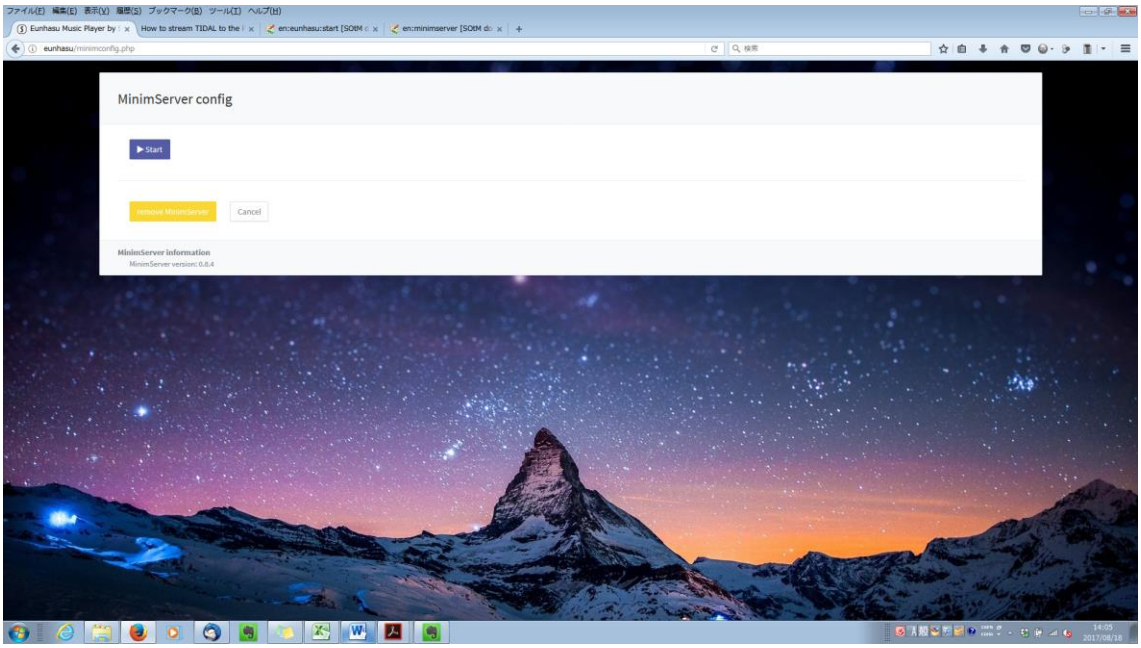
MinimServer が起動したので、MinimServer の文字の右〇が緑色に
なっているのを確認します。

3. MinimServer の停止
MinimServer の文字の右〇が緑色になっているのを確認します。
歯車アイコンをクリックします。

MinimServer config 画面が表示されます。
Stop ボタンをクリックします。



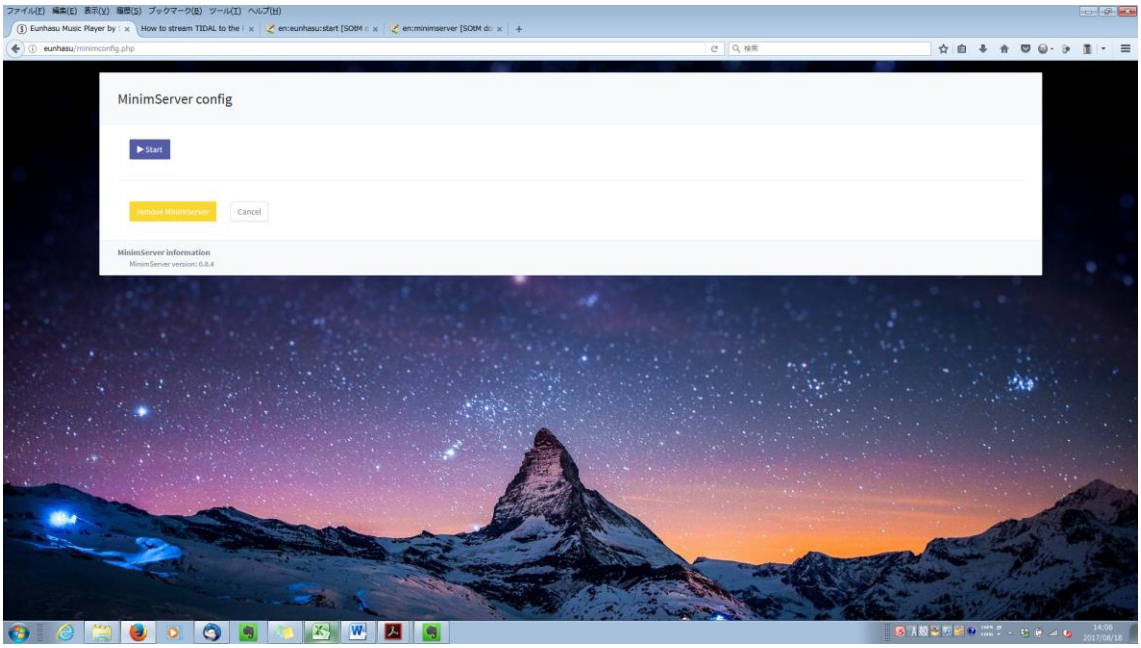
Cancel ボタンをクリックします。



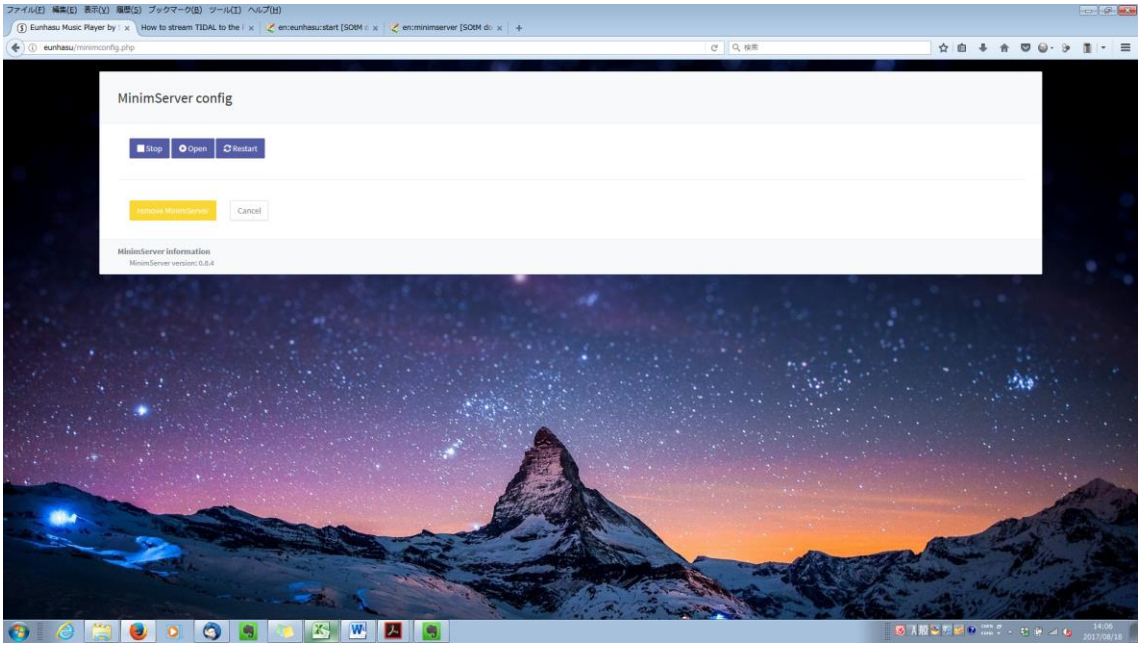
Eunhasu Music Player 画面に自動的に戻ります。
MinimServer の文字の右〇が灰色になって停止しているのを確認します。

4. MinimServer のスタート
MinimServer の文字の右〇が灰色になって、MinimServer が起動していないことを確認します。
MinimServer の歯車アイコンをクリックします。

MinimServer config 画面が表示されます。
Start ボタンをクリックします。



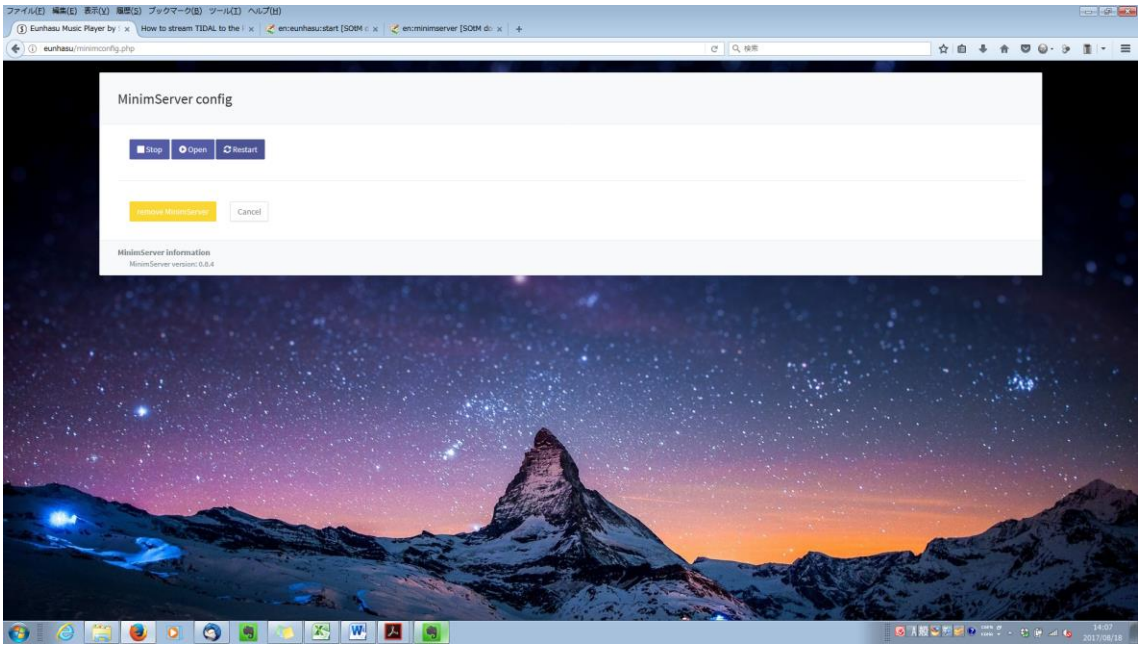
MinimServer がスタートしました。
Cancel ボタンをクリックします。



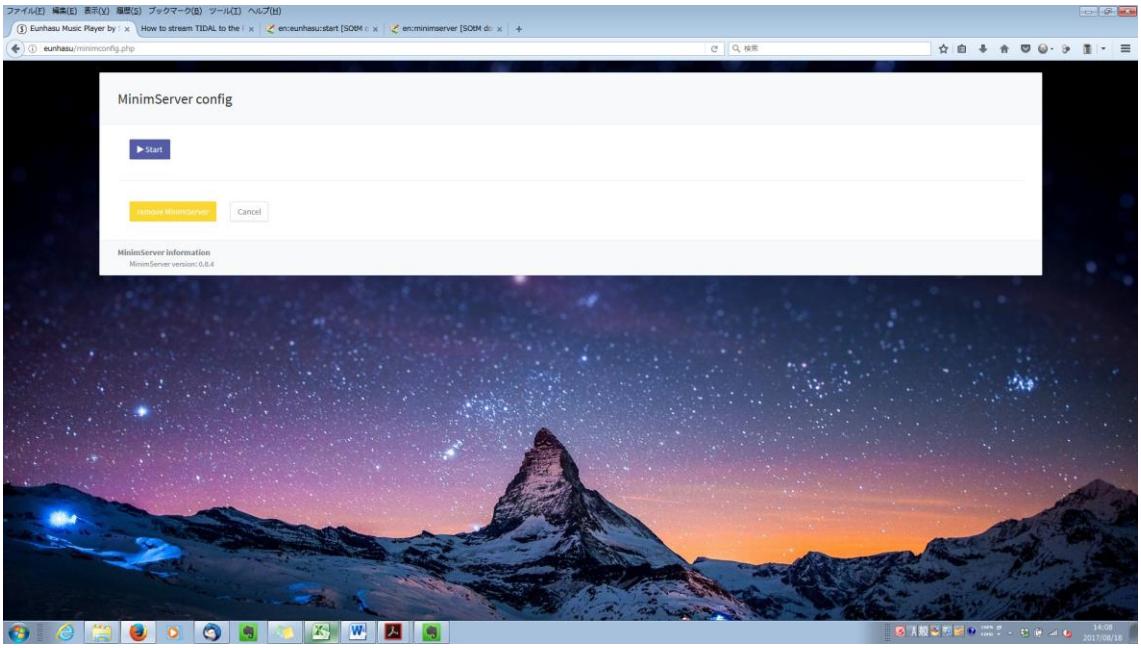
MinimServer が起動したので、MinimServer の文字の右〇が緑色に
なっているのを確認します。

5. MinimServer のリスタート
MinimServer の文字の右〇が緑色になっているのを確認します。
歯車アイコンをクリックします。

MinimServer config 画面が表示されます。
Restart ボタンをクリックします。



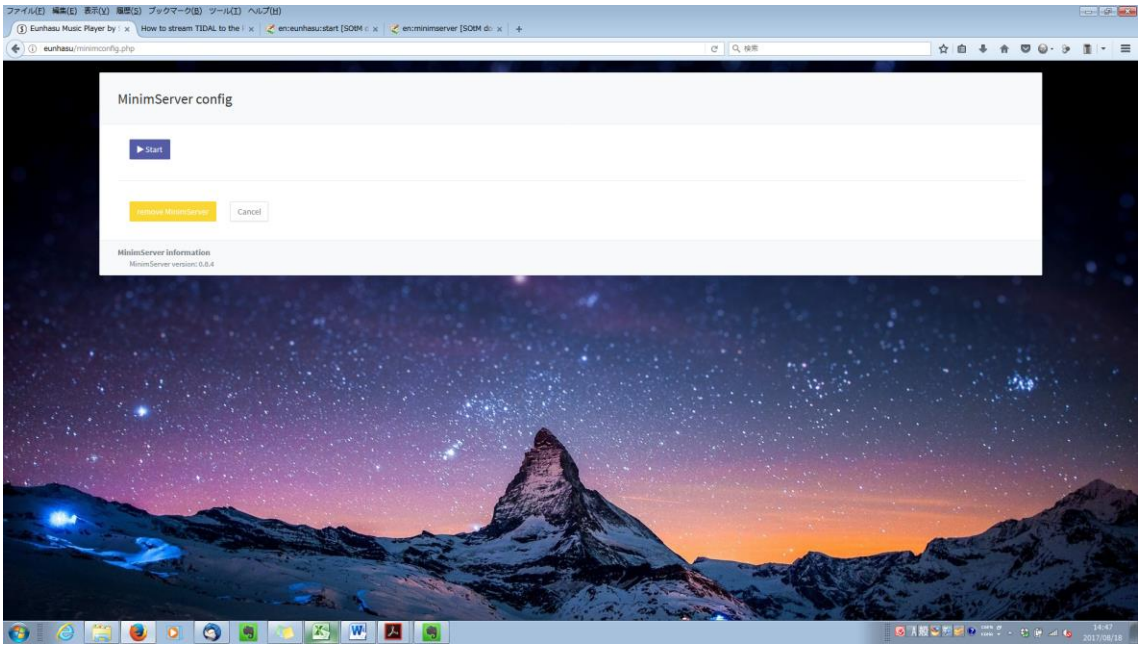
Cancel ボタンをクリックします。



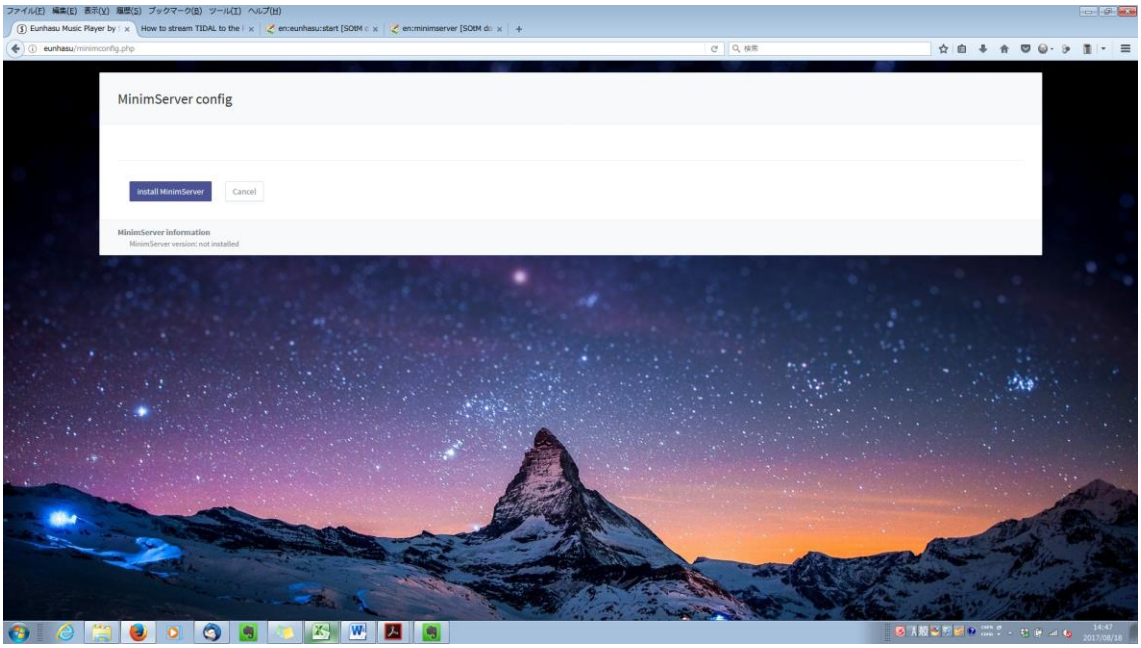
MinimServer が再起動したので、MinimServer の文字の右〇が緑色に
なっているのを確認します。

6. MinimServer のアンインストール
MinimServer の文字の右〇が灰色になって、MinimServer が起動していないこと
を確認します。
MinimServer の歯車アイコンをクリックします。

MinimServer config 画面が表示されます。
remove MinimServer ボタンをクリックします。



Cancel ボタンをクリックします。



アンストールしてもアイコンは表示されます。

LibreSpot　(Spotify connect の使い方)

LibreSpot は Spotify connect 用のオープンソースで、Spotify より提供されています。

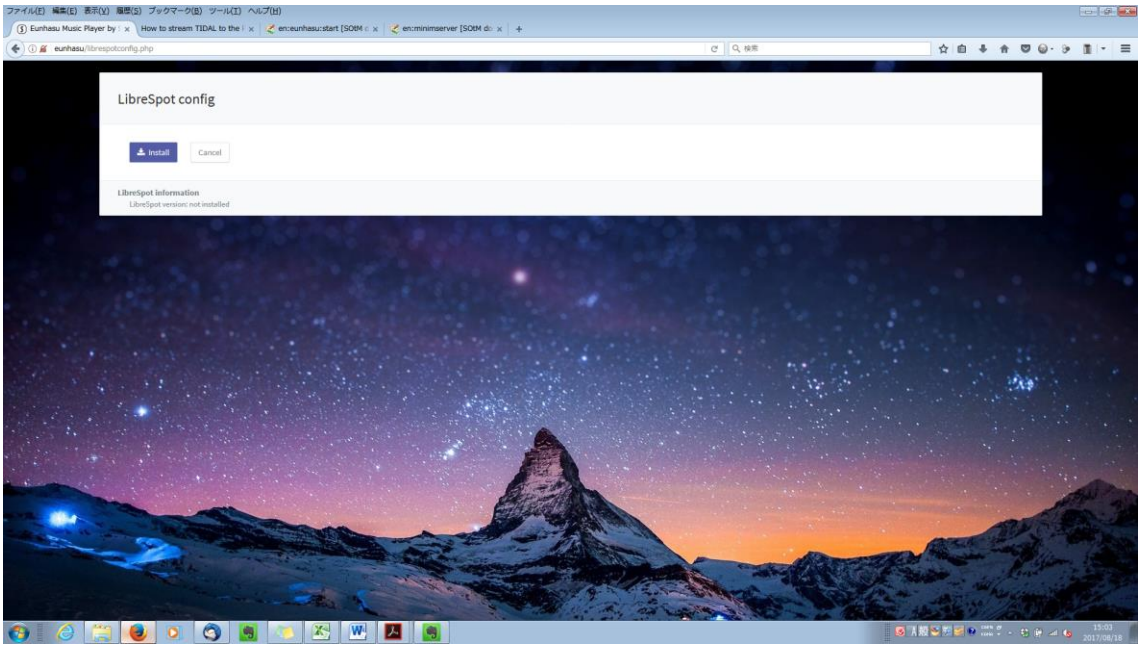
注意：LibreSpot を使うには Spotify プレミアムユーザーアカウントが必要です。

オープンソースをベースとしたサービスであるためか、LibreSpot は動作が安定しておりません

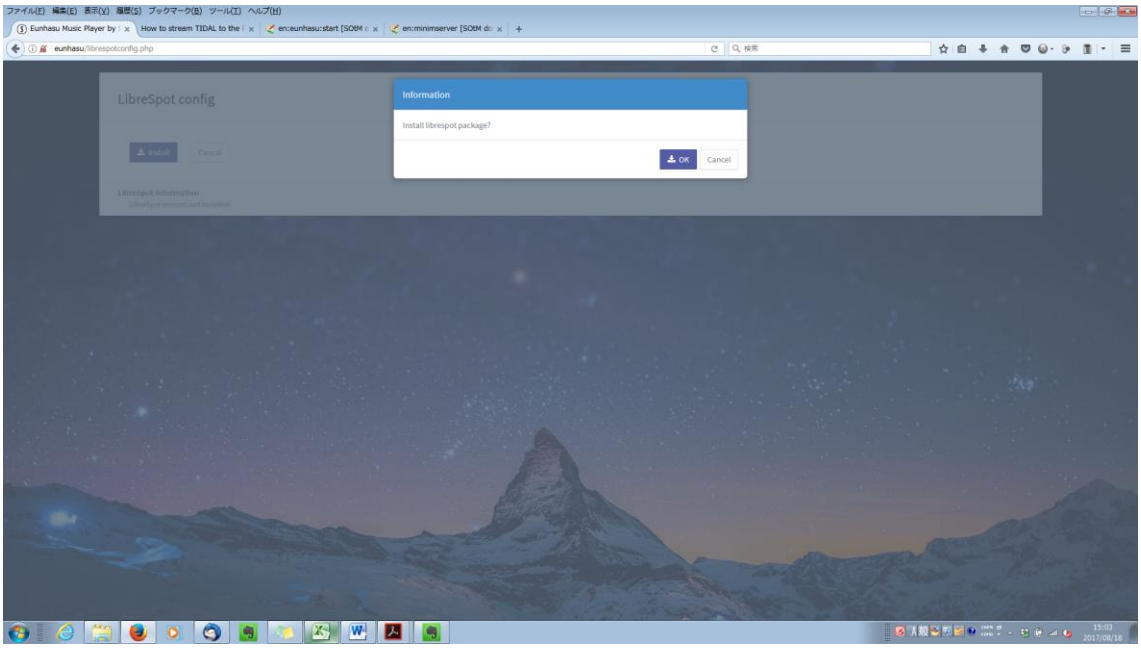
1. LibreSpot のインストール

   LibreSpot の歯車アイコンをクリックします。

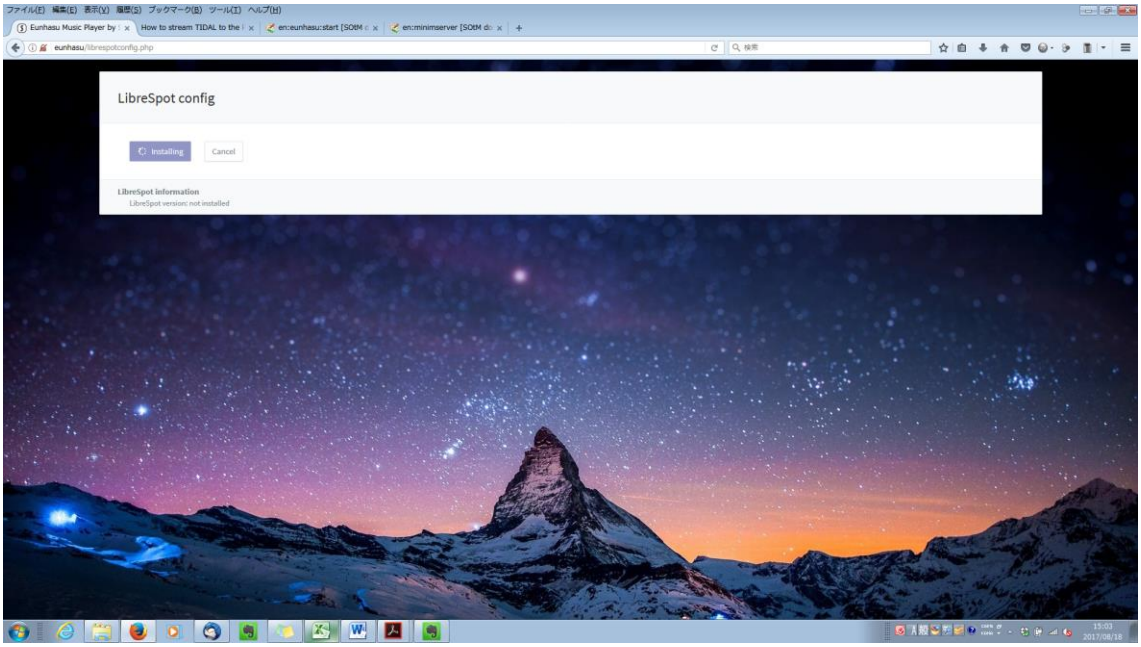
LibreSpot Config が表示されます。
install をクリックします。



OK をクリックします。



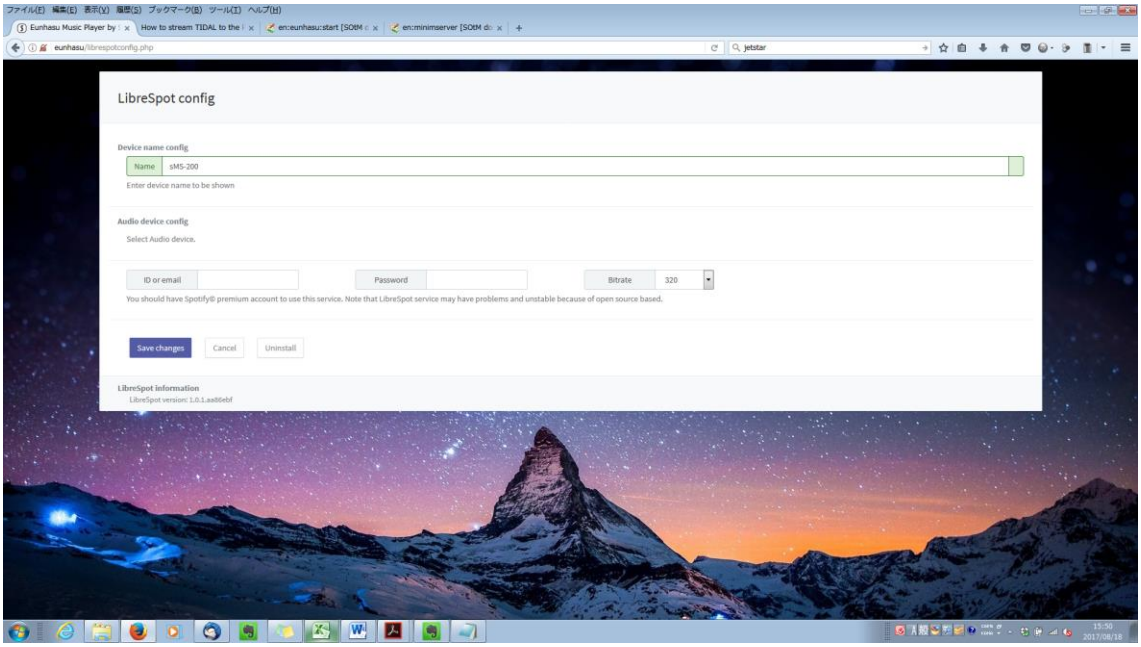
インストールが開始されます。



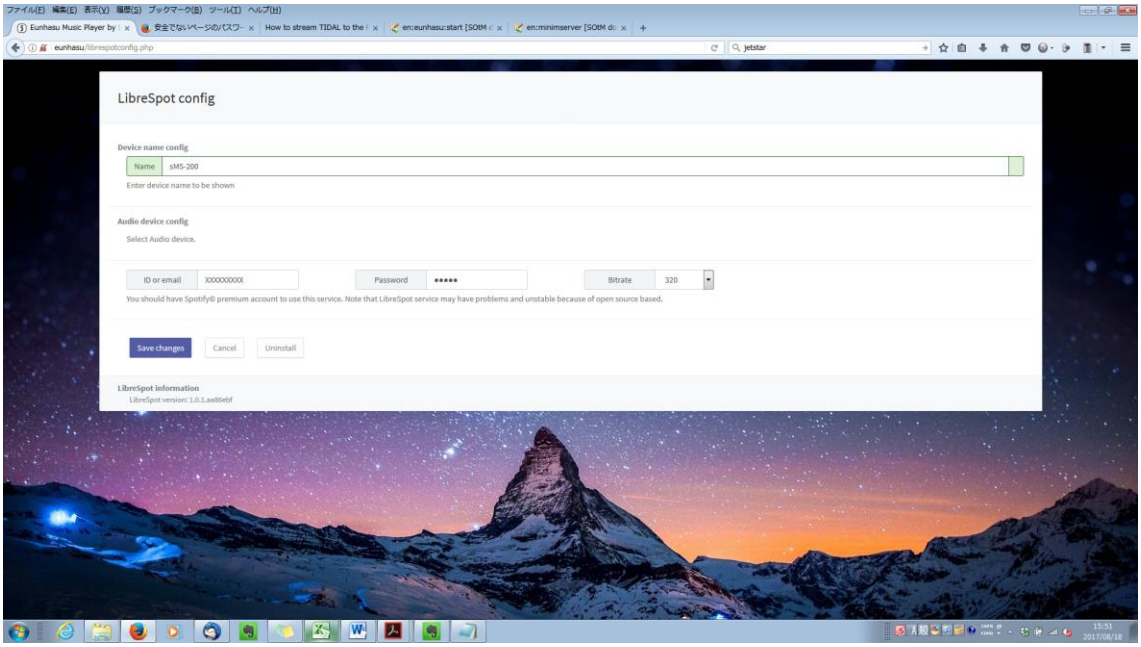
三角の再生ボタンが表示されるようになります。

歯車アイコンをクリックします。

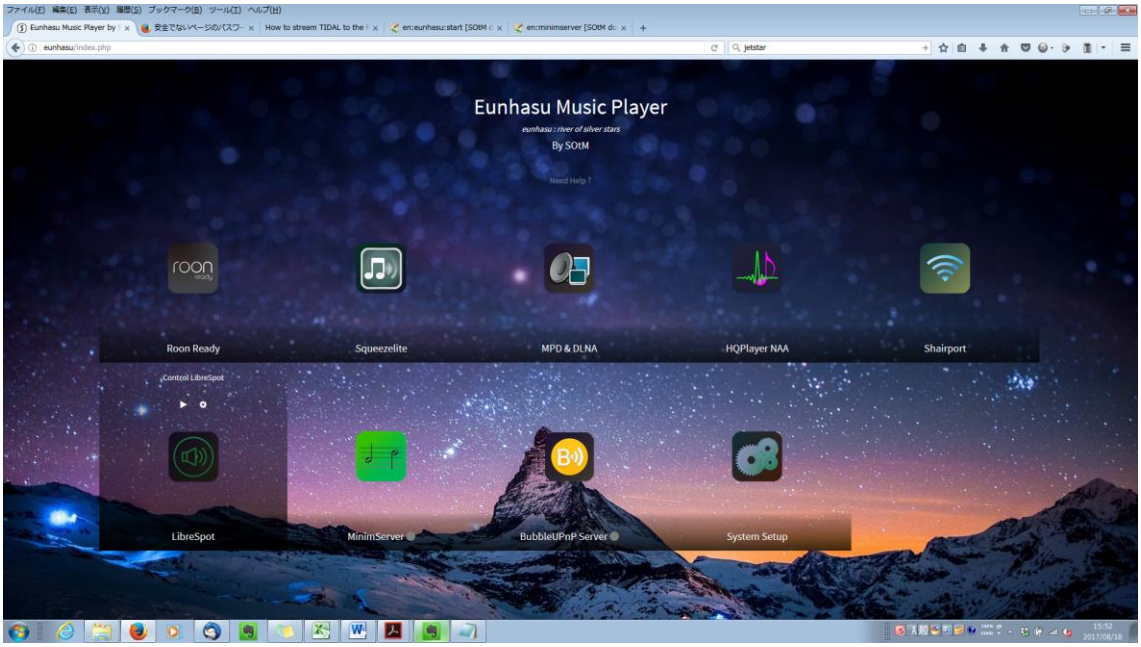
LibreSpot config 画面が表示されます。



ID or email に Spotify プレミアムアカウントの ID またはメールアドレス、
Password に Spotify プレミアムアカウントのパスワードを入力します。
その後に Save Changes ボタンをクリックします。



設定が終了しました。

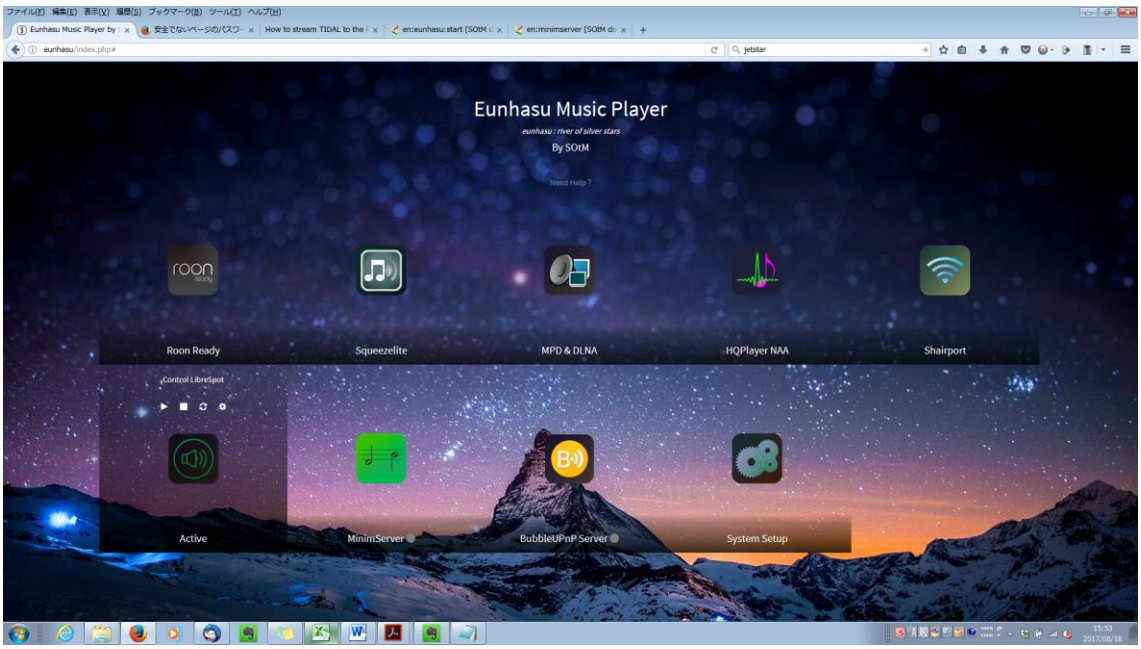


2. LibreSpot のスタート

Start LibreSpot ボタンをクリックします。

LibreSpot が実行されました。

Active の文字が表示されます。

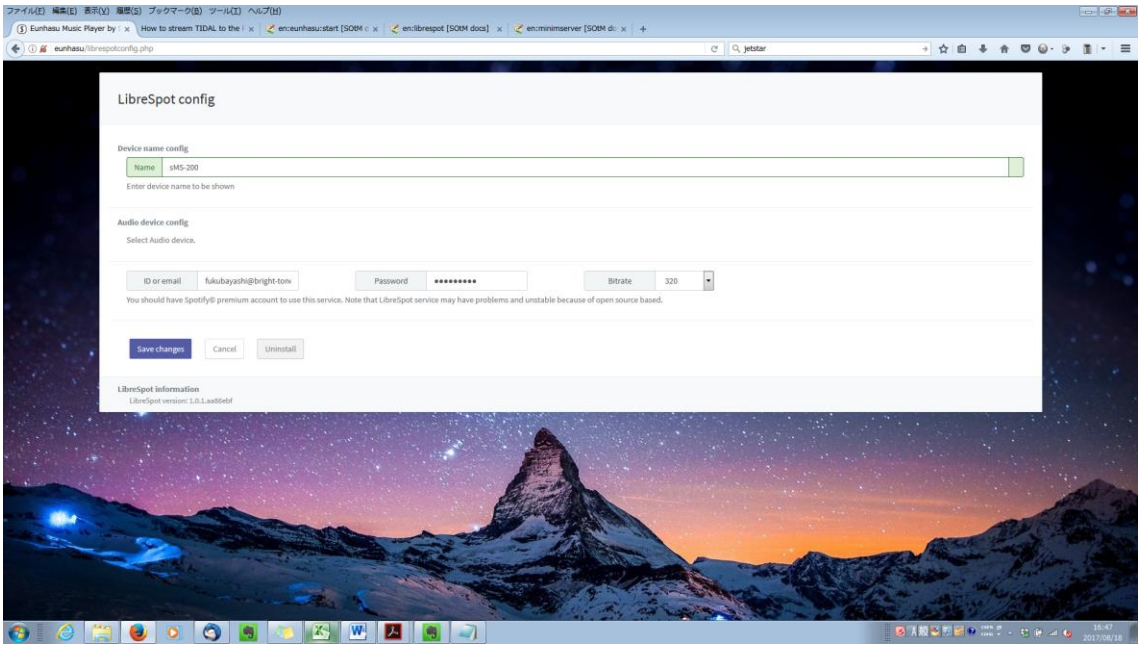


※Spotify connect の使い方につきましては Spotify のサイトをご確認ください。

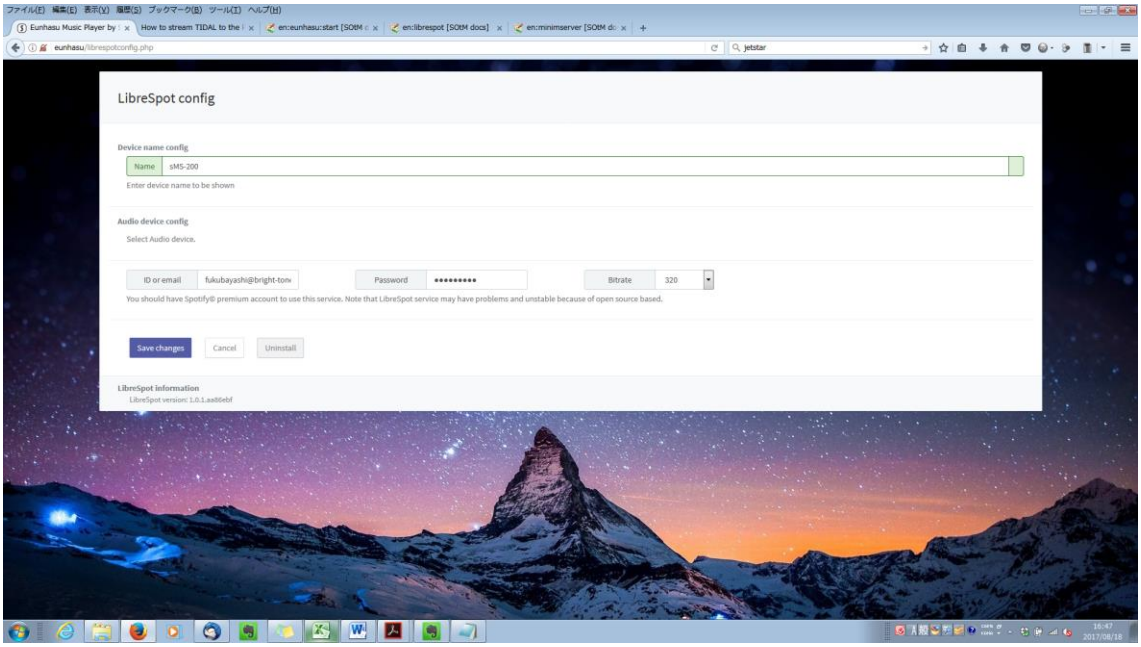
3. LibreSpot の停止
   stop ボタンをクリックすると LibreSpot が停止します。

4. LibreSpot のリスタート
   restart ボタンをクリックすると LibreSpot が再起動します。

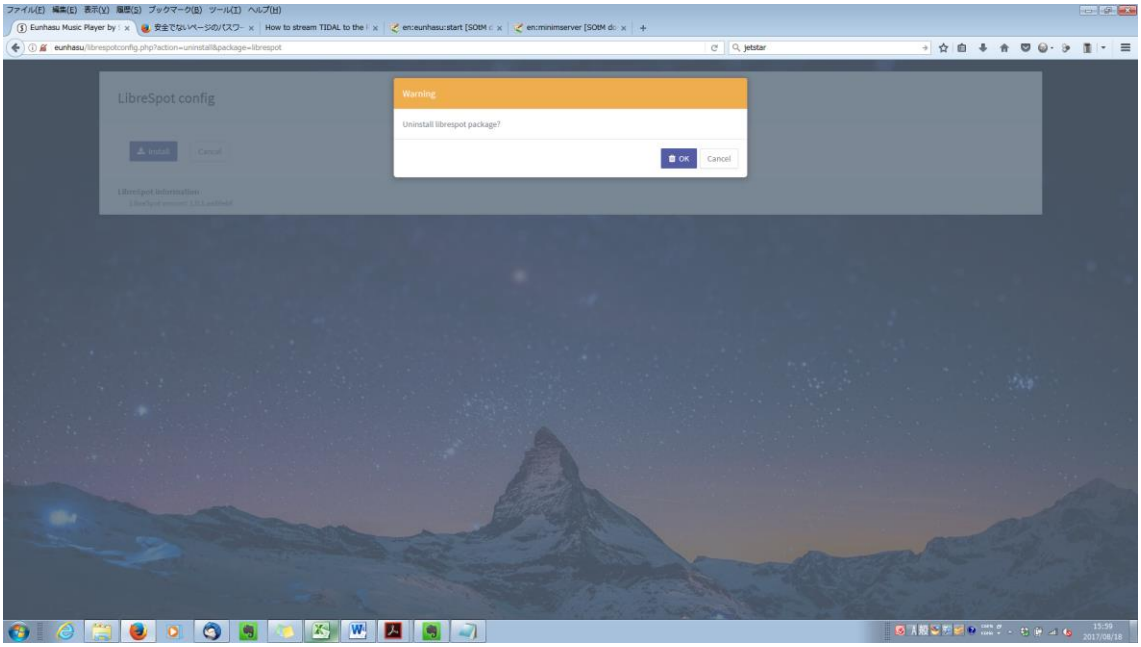
5. LibreSpot のアンインストール
   ConfigLibreSpot ボタンをクリックします。



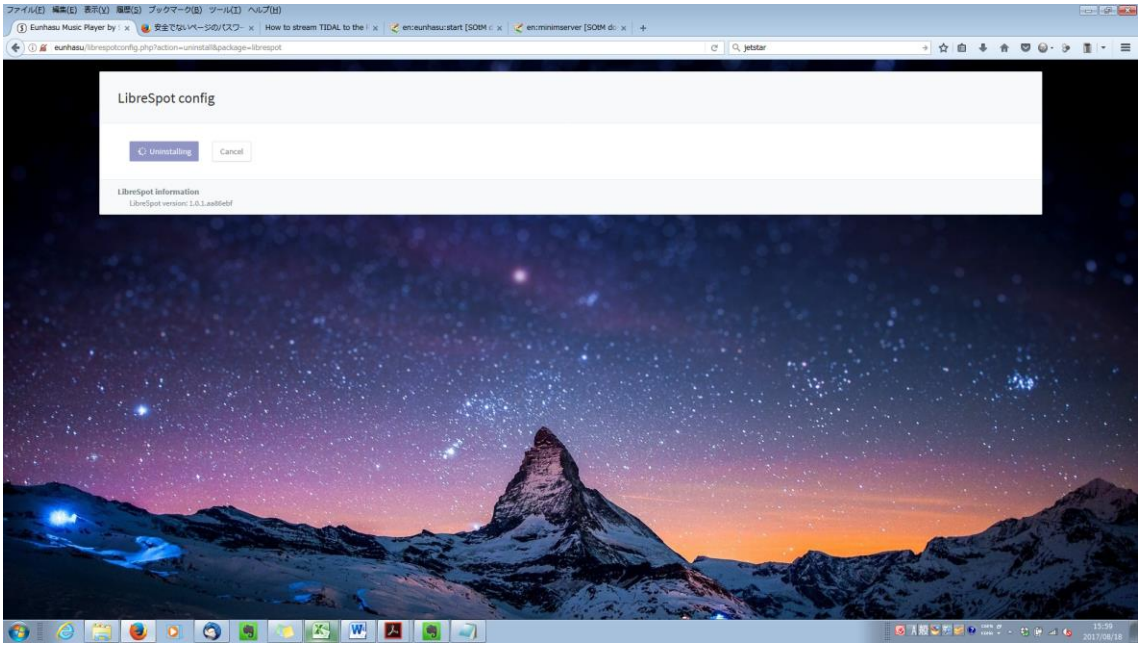
LibreSpot config 画面が表示されるので、Uninstall ボタンをクリックします。



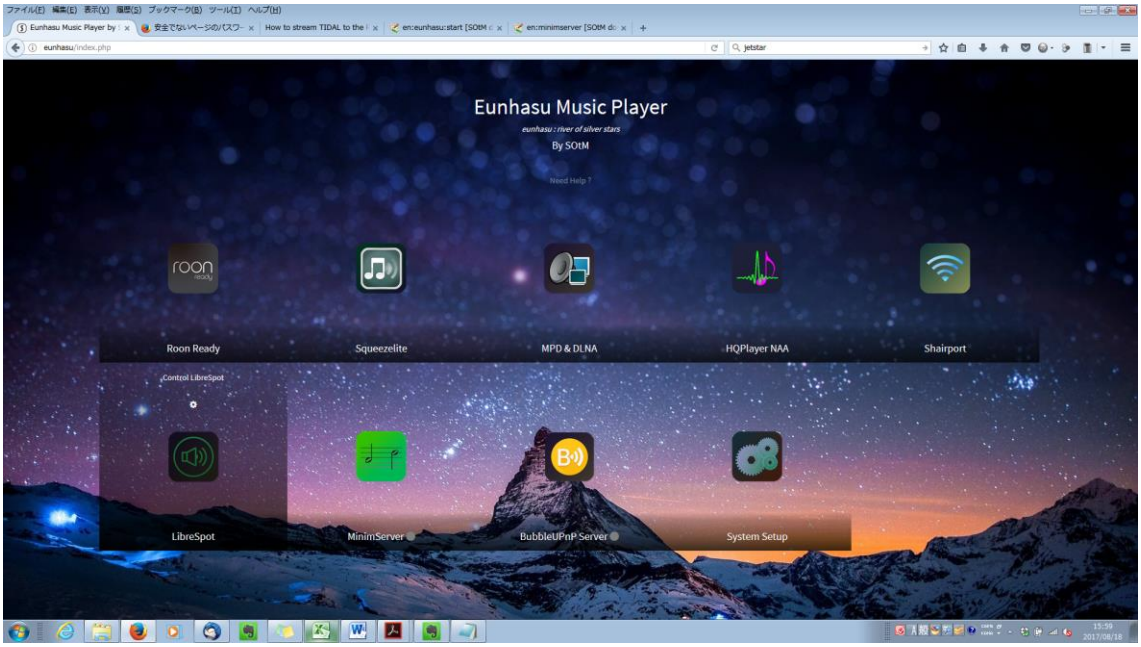
OK ボタンをクリックします。



アンインストールが開始されます。



アンインストールが終了すると再生ボタンが表示されなくなります。



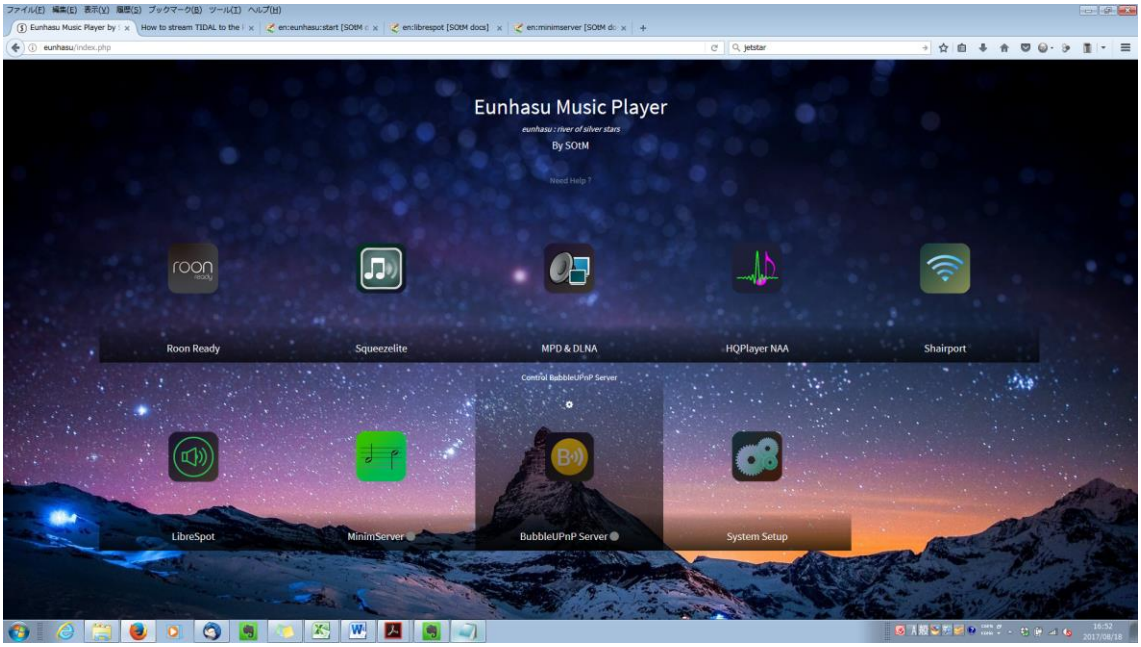
BubbleUPnP Server　(Tidal,Qobuz の使い方)

BubbleUPnP Server を使うことで Tidal 及び Qobuz を sMS-1000SQ Eunhasu で再生することが
できます。

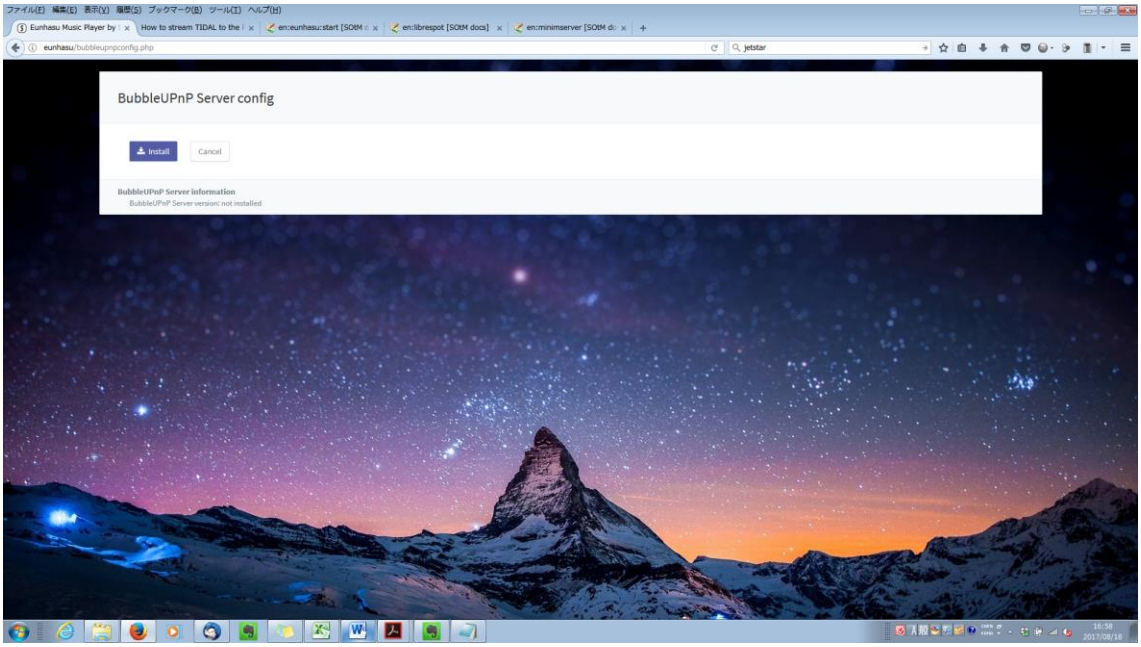
1. BubbleUPnP Server のインストール

事前に OpenHome DLNA レンダラー機能を On にして、MPD & DLNA アイコンから MPD & DLNA をスタートさせておきます。
(詳細は MPD & DLNA　(MPD & DLNA の使い方)のページを参照ください)

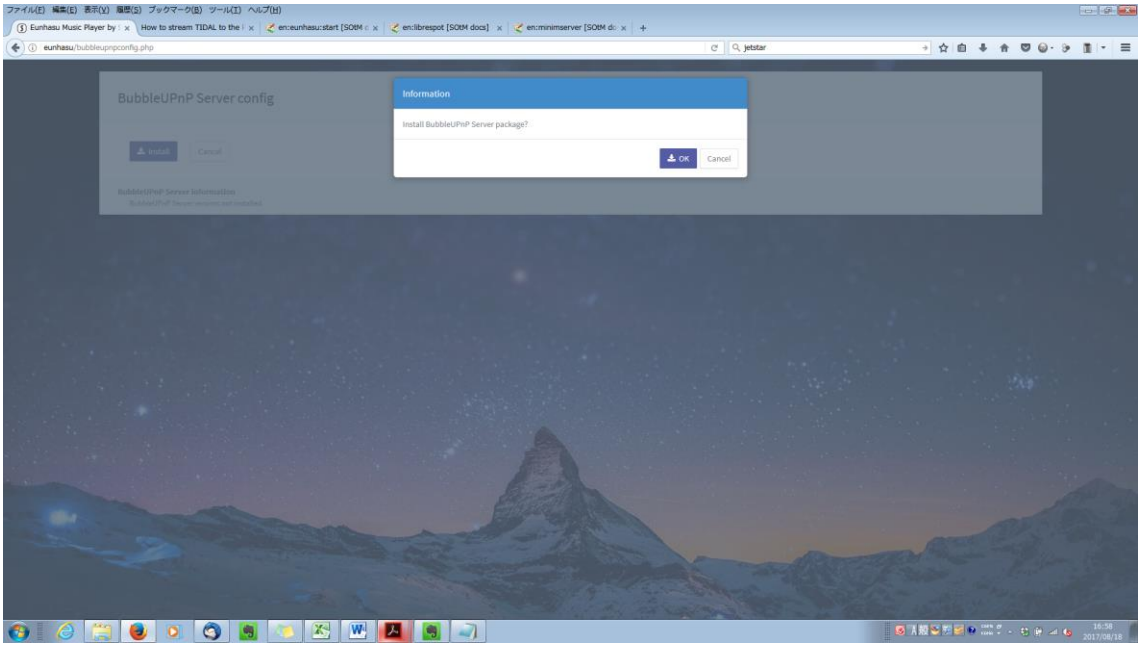
BubbleUPnP Server の文字の右〇が灰色になって、BubbleUPnP Server が起動していないことを確認します。
BubbleUPnP Server の歯車アイコンをクリックします。



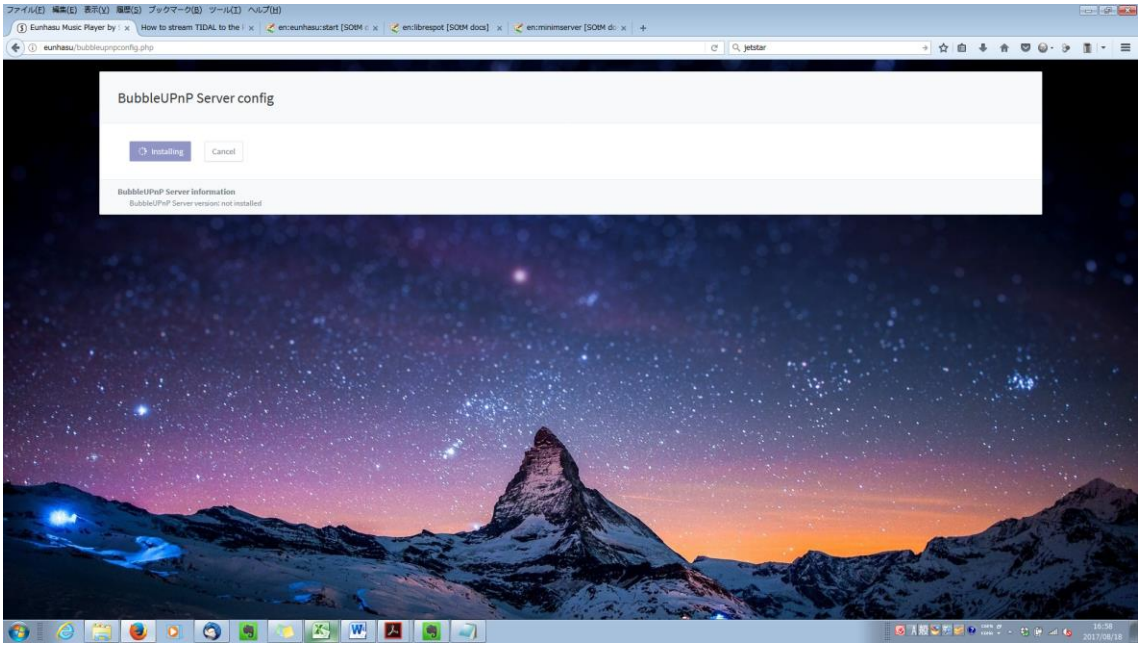
install をクリックします。



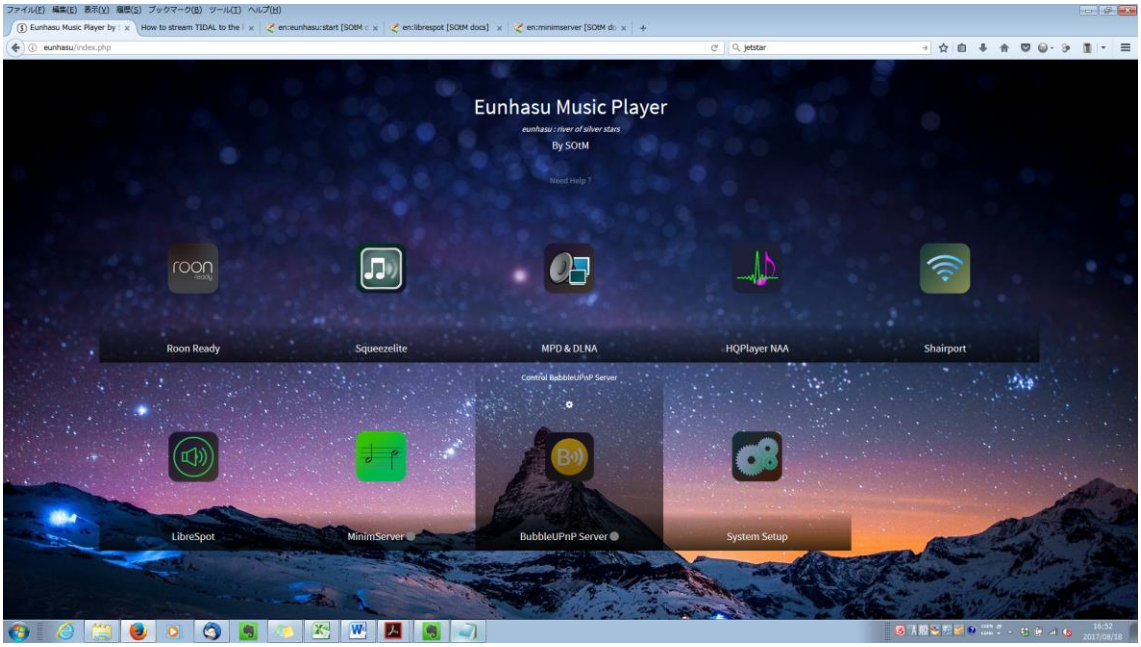
OK をクリックします。



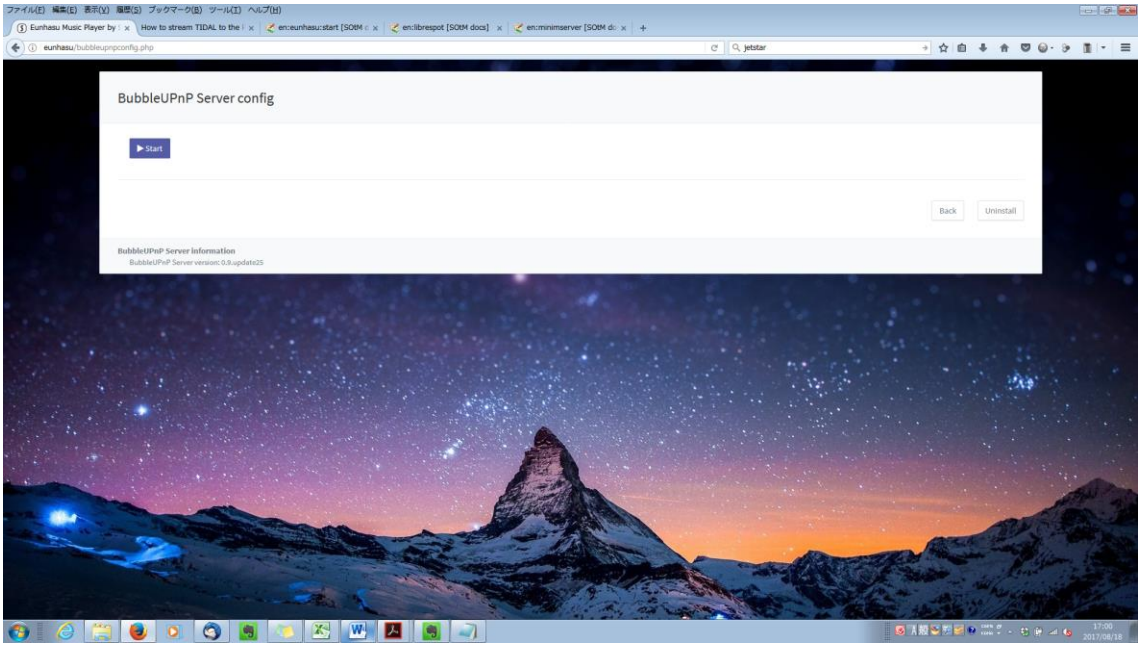
インストールが開始されます。

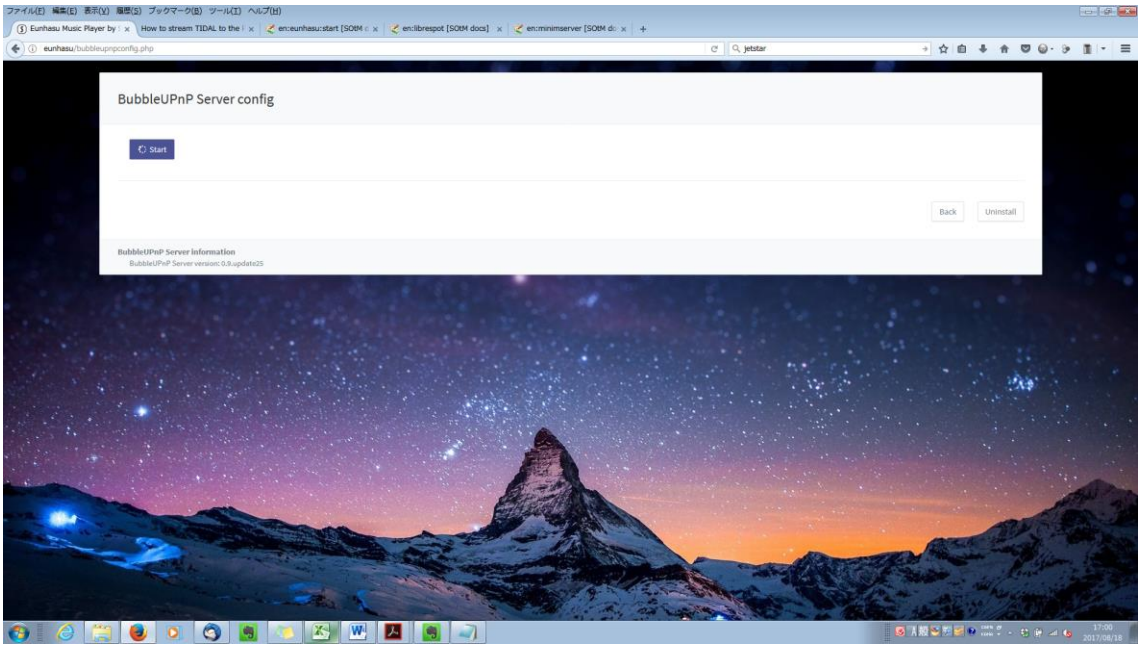


歯車アイコンをクリックします。

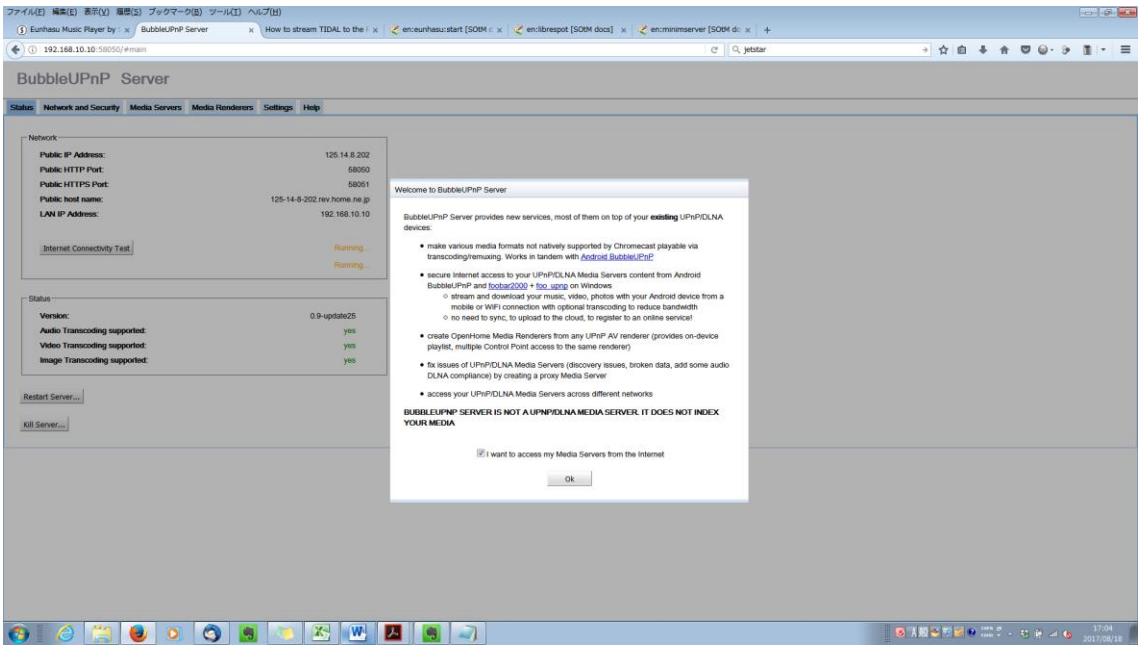


Start ボタンをクリックします。

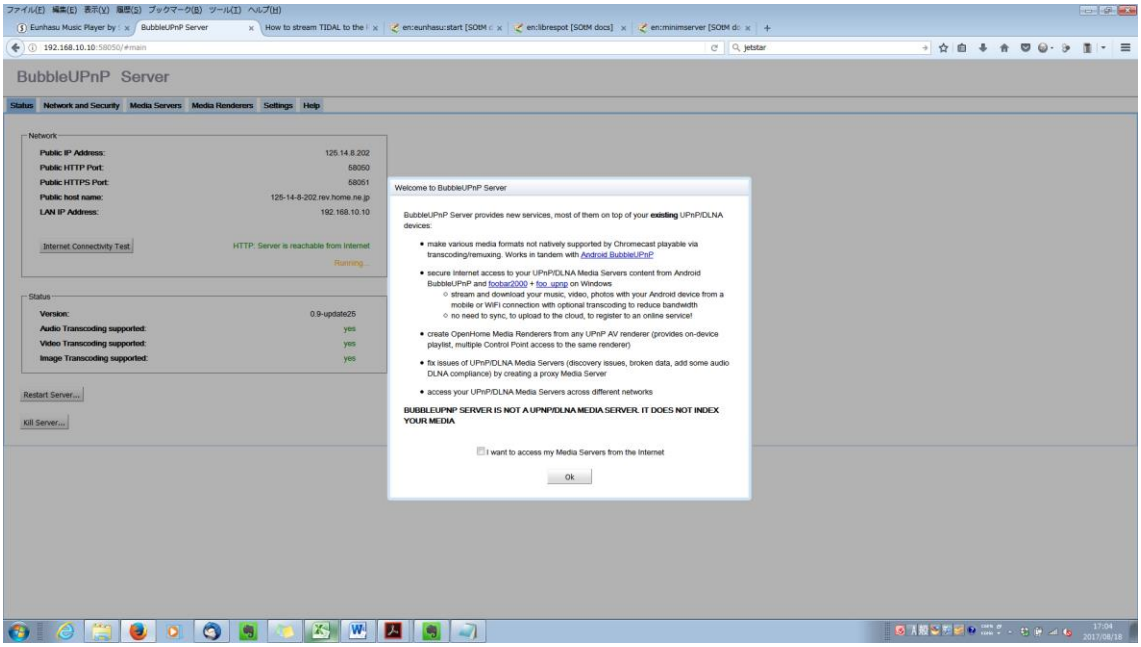




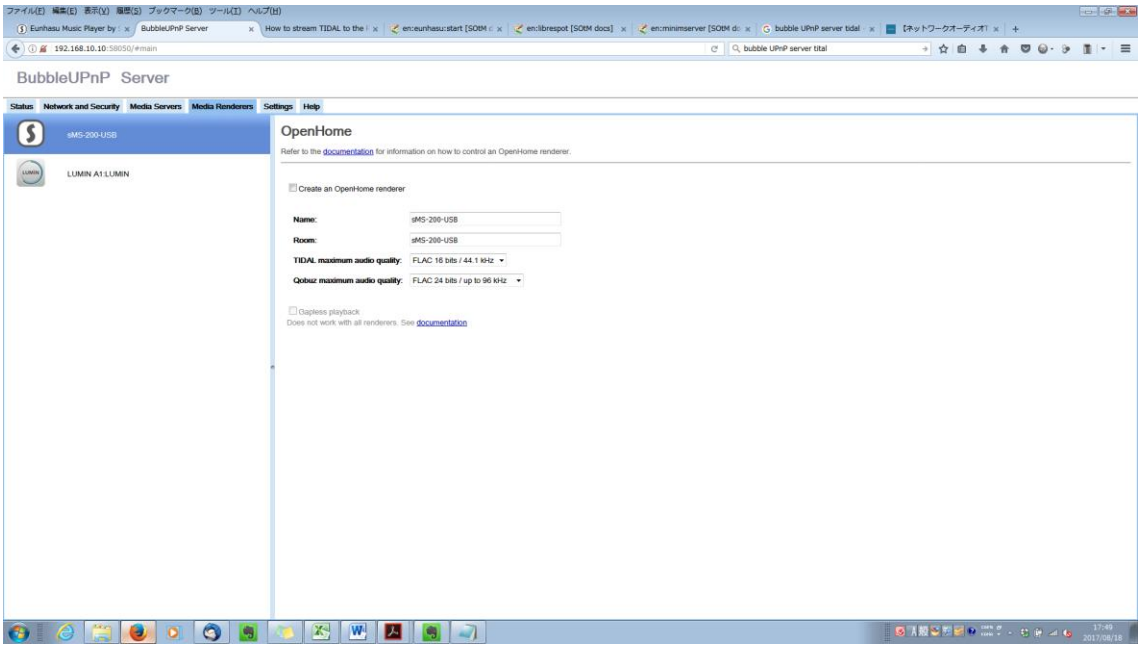
I want to access my Media Servers from the internet
外部から Bubble UPnP Server に接続したい場合はチェックのままにします。
（セキュリティの観点からチェックを外すことを推奨いたします）
OK ボタンをクリックします。



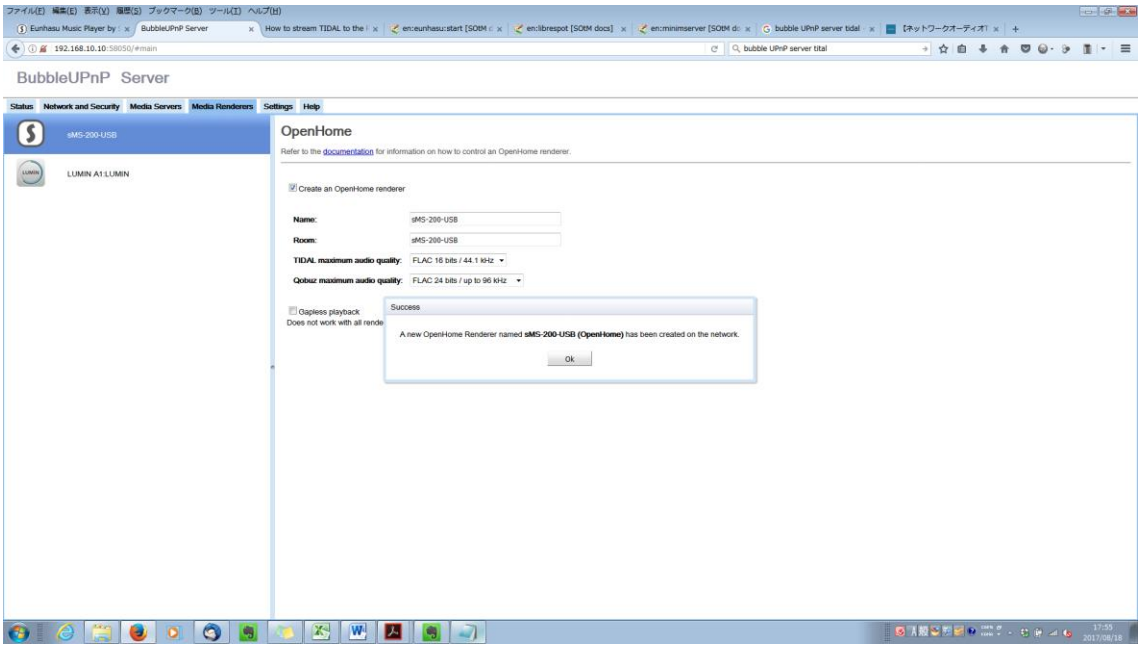
チェックを外した状態



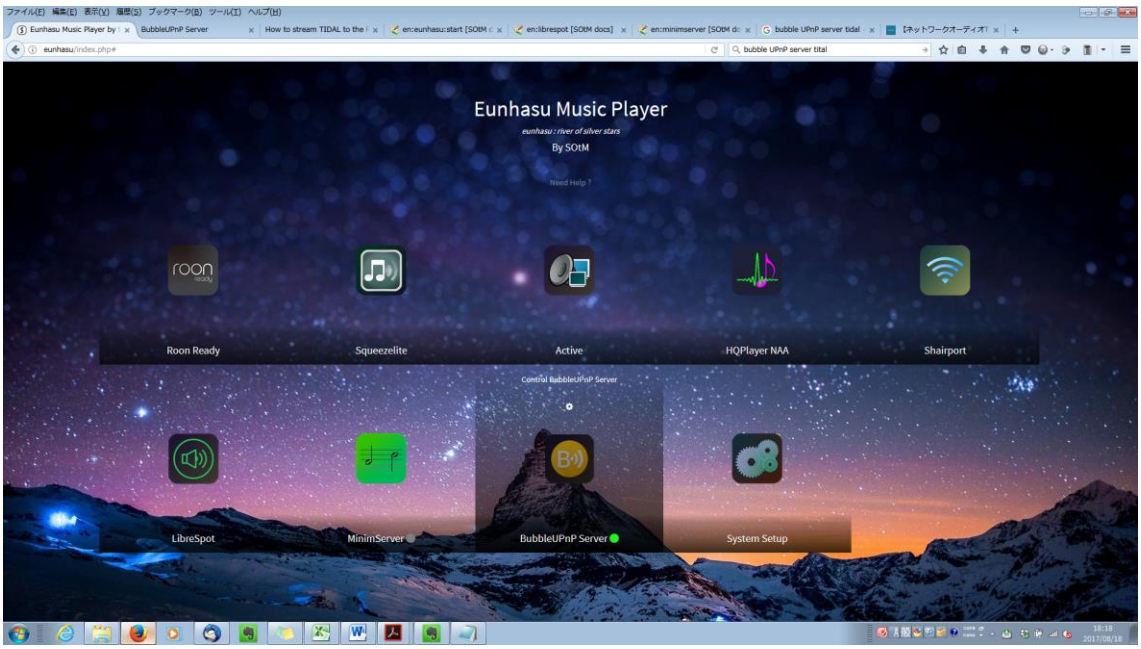
Media Renderers のタブを選択します。
sMS-1000SQ Eunhasu-USB を選択します。（事前に OpenHome DLNA レンダラー機能を On にしておく必要があります）
TIDAL maximum audio quality:を DAC に合わせて設定します。
Qobuz maximum audio quality:を DAC に合わせて設定します。
Gapless playback をチェックします。
最後に Create an OpenHome renderer をチェックします。



sMS-1000SQ Eunhasu-USB(OpenHome)が作成されるので、OK をクリックします。



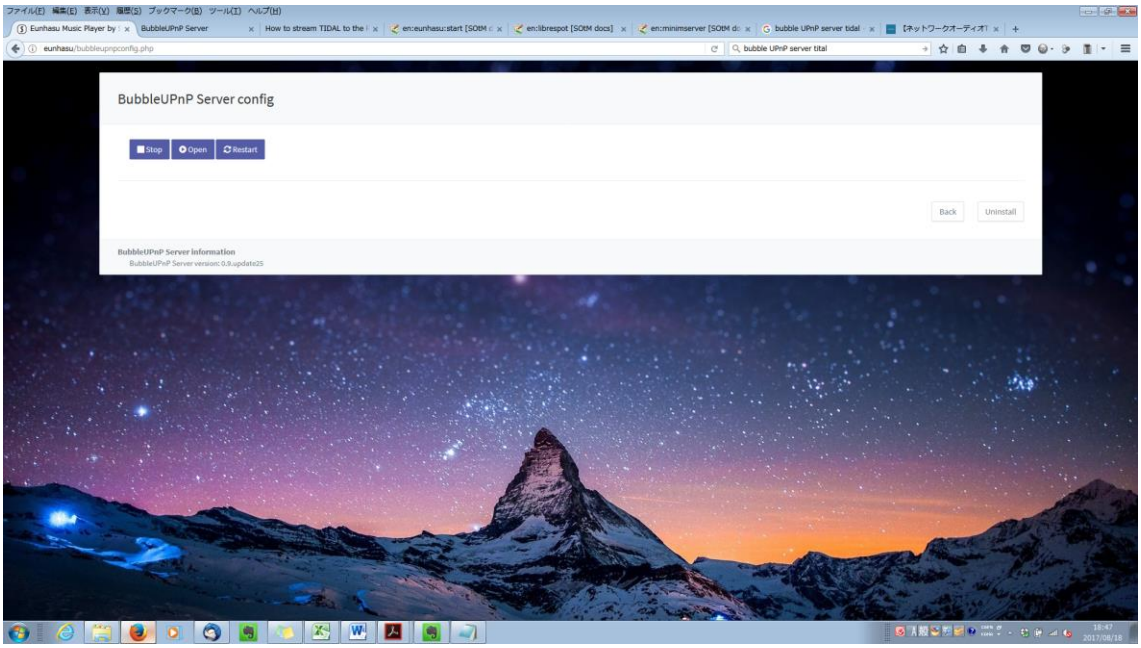
BubbleUPnP Server の文字の右〇が緑色になって、BubbleUPnP Server が起動していることを確認します。



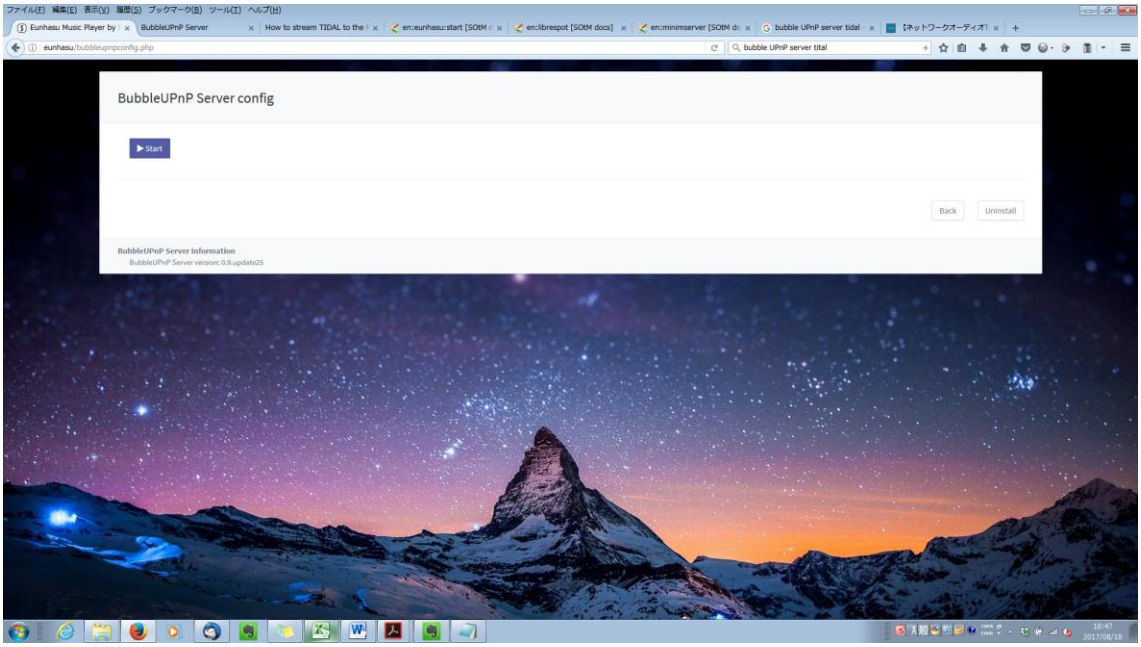
2. BubbleUPnP Server の停止

BubbleUPnP Server の文字の右〇が緑色になっているのを確認します。
歯車アイコンをクリックします。

BubbleUPnP Server config 画面が表示されます。
Stop ボタンをクリックします。



Back ボタンをクリックします。

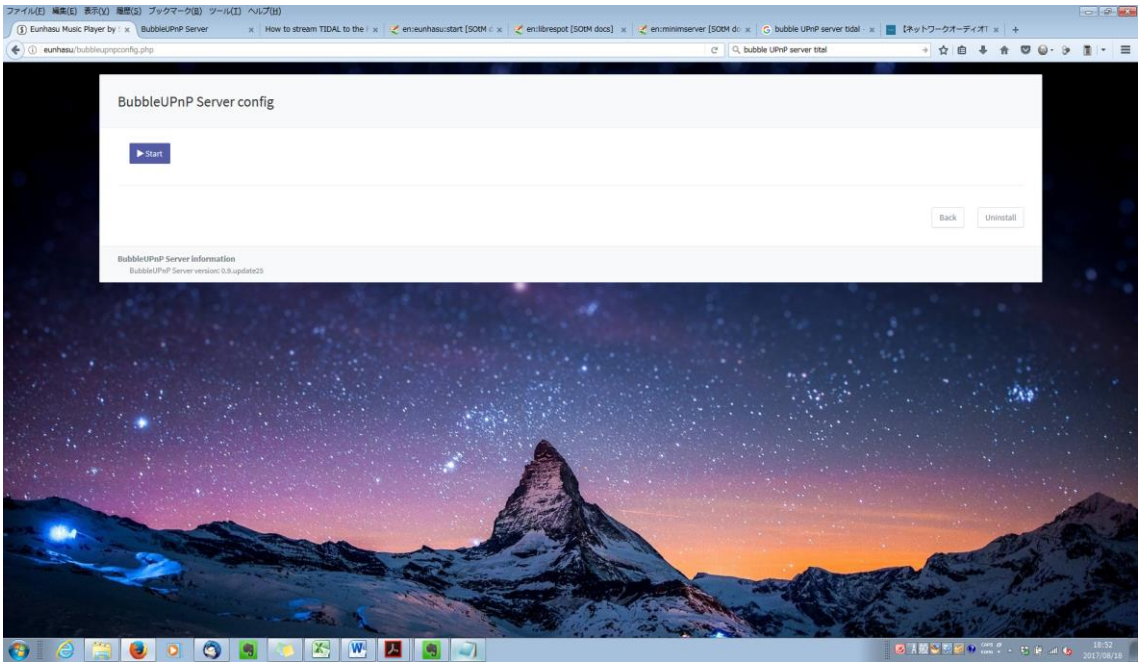


Eunhasu Music Player 画面に自動的に戻ります。
BubbleUPnP Server の文字の右〇が灰色になって停止しているのを確認します。

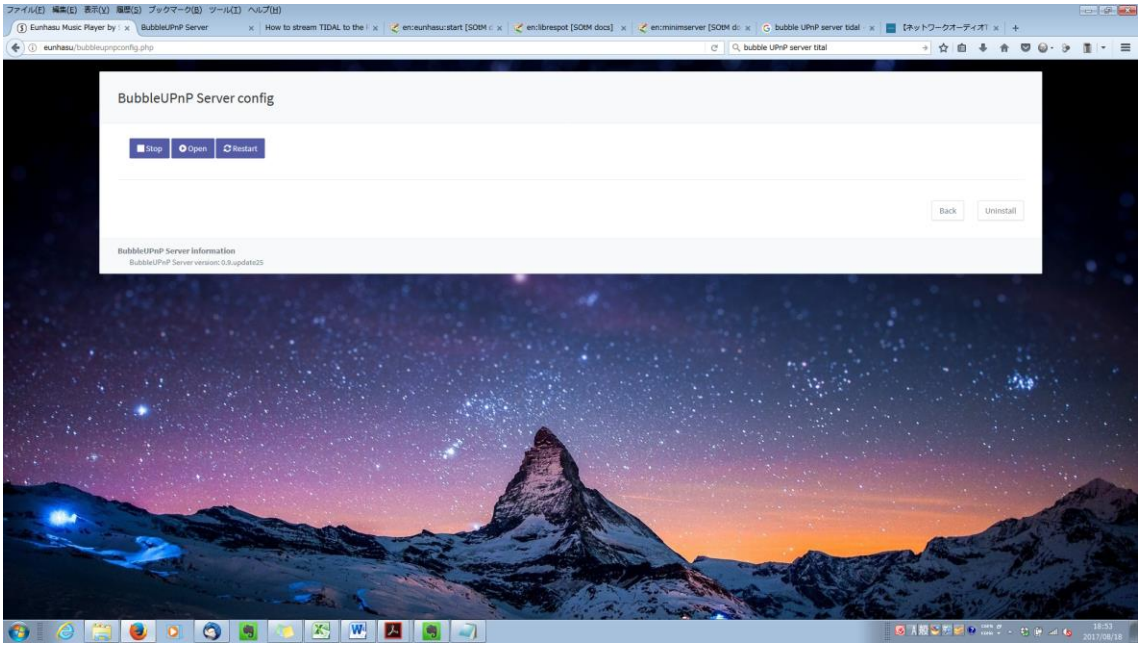
3. BubbleUPnP Server のスタート

BubbleUPnP Server の文字の右〇が灰色になって停止しているのを確認します。
歯車アイコンをクリックします。

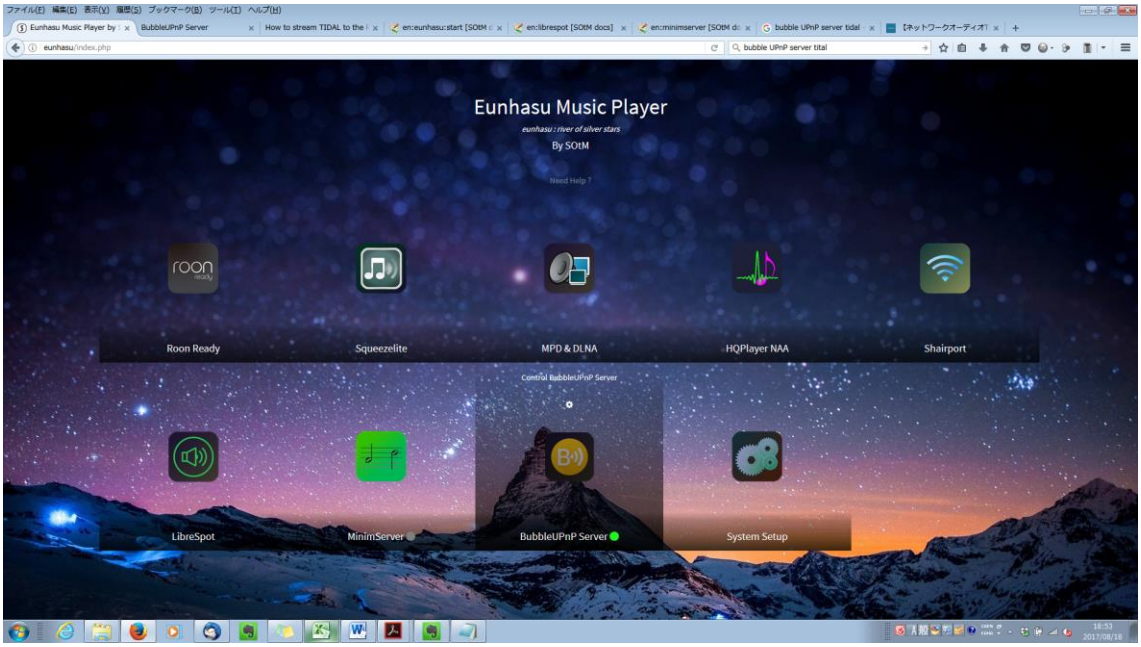
BubbleUPnP Server config 画面が表示されます。
Start ボタンをクリックします。



起動後に Back ボタンをクリックします。

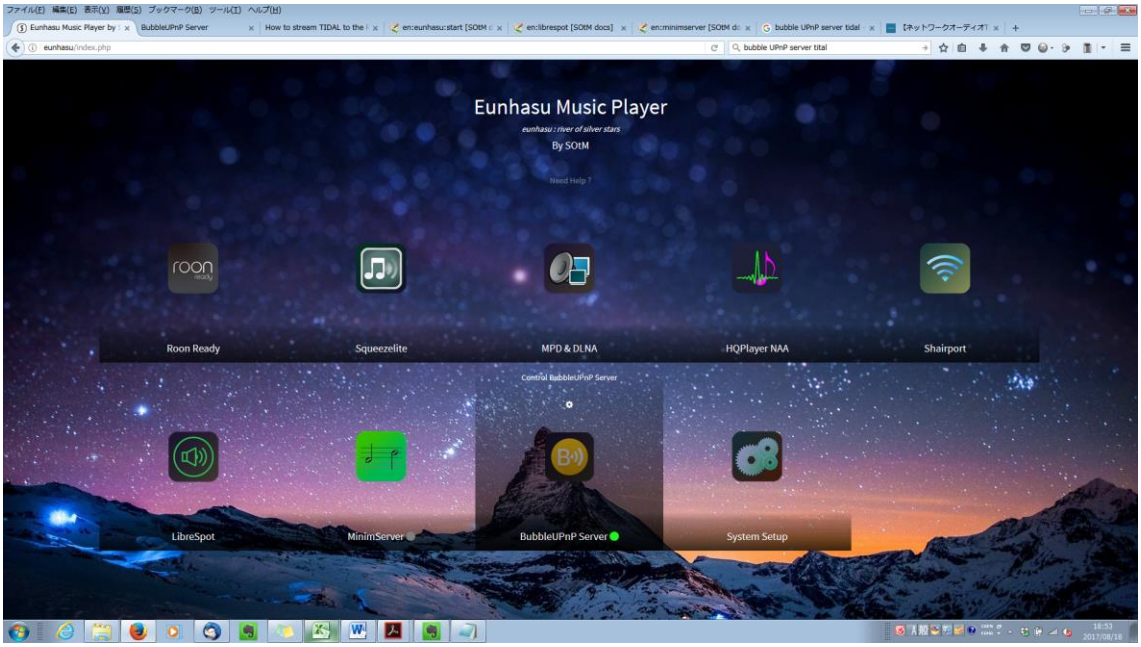


BubbleUPnP Server の文字の右〇が緑色になって起動しているのを確認します。

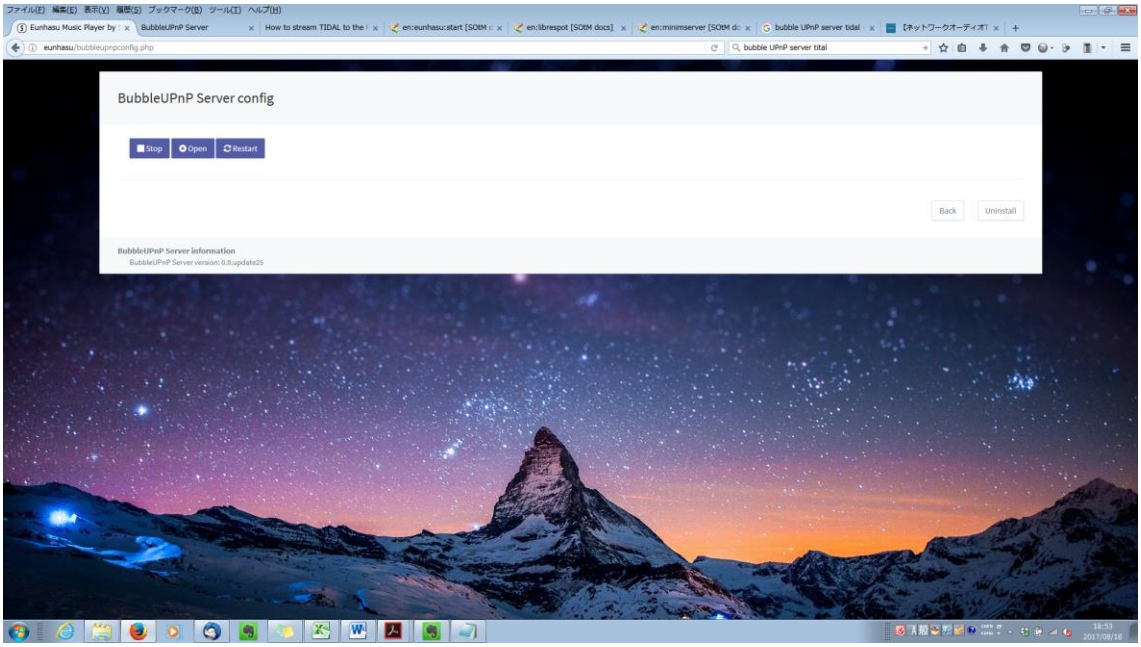


4. BubbleUPnP Server のリスタート

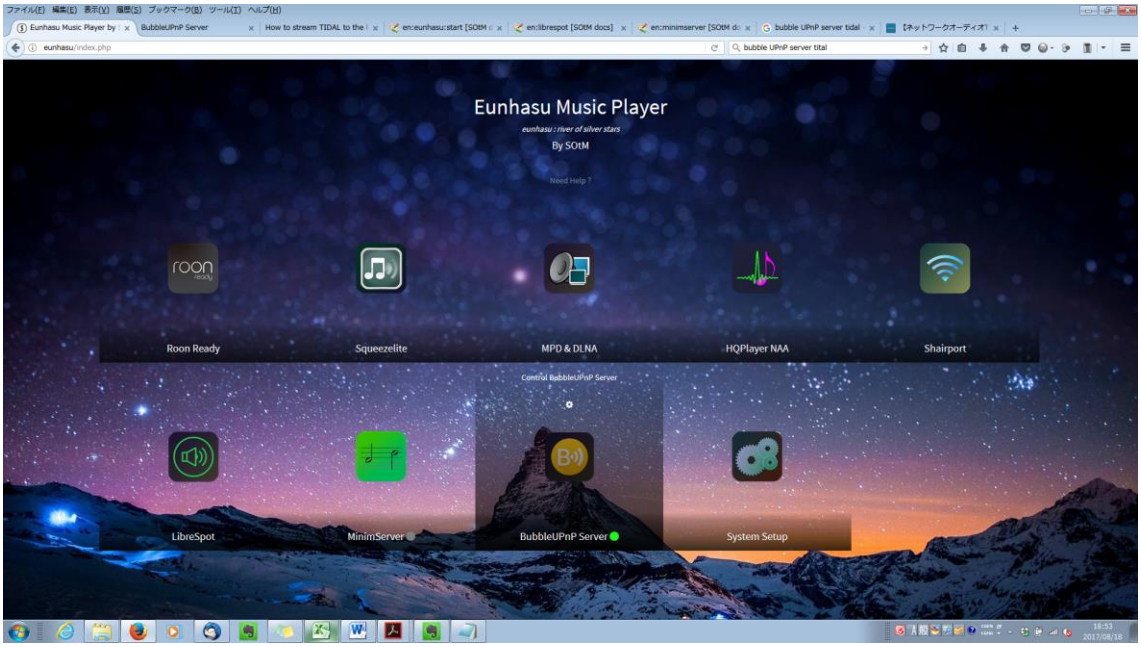
BubbleUPnP Server の文字の右〇が緑色になって起動しているのを確認します。
歯車アイコンをクリックします。



BubbleUPnP Server config 画面が表示されます。
Restart ボタンをクリックします。
再起動後に Back ボタンをクリックします。



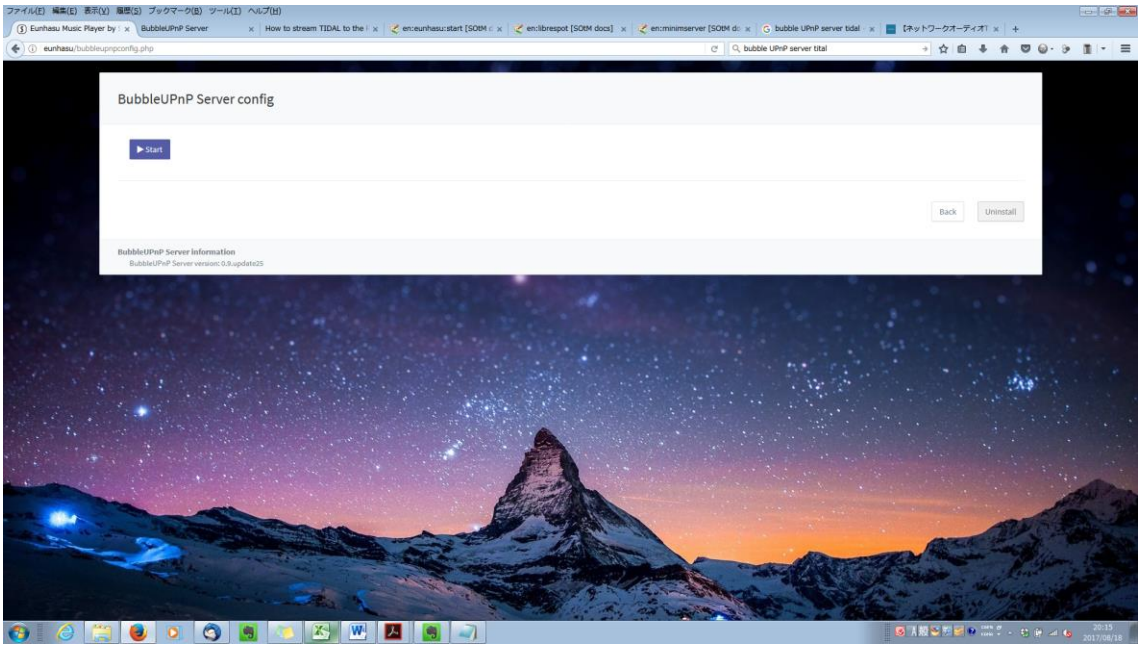
BubbleUPnP Server の文字の右〇が緑色になって起動しているのを確認します。



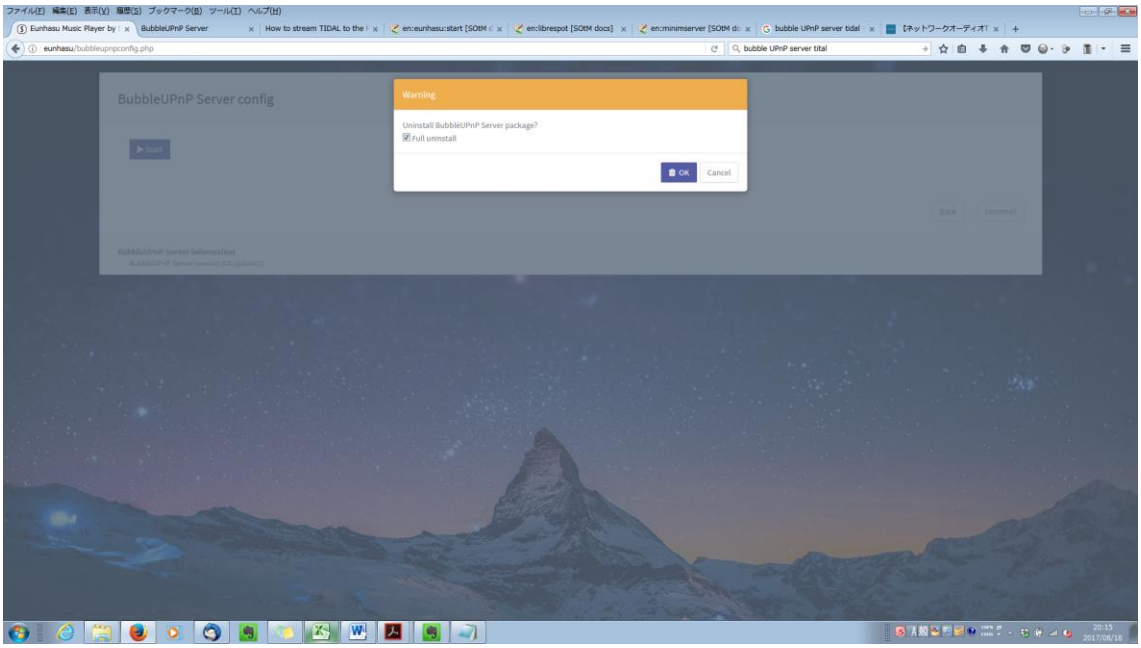
5. BubbleUPnP Server のアンインストール

BubbleUPnP Server の文字の右〇が灰色になって停止しているのを確認します。
歯車アイコンをクリックします。

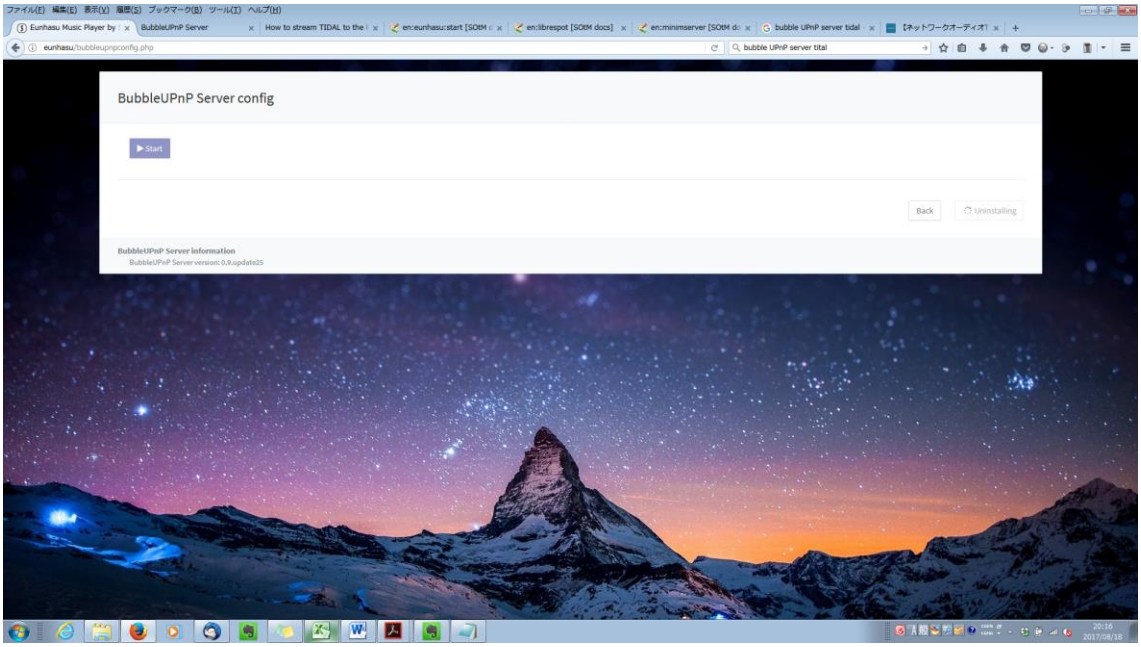
BubbleUPnP Server config 画面が表示されます。
Uninstall ボタンをクリックします。



Full uninstall をチェックして、OK ボタンをクリックします。



Back ボタンをクリックします。



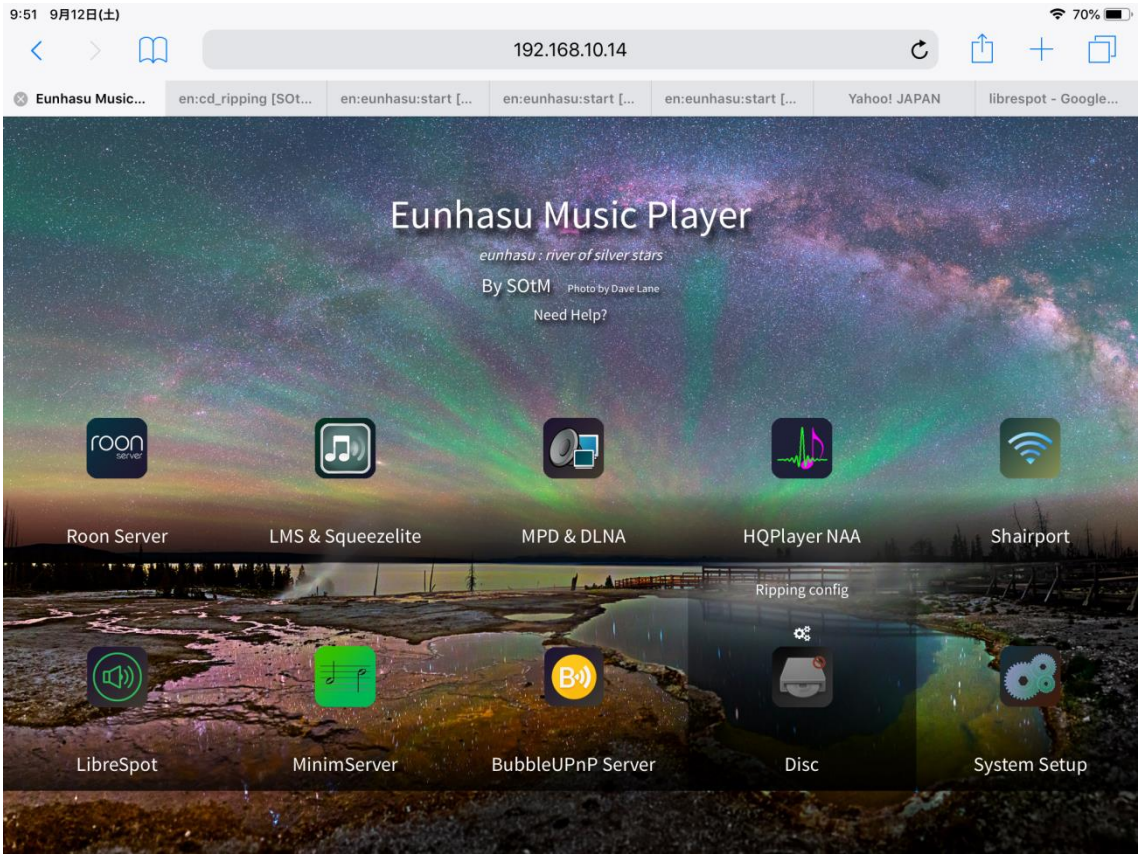
アンストールしてもアイコンは表示されます。

Disc　(CD リッピングの使い方)　※CD Ripping オプションのみ

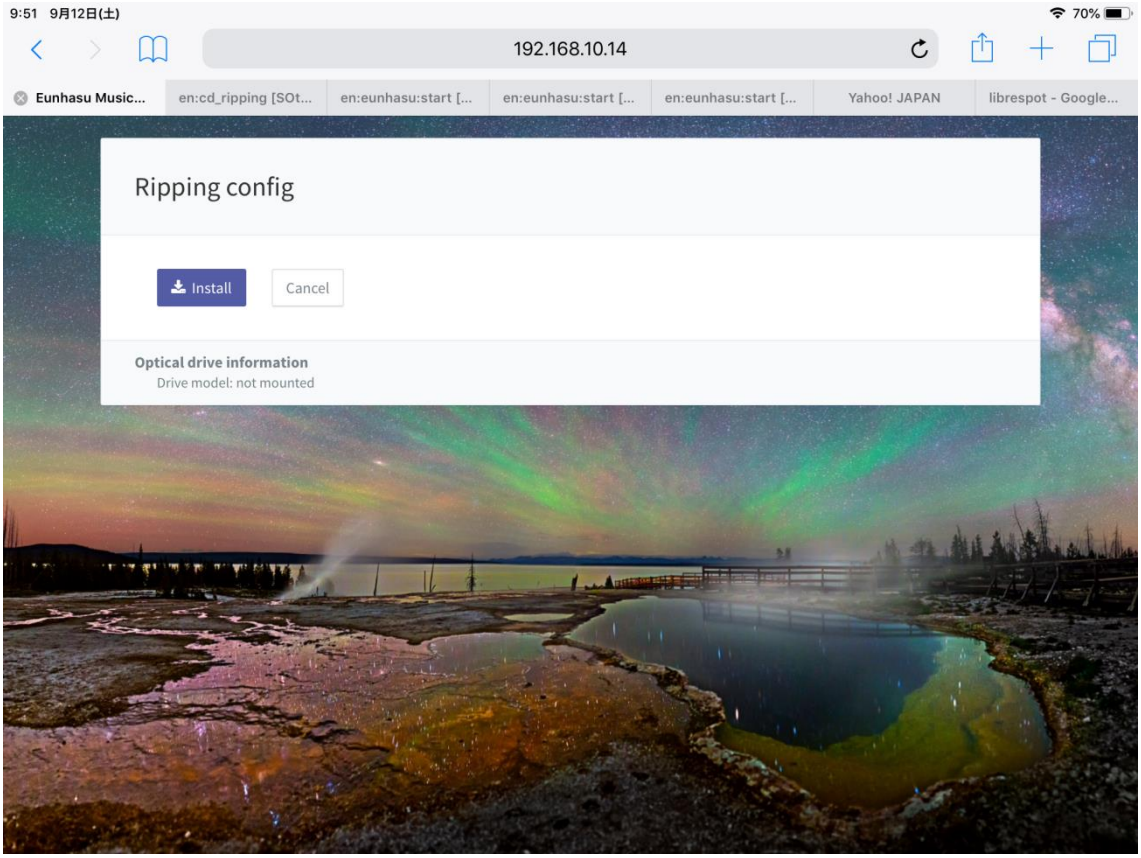
Disc を使うことで CD をリッピングすることができます。

1. Ripping config のインストール

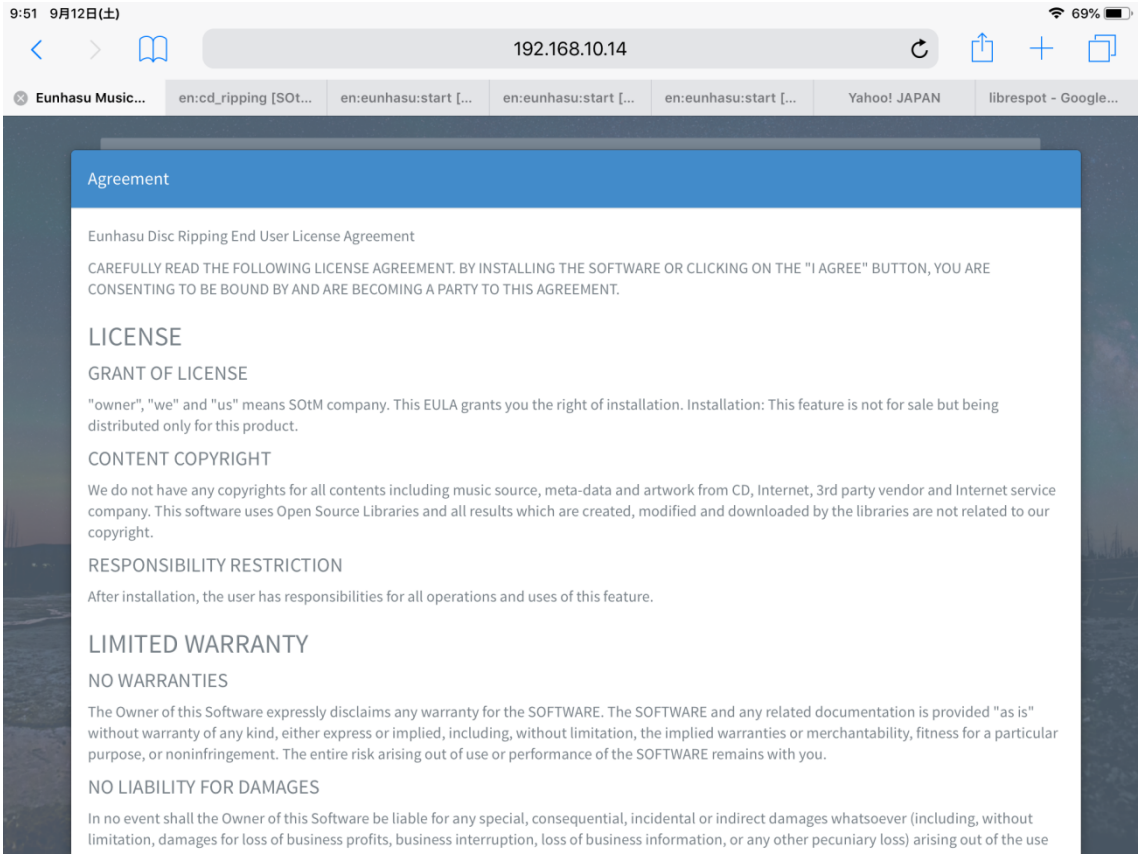
Disc の歯車をクリックします。

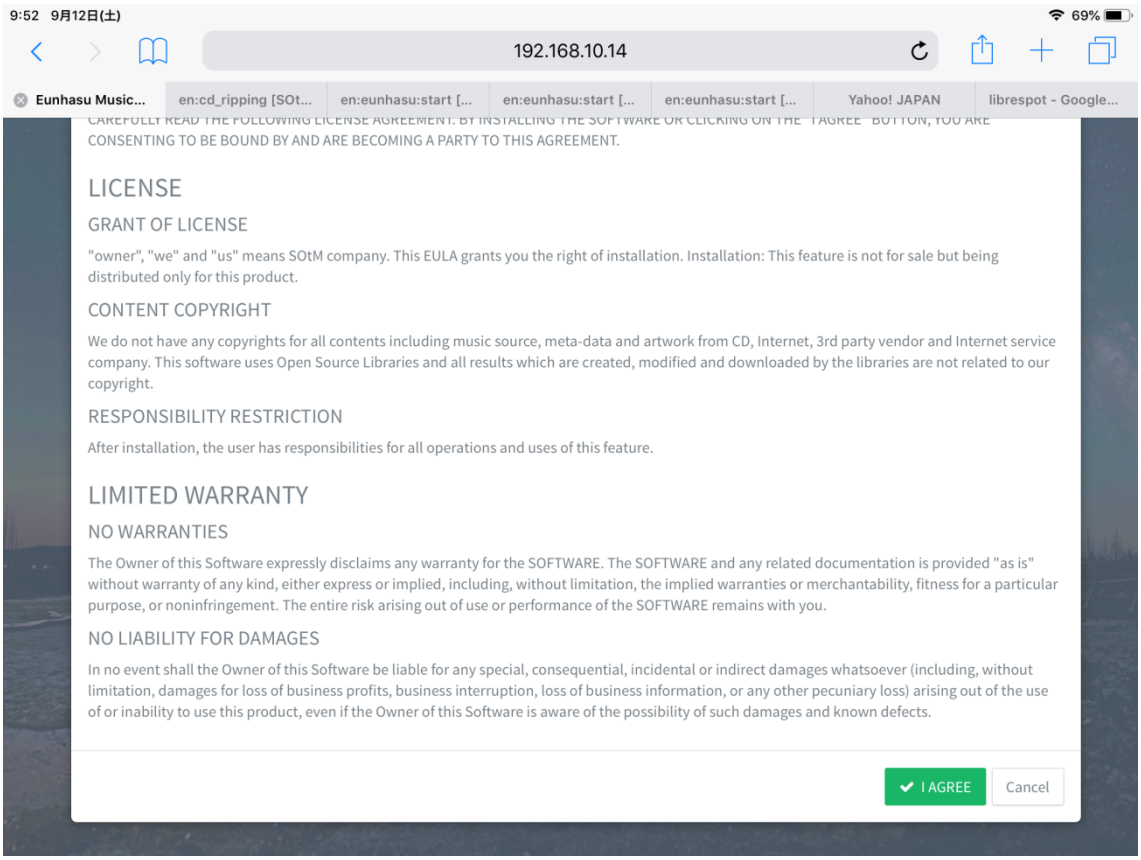


Ripping config で install をクリックします。

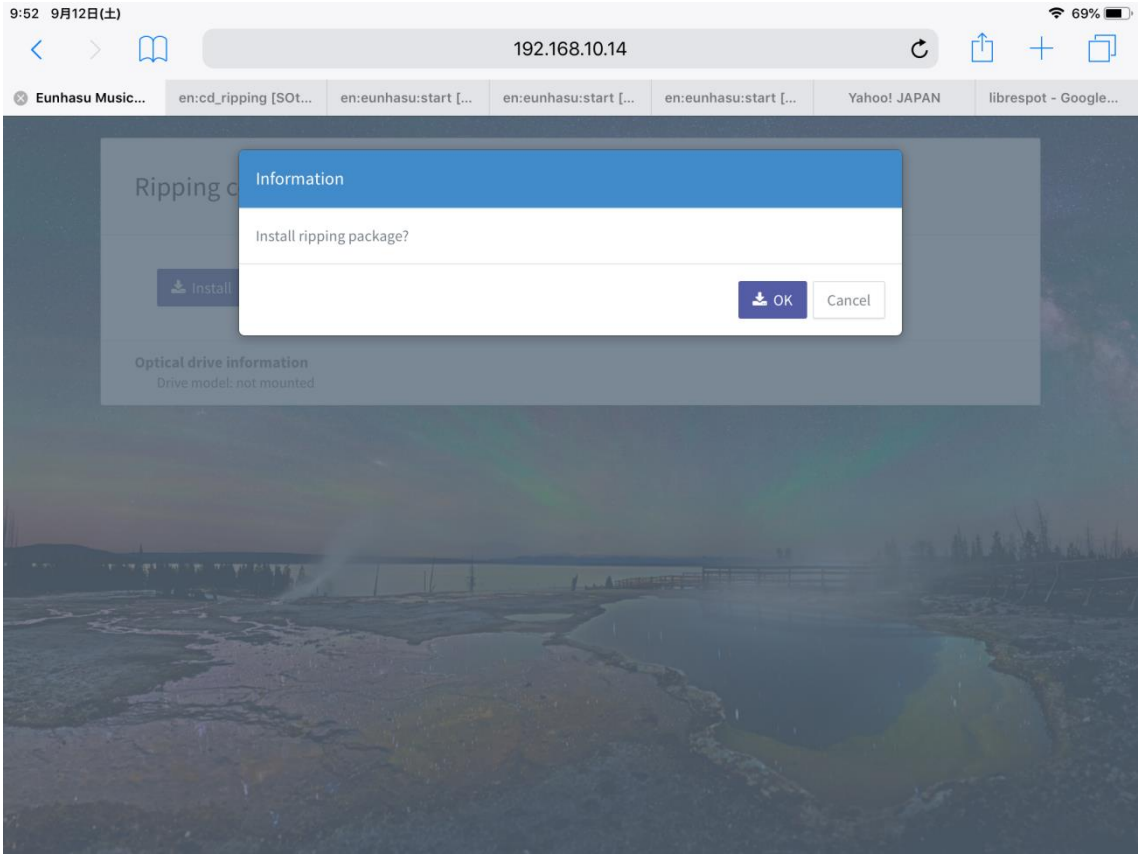


I agree をタッチします。

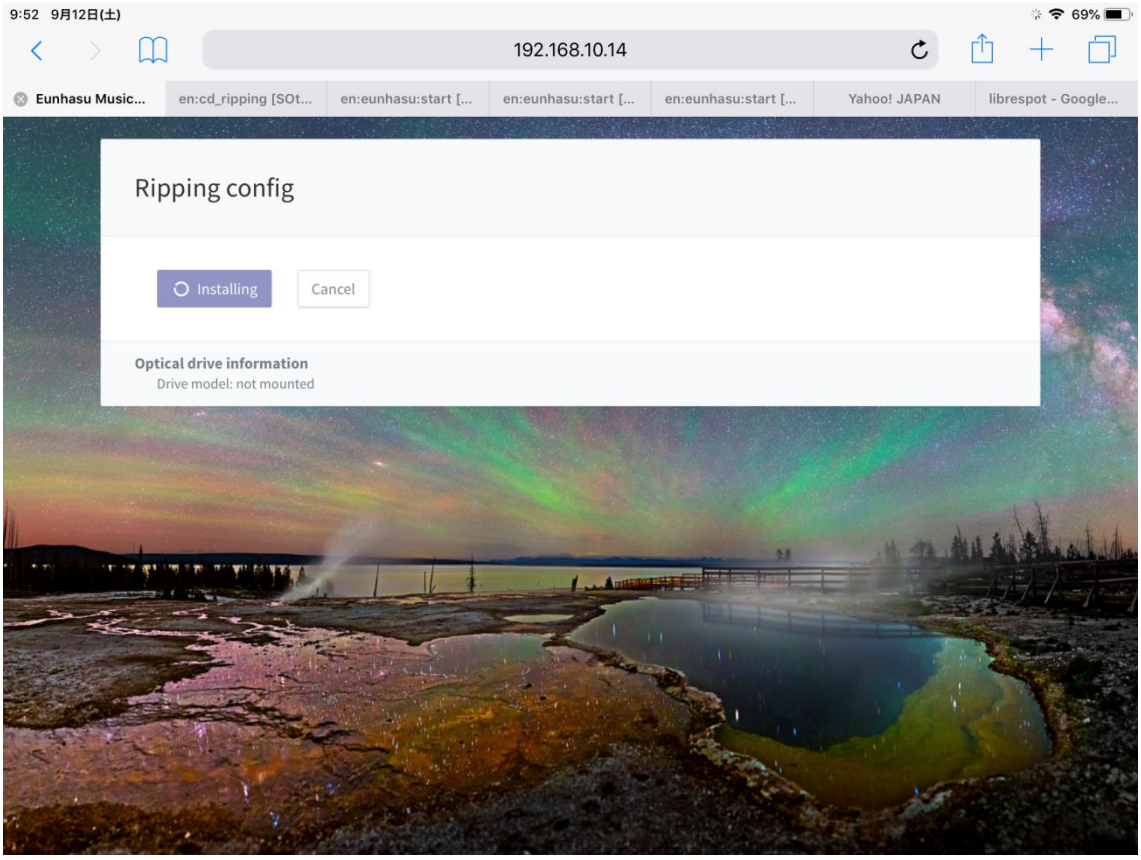




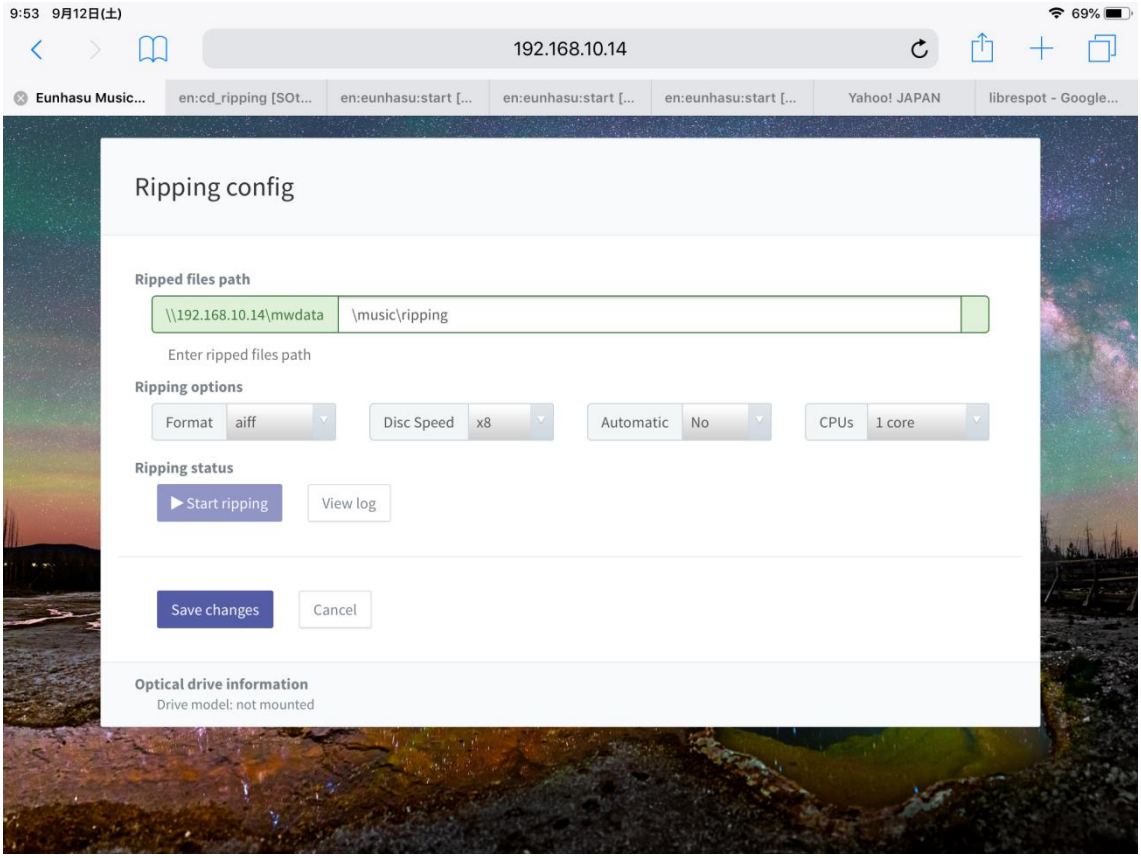
OK をタッチします。



インストールが始まります。


9:52 9月12日(土)
69%
192.168.10.14
Eunhasu Music...
en:cd_ripping [SOt...
en:eunhasu:start [...
en:eunhasu:start [...
en:eunhasu:start [...
Yahoo! JAPAN
librespot - Google...
Ripping config
Installing
Cancel
Optical drive information
Drive model: not mounted

インストールが終了して Ripping config 画面が表示されます。



Ripped files path: リッピング先のディレクトリです。

“\\eunhasu\mwdata\music\ripping” に格納されます。

Ripping options:
Format フォーマットを選択できます aiff, mp3, wav, flac
Disc Speed ディスクのスピードを設定できます x2、x4、x8, x16, x24
Automatic CD を挿入後すぐにリッピングを開始するか指定します No, Yes
CPUs core 数を指定します 1 core, 2 cores, 3 cores, 4 cores

Ripping status
Start ripping リッピングを開始します。終了後 CD が排出されます
View log ログファイルを開きます

Save changes セッティングを保存します
Cancel キャンセルして前ページに戻ります

困ったときは

本機の調子がおかしいときはサービスをご依頼される前に以下の内容をもう一度チェックして下さい。

本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認下さい。それでも正常に動作しない場合は、販売店または弊社へご連絡下さい。

電源が入らない

- sMS-1000SQ Eunhasu の電源ケーブルを確実に差し込んでください。

音が出ない

- LAN ケーブルを外し、再度確実に差し込み、再起動してください。
- Router がルーターモードになっているか(ブリッジモード等で立ち上がっていないか）確認して下さい。必要に応じて再起動してください。
- iPad の設定で対象のネットワークが選択されているか確認して下さい。
- Roon remote を再起動して下さい。再起動の方法につきましては、対象の iPad のマニュアル等を参考にして下さい。（画面を閉じただけでは再起動しません）

FAQ

お手入れ

表面が汚れたときはガーゼ等に水を含ませて擦った後、乾いた柔らかい布で拭き取って下さい。ひどい汚れは薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、固く絞った布で水拭きし、最後に乾いた布で乾拭きして下さい。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けて下さい。

化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないで下さい。表面を傷める原因となります。

アフターサービス

この商品には保証書を付属しております。
お買い上げの際に、販売店で所定事項を記入してお渡しします。
記載内容をお確かめの上、大切に保管して下さい。

保証期間はお買い上げ日より 1 年間とさせていただきます。

保証期間中は、次ページの保証規定に基づいて管理致します。
また、保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理させて頂きます

ご相談の際は、次のことをお知らせ願います。
◎機種名
SOtM sMS-1000SQ Eunhasu

◎故障情報を出来るだけ詳しく教えて下さい

◎ご購入年月日

保証規定

1. 保証期間内に「取扱説明書」に従って本機を取り扱っていたにも関わらず、不具合（故障、損傷など）が生じた場合には、無償修理をさせて頂きます。
2. 保証期間内に無償修理をお受けになる際には、製品及び「保証書」（「取扱説明書」に添付しています）をご提示の上、お買い上げ販売店または弊社までご連絡下さい。
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
   ① 保証書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
   ② 保証書記載事項の文字を書き換えられていた場合。
   ③ 保証書のご提示がない場合。
   ④ 取扱い上の不注意または故意によって生じた本機の不具合（故障、損傷など）。
   ⑤ 他の機器で生じた障害、落下などの影響によって本機が受けた不具合（故障、損傷など）。
   ⑥ 本機の不当改造または修理によって生じた不具合（故障、損傷など）。
   ⑦ 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、公害、塩害、異常電圧などによって本機が生じた不具合（故障、損傷など）。
   ⑧ 自然消耗による部品などの交換に掛かる部品代、技術料および付属品の交換で発生する代金。
   ⑨ 出張修理を伴う場合に要する実費。
4. この保証規定は日本国内のみ有効です。
   This warranty is valid in Japan.

この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は弊社にお問い合わせください。

保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の適正なご使用にも関わらず不具合（故障、損傷など）が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。

本書をご提示の上、お買い上げ店、または弊社に修理をご依頼下さい。

◎ご販売店へのお願い　太枠内の所定事項をご記入・捺印の上、必ずお客様へお渡し下さい。

◎お客様へのお願い　購入日がわかる書面（領収書、納品書等）と本書を提示して下さい。

<table>
<tr><td colspan="3">保証期間：1 年間</td></tr>
<tr><td colspan="2">MODEL</td><td>SOtM sMS-1000SQ Eunhasu</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td colspan="2">ご住所（〒　－　）　都・道・府・県

お電話（　－　－　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="2">※お買い上げ日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">※販売店様</td><td>店名</td><td>（販売店印）</td></tr>
<tr><td>所在地</td><td></td></tr>
<tr><td>電話</td><td>（　－　－　）</td></tr>
</table>

※販売店様がご記入願います。

問い合わせ先
株式会社ブライトーン
Bright Tone Co. Ltd.
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田一丁目２２番３号
早稲田大学インキュベーションセンター１２室
hp:http://www.bright-tone.com/
mail : info@bright-tone.com
tel : 03-6869-0516